

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

| | |
|--------------|---|
| Title | 〈資料〉 ラテンアメリカ日誌—2005年— |
| Author(s) | |
| Journal | イペロアメリカ研究, 28(1) |
| Issue Date | 2006-08-08 |
| Type | 紀要/Departmental Bulletin Paper |
| Text Version | 出版者/Publisher |
| URL | http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9685 |
| Rights | |



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

ラテンアメリカ日誌—2005年—

| 月 日 | 国名 | 記事 |
|------|--------|--|
| 1・1 | ペルー | 南部のアブリマク州アンダウアイラスで、アンタウロ・ウマラ (Antauro Humala Tasso) 元陸軍少佐が率いる約150人の武装集団が、トレド大統領の辞任を求めて警察署を占拠した。2日未明には警察車両を攻撃し少なくとも警察官4人が負傷。その後も警察官を人質にろう城を続けていたが、4日までに元少佐を始めメンバー全員が武器を放棄し投降した。 |
| 1・4 | チリ | 最高裁は軍政下の左派弾圧作戦をめぐる誘拐・殺人の罪でピノチェト (Augusto Pinochet) 元大統領が起訴されたことに対する弁護団の異議申し立てを棄却した。これにより、元大統領に対する訴追手続きが2年半ぶりに再開される見通しとなった。 |
| 1・11 | ペルー | リマ地裁はトレド (Alejandro Toledo) 大統領の政党登録に絡む疑惑で予審開始を宣言、同大統領の実妹のマルガリタ・トレド (Margarita Toledo) 容疑者に対する自宅拘禁の命令を下した。マルガリタ容疑者は、同大統領がPP党を設立した際、登録で必要とされている署名を自宅で組織的に偽造した疑いが持たれている。 |
| 1・12 | アルゼンチン | ニールセン (Guillermo Nielsen) 金融長官は1月14日から新債券との交換が始まるアルゼンチンの債務再編問題で、再編案への参加率が低い場合の新たな譲歩の可能性を否定し、引き換えへの早期参加を呼びかけた。 |
| 1・13 | ブラジル | 2004年の自動車輸出額が前年比51.8%増の83億ドルに上り (ブラジル自動車工業会調べ)、過去最高額を記録したと報道された。自動車協定を締結しているメキシコへの輸出が増加したことに加え、経済危機以降、激減していたアルゼンチン向け輸出が回復してきたことが主要因。 |
| 1・14 | アルゼンチン | 2001年の経済危機で債務不履行 (デフォルト) に陥った約1300億ドルに上る対民間債務の返済再開に向け、政府は新債権との交換を開始した。今回の交換対象となるのは818億ドルの現行債券で、新債券の交換は米国やドイツ、イタリアなど世界各地で始まった。 |
| 1・14 | ブラジル | 2004年の鶏肉輸出額は前年比44%増の25億9400万ドル、輸出量も26%増の246万9000トン記録し (ブラジル鶏肉輸出業者連合調べ)、どちらも過去最高だった。アジア地域における鳥インフルエンザの流行が最大の要因。 |
| 1・14 | ブラジル | ブラジル地理統計院は、2004年の消費者物価指数の上昇率が7.6%で、政府が設定していたインフレ目標率の上限8%を下回ったと発表した。 |
| 1・17 | チリ | 南部のタルカウアノ、コンセプションなどの都市で津波が来るとのうわさが流れ、パニックに陥った地域住民約1万2000人が高台に避難する騒ぎがあった。道路で転倒する人や交通事故が続出、約50人が病院に運ばれ、68歳の女性が心臓発作で死亡した。 |
| 1・20 | アルゼンチン | 政府はデフォルト状態の自国の円建て国債を、新しく発行する国債と交換すると公示した。新国債は5種類の中から選べるようになっているが、いずれも実質的価値が7割程度目減りする。 |

| | | |
|------|---------------|---|
| 1・20 | グレナダ | グレナダのニムロド(Elvin Nimrod)外相と李肇星外相は、北京の釣魚台迎賓館で両国の国交回復に関する共同コミュニケに調印した。グレナダはこれまで、台湾と国交関係を結んでいた。 |
| 1・21 | パナマ | 政府がパナマ運河の通航料を60～70%引き上げると海運会社に通告した、と報じられた。雑貨などを運ぶコンテナ船が対象で、運河の整備、維持費の確保が理由という。 |
| 1・22 | メキシコ | 「ベサメ・ムーチョ」を作詞・作曲したことで知られるコンスエロ・ベラスケス(Consuelo Velázquez)さん(メキシコの女性作曲家、ピアニスト)が、メキシコ市内の病院で心臓疾患のため死亡。84歳。 |
| 1・26 | ブラジル | イラクでブラジル人男性が拉致された事件で、サッカーのブラジル代表ロナウド(Ronaldo)選手がイラク向けに放映される解放を訴えるビデオを収録、「拉致した人に慈悲の心が芽生えることを望む」などと犯人に語りかけた。 |
| 1・27 | グレナダ | 台湾の外交部(外務省)は、グレナダと国交関係を断絶したと発表した。グレナダが20日、中国と国交を回復したのに伴う措置で、台湾が外交関係を持っている国は26カ国となった。 |
| 1・28 | ブラジル | ブラジル中央銀行は、2004年の財政収支(債務返済負担を除く)が811億1000万レアルの黒字であったと発表した。過去最大の黒字幅で、国内総生産(GDP)に対する比率は4.61%。国際通貨基金(IMF)と合意した目標値4.5%を上回った。 |
| 2・2 | カリブ地域 | 第1回中国・カリブ経済・貿易協力フォーラムがジャマイカで開催された(3日まで)。 |
| 2・9 | メキシコ | 米国など国外で働くメキシコ人が昨年、本国の家族らに送金した額が166億ドルに達したことが報じられた。送金額は、同国最大の外貨獲得源である原油輸出額の約8割にのぼる。 |
| 2・12 | アルゼンチン | デフォルトに陥った債券と新債券との交換を進めているアルゼンチンで、2月25日に締め切られる交換終了後、一切の債券交換を禁止する法案が下院で可決、成立したと報じられた。 |
| 2・14 | ベネズエラ ブラジル | ベネズエラを公式訪問しているブラジルのルラ(Luiz Inácio Lula da Silva)大統領は、チャベス(Hugo Chávez)大統領と会談し、エネルギー分野や軍事面での両国の経済関係を強化する「戦略協定」に署名した。協定では、両国の国営石油会社、ペトロブラスとPDVSAが協同でブラジル国内に製油所を建設するほか、石油探査で協力することを約束。 |
| 2・18 | パナマ | 政府は18日までに、パナマ運河の通航料を5月から値上げすることを閣議で承認した。現行の積載トン数ではなく、積載可能なコンテナ数などに応じて通航料を算出する。 |
| 2・23 | メキシコ | 下院は国外に住むメキシコ人に2006年の大統領選の投票権を与える法案を賛成多数で可決した。上院でも可決される見込みで、成立すれば、約1000万人ともいわれる国外在住者が、大統領選の結果に影響を行使できることになる。 |
| 2・23 | メキシコ | 連邦最高裁は「学生運動に対する政府による大量虐殺事件(1971年)」に関し、本件は「人類に対する犯罪」を裁く国際条約のメキシコでの発効以前の事案に該当し、同事件に対する条約の訴求適用を認めない旨の判決を下した。 |
| 2・24 | アルゼンチン | 鳥に最も近い恐竜といわれる「デイノニコサウルス類」に属する新種の恐竜の化石をアルゼンチンの白亜紀地層から発掘したことを、アルゼンチン自然科学博物館などのチームが英科学誌ネイチャーに発表した。 |

| | | |
|------|---------|---|
| 2・24 | ブラジル | 北東部アラピアカの病院で65歳のマリア・ダシルバ(Maria da Silva)さんが男児を出産した。自然妊娠による出産としては世界最高齢。男児は3200グラムで母子共に健康という。 |
| 2・25 | ブラジル | ブラジル最大の航空会社バリグ・ブラジル航空と2位のTAM航空は、国内・国際線で現在実施している共同運航などの業務提携を3ヵ月以内に解消することを決めたと報じられた。 |
| 3・1 | アルゼンチン | キルチネル(Néstor Carlos Kirchner)大統領は国会で「デフォルトは終了した」と演説、2月25日に締め切った同国債と新債券との交換作業が成功裏に終わったとの認識を示した。しかし、実質元本7割カットの削減案に交換を拒否した海外債権者も多く、交換の既成事実化を狙った大統領の発言は強い反発を呼ぶことが予想される。 |
| 3・1 | ウルグアイ | 左派「進歩会議・拡大戦線党」のバスケス(Tabaré Vázquez)新大統領が就任した。独立以来、初の左派政権の誕生となる。任期は5年。 |
| 3・1 | ブラジル | ブラジル国立地理統計院は、2004年の実質国内総生産(GDP)が前年比5.2%増だったと発表した。1994年(5.9%増)以来の高い成長率となった。 |
| 3・3 | アルゼンチン | 政府はデフォルトに陥っていた同国債券と新債券との交換実施率が76.07%に達したと発表した。キルチネル大統領は「(債権者の)最高の賛同を得た」と述べ、3年余りかかった債務再編が終了したとの認識を示した。 |
| 3・3 | コロンビア | 国連麻薬管理犯罪防止局(UNODC、本部ウィーン)は、経済の麻薬依存が深刻なアフガニスタンとコロンビアの当局者を招いて記者会見を行い、アフガンは依存に歯止めがかからない一方、コロンビアはコカイン原料となるコカの代替作物としてコーヒーへの転作が進み成果が出ていることを明らかにした。 |
| 3・3 | メキシコ | 米国民の4割が移民を抑制すべきだと考えているのに対し、メキシコからの移民の6割は米国永住を希望していることが、2つの世論調査から明らかになった。 |
| 3・4 | ベネズエラ | インド訪問中のチャベス大統領は、16日にイランで開かれる石油輸出国機構(OPEC)の総会を前に、「原油価格の高騰は市場の構造による問題であり、OPECの問題ではない」と述べ、OPECによる原油生産量は十分であり増産の必要は無いとの考えを明らかにした。 |
| 3・7 | ドミニカ共和国 | 東部イグエイの刑務所で未明、囚人らによる暴動から火災が発生し、逃げ遅れた囚人少なくとも134人が死亡した。刑務所内の二つのグループによる対立が原因と見られ、何者かがベッドやクッションに点火した火が燃え広がった。 |
| 3・7 | ボリビア | メサ(Carlos Mesa)大統領は、議会に辞表を提出した。同国では、天然ガス採掘権をめぐる左派政党・社会主義運動(MAS)や先住民と政府が対立し、大統領の辞任を求める運動が活発になり政情不安が続いていた。 |
| 3・8 | ボリビア | 国会はメサ大統領の辞任の是非を問う投票を行い、反対多数で否決した。メサ大統領は、留任する意向を表明した。 |
| 3・11 | ベネズエラ | イラン訪問中のチャベス大統領は、同国のハタミ(Mohammad Khatami)大統領と会談し、「我々はどんな攻撃に対しても連帯する」と語り、核開発疑惑をめぐる欧米各国から批判を受けているイランの立場を支持する考えを示した。また両国は、商工業や石油などの分野での約20の二国間協定をに署名した。 |

| | | |
|------|--------------|--|
| 3・20 | ハイチ | 南西部プチゴアーブなどで元国軍兵と国連平和維持活動(PKO)部隊との間で銃撃戦が起き、PKO部隊のスリランカ兵とネパール兵の2人と元国軍兵2人の少なくとも計4人が死亡した。PKO部隊の犠牲者は昨年6月の派遣以来初めて。 |
| 3・21 | 中南米 | 米民間調査団体ピュー・ヒスパニック・センターが発表した調査で、米国に居住する不法移民の数が2004年3月時点で1300万人に達したことが分かった。2000年の調査に比べ23%増で、特にこれまで移民が少なかった州での増加が目立っている。不法移民全体では57%がメキシコ系、そのほかの中南米系が24%だった。 |
| 3・22 | メキシコ | メキシコ・中国両国の労働相は北京で、労働・社会保障分野の二国間協力の推進に関する覚書に署名した。 |
| 3・23 | ブラジル | ブラジル訪問中のラムズフェルド(Donald Henry Rumsfeld) 米務長官は、ブラジルでルラ大統領らと会談した。同長官は国連ハイチ派遣部隊におけるブラジルの役割を評価するとともに、アマゾン地域で暗躍する麻薬組織やゲリラに対する監視など、安全保障面での両国のいっそうの関係強化を確認した。 |
| 3・23 | メキシコ | 米テキサス州クロフォードで開かれた米国、カナダ、メキシコによる北米首脳会議は「北米安全保障と繁栄のパートナーシップ」を採択して閉幕した。貿易障壁の撤廃や規制緩和などを通じた経済統合を加速するとともに、テロリストの流入防止へ域内の包括的な国境管理策をまとめることで合意した。 |
| 3・31 | アルゼンチン | 政府はデフォルトに陥っている旧債券について、4月1日から予定されていた新債券との交換業務と、新債券に基づく初の利払いを延期すると発表した。米国で一部債権者が70億ドル分の旧債券の差し押さえを求めて起こした裁判の結論が出ていないため。 |
| 3・31 | ブラジル | リオデジャネイロ市近郊で、車に乗った4人組の男が飲食店の客や通行人らに向かって無差別に銃を乱射する事件があり、少なくとも30人が死亡した。犯人の素性は不明だが、警察官の汚職撲滅キャンペーンに反発した警官グループが関与している可能性が高いと見られている。 |
| 3・31 | メキシコ | 英国のブレア(Tony Blair) 首相が、メキシコのフォックス(Vicente Fox Quesada) 大統領らを、7月に英グレンイーグルズで開く主要国首脳会議(サミット)に招待していることが明らかになった。メキシコ外務省によると、メキシコのほかブラジル、中国、インド、南アフリカの新興国首脳が招かれたという。 |
| 4・2 | ブラジル キューバ | ローマ法王ヨハネ・パウロ2世(Juan Pablo II) 死去に伴い、ブラジルは7日間の服喪を決めた。また、社会主義国のキューバも3日間の喪に服する。 |
| 4・5 | 中南米 | 米州開発銀行が中南米とアジアの貿易拡大を後押しする制度を創設すると報道された。中南米企業によるアジア向けの資源輸出などを想定して、中南米企業向けの融資に総額4億ドルの保証枠を設けるもので、三井住友銀行、JPモルガン・チェース、ドイツ銀行、ブラジル銀行など日米欧、中南米の20銀行が支援枠組みに参加する見通し。 |
| 4・7 | メキシコ | 連邦下院は、ロペス・オブラドル(Andrés Manuel López Obrador) メキシコ市長の刑事免責特権剥奪を審議し、賛成多数で免責特権剥奪を可決した。 |
| 4・8 | パナマ | シンガポールとパナマは、関税、投資、政府調達、金融サービス分野などを含む包括的な自由貿易協定(FTA)の締結で合意した。年内にも調印の予定。パナマがアジアの国とFTAを結ぶのは初めて。 |

| | | |
|------|--------------------|---|
| 4・12 | メキシコ | フリーダ・カーロ(Frida Kahlo)のこれまで未確認だった服や装飾品など約180点が、かつて自宅だったメキシコ市内のフリーダ・カーロ美術館で死後約50年ぶりに見つかったと、同美術館が発表した。 |
| 4・14 | ブラジル | ルラ大統領は訪問先のセネガルで、植民地時代の奴隷貿易について謝罪した。歴史的な問題にけじめをつけ、国連安全保障理事会常任理事国入りへの支持拡大を狙ったと見られる。 |
| 4・17 | ホンデュラス メキシコ | メキシコ・ホンデュラス両国政府はホンデュラスで、「メキシコ・ホンデュラス両国のカリブ海における海の境界画定条約」に署名した。 |
| 4・19 | アルゼンチン | スペイン・マドリードの高等裁判所は、アルゼンチン軍政下の1977～79年に反体制派の市民30人を生きたまま航空機から突き落として殺害したとして、「人道に対する罪」などで起訴されていたアルゼンチン海軍元将校アドルフォ・シリngo(Adolfo Scilingo) 被告に禁固640年を言い渡した。 |
| 4・20 | エクアドル | 国会は最高裁判事の人事などをめぐり野党と対立していたグティエレス(Lucio Edwin Gutiérrez Borbón) 大統領の罷免を賛成多数で決議した。憲法の規定により、パラシオ(Luis Alfredo Palacio González) 副大統領が大統領に就任した。検察当局は大統領に逮捕命令を出しており、大統領は国外脱出の道を模索している。 |
| 4・22 | ベネズエラ | 政府は米国との二国間軍部交流計画の停止を発表した。 |
| 4・24 | エクアドル | 国会で罷免されたグティエレス前大統領は、亡命先ブラジルの首都ブラジリアに到着した。前大統領は罷免直後、ブラジルへの政治亡命を申請し受け入れられた。 |
| 4・26 | パラグアイ | 小説「至高の存在たる余は」などで知られるアウグスト・ロア・バストス(Augusto Roa Bastos)氏が、アスンシオン市内の病院で死去。87歳。 |
| 5・5 | セントクリスト ファー・ネビス | 包括的核実験禁止条約(CTBT)を批准。批准国は121カ国となった。発行には44の特定国の批准を経る必要があるが、米国などの拒否で発行の目処が立っていない。 |
| 5・9 | メキシコ | メキシコ市のロペス・オブラドル市長は、来年実施されるメキシコ大統領選に野党、民主革命党から出馬するため、7月末で市長職を辞任すると発表した。 |
| 5・10 | ブラジル | ブラジル航空大手エンブラエルが、サウジアラビア航空から66人乗りジェット「エンブラエル170」を15機受注したと報じられた。アラブ地域の航空会社から同機受注は初めて。受注総額は4億ドルで、納入時期は12月を予定。 |
| 5・11 | 南米 | 南米12カ国とアラブ連盟22カ国・機構の首脳が参加し、10日からブラジルで開催されていた「南米・アラブサミット」が、経済面と文化面での協力強化や、他国による国土の占領への抵抗を「権利」として支持することなどをうたった「ブラジリア宣言」を採択し、閉幕した。 |
| 5・13 | コロンビア | 政府はエクアドルとの国境付近の太平洋岸で、民兵組織らが隠し持っていた純正コカイン13.8トンを押収し、5人を逮捕したと発表した。当局によると、末端価格は約4億ドルで、1回の押収量としては史上最高という。 |
| 5・17 | メキシコ | 米ロサンゼルス市長選で、メキシコ移民二世のアントニオ・ビヤライゴサ(Antonio Villaraigosa)氏が、再選を目指した現職のジェームズ・ハーン(James Hahn)市長を破った。同市に1872年以来、133年ぶりにヒスパニック系市長が誕生した。 |

| | | |
|------|--------|---|
| 5・18 | チリ | サンティアゴ南東約550キロのアンデス山中で、雪中訓練中のチリ陸軍部隊が、猛吹雪に襲われた。20日朝までの捜索で5人が凍死体で発見され、45人が行方不明となっている。 |
| 5・20 | キューバ | カストロ(Fidel Castro Ruz) 政権を批判して民主化を求める反体制は活動家らの集会がハバナで開かれ、欧米の外交官らも含め約200人が参加した。当局は開会は妨げられなかったが、欧州の議員や記者らを国外退去にしたり、入国を拒否するなどした。 |
| 5・22 | ベネズエラ | チャベス大統領はテレビ番組で、「平和目的の原子力分野に興味を持っており、開発に着手しないといけない」と話した。ベネズエラに具体的な原子力開発計画が存在するわけではなく、興味がある事を強調することで米国を牽制する狙いがあると見られる。 |
| 5・26 | 中南米 | 米州機構(OAS) 事務総長に、チリ前内相のインスルサ(José Miguel Insulza Salinas) 氏が就任した。米国が予算の6割を担う組織のトップに、米国が当初支持しなかった候補がつくのは半世紀余の歴史で初めて。 |
| 5・26 | 南米 | 欧州連合(EU) は、南米4カ国で構成するメルコスール（南米南部共同市場）と自由貿易協定交渉の再開で合意した。7月を目処に再協議を開始し、農業などでの調整を進める。 |
| 5・30 | ブラジル | BSE（牛海綿状脳症）などの原因であるたんぱく質、異常プリオンが動物の脳細胞に入り込み、他の細胞へと伝わっていく様子を、米国立アレルギー感染症研究所とブラジルのミナスジェライス大学の共同チームが初めて観測し、米科学誌で発表したと報じられた。BSEなどの治療法開発につながる成果として期待される。 |
| 5・30 | ベネズエラ | チャベス大統領が中南米向けに24時間放送を行なうテレビ局を開設し、首都カラカスから試験放送を始めたと報じられた。新会社は「テレスル」と名乗り、中南米のニュースを独自に発信する方針。ブラジルやハバナ、ワシントンなど9カ所に記者を派遣し、9月からニュース番組を中心に本放送を開始する予定。 |
| 5・31 | チリ | 中国の国営鉱業企業、中国五礦集団と国家開発銀行は、産銅世界大手のチリ・コデルコと地理での銅資源の共同開発で合意した。初期投資額は5億5000万ドル。 |
| 6・1 | ペルー | 生まれつき両脚がくっついている生後1歳1カ月の女兒に対する両脚の分離手術がリマの病院で行なわれた。手術は成功し、2歳ごろには歩行が可能になるという。生存率が極めて低い障害を持った女兒は「リトルマーメイド」と呼ばれ、ペルー国民が手術の行方を見守っていた。 |
| 6・2 | アルゼンチン | 政府はデフォルトに陥っている国債の旧債券について、交換する新債券の引き渡しと新債券の初めての利息の支払い業務を開始したと発表した。 |
| 6・2 | アルゼンチン | アルゼンチンのジュラ紀後期の地層から新種の恐竜化石を発見したと、アルゼンチンとドイツの研究チームが英科学誌ネイチャーに発表した。 |
| 6・3 | チリ | ニュージーランド、シンガポール、チリ、ブルネイの各国政府は、4カ国が自由貿易協定を締結することで合意したと発表した。2006年1月からの発効を目指す。 |
| 6・6 | アルゼンチン | ブエノスアイレスとその近郊の町で、米国系企業の店舗3カ所に爆弾が仕掛けられ、うち少なくとも1発が爆発した。窓ガラスなどが割れたがけが人はなかった。シティグループやマクドナルドなどの店舗前に置かれた爆弾には「米国の帝国主義から祖国を解放する」などのメッセージが添えられていた。 |

| | | |
|------|--------|--|
| 6・6 | ブラジル | 与党・労働党(PT)のロベルト・ジェフェルソン(Roberto Jefferson Monteiro Francisco) 党首が、6日付のフォーリャ・デ・サンパウロ紙に対し、少数与党PTが安定した議会運営を図るため、他の連立与党議員を買収していたと暴露した。 |
| 6・6 | ボリビア | 天然ガスの採掘権を巡り野党や先住民グループと対立していたメサ大統領は、テレビ演説で辞任の意向を表明した。同大統領は今年3月にも辞表を国会に提出したが受理されず、職務にとどまっていた。国内各地では天然ガスなど資源の国有化や先住民の権利拡大を求めるデモが激化しており、政府庁舎のあるラパスで約8万人のデモ隊が大統領官邸などを包囲、メサ大統領が官邸を一時、脱出する騒ぎとなっていた。 |
| 6・7 | チリ | サンティアゴ上訴裁判所は、軍政下の左翼活動家に対する弾圧「コンドル作戦」に関わったとして殺人罪などで起訴されているピノチェト元大統領に対し、同氏の健康状態では裁判手続きを続行するのは不可能とする決定を下した。 |
| 6・7 | ボリビア | メサ大統領の辞任を協議する予定だった国会は、周辺でデモや道路封鎖が続いているため開催が延期された。 |
| 6・9 | ボリビア | 首都スクレで開かれた国会は深夜、6日に辞任を表明していたメサ大統領の辞職を承認すると共に、新大統領にロドリグス(Eduardo Rodriguez) 最高裁長官を選出した。一方、スクレ近郊で治安部隊とダイナマイトで武装したデモ隊が衝突、発砲で鉱山労働者一人が死亡した。 |
| 6・13 | チリ | 北部でマグニチュード7.9の地震が発生した。内務省によると、14日時点で犠牲者が少なくとも11人、負傷者は約130人に達している。 |
| 6・14 | アルゼンチン | 最高裁は軍政時代に行なわれた左翼弾圧など人権侵害を不問にする恩赦法2法を意見とする決定を下した。2法は2003年に国会で廃止が決議されていたが、最高裁の判断が出されたことで、これまで同法に守られてきた軍部関係者らを訴追する動きが加速するものと見られる。 |
| 6・14 | ジャマイカ | アテネの五輪スタジアムで行なわれた陸上の国際陸連スーパーグランプリシリーズの男子100メートル決勝で、アサファ・パウエル(Asafa Powell) が世界新記録で優勝した。 |
| 6・15 | ペルー | 政府はパリクラブ（主要債権国会議）との間で、同国の公的な対外債務を最大20億ドル前倒し返済することで合意した。前倒しするのは、2005年8月から09年12月までに返済期限を迎える貿易保険などの債務。 |
| 6・17 | ブラジル | バリグ・ブラジル航空は会社更生法の適用をリオデジャネイロの裁判所に申請した。負債総額は約95億レアルに達し、ポルトガル航空との間で経営支援を巡る交渉を続けていた。今後2ヵ月以内に経営再建計画を作成するが、運航はこれまでどおり続ける。 |
| 6・23 | ブラジル | パロシ(Antônio Palocci) 財務大臣は2007年のインフレ目標を06年と同じ4.5%に設定したと発表した。 |
| 6・24 | チリ | 人気プロサッカーチーム「コロコロ」が、サンティアゴ証券取引所に上場した。同チームは2002年1月、多額の負債を抱え破産宣告を受けた後、法律の専門家などで作る管理会社が今後30年間にわたり経営に携わることが決定、再建策を模索していた。中南米でプロサッカーチームの株式上場は初めて。 |
| 6・24 | ブラジル | サッカーのブラジル代表、ロベルトカルロス(Roberto Carlos da Silva) 選手がベロオリゾンテ市内を車で移動中、拳銃強盗に遭った。偶然、同選手は車内から携帯電話でラジオ生番組に出演中で、強盗事件の「実況中継」となった。同選手に怪我は無かった。 |

| | | |
|------|----------------|--|
| 6・29 | アルゼンチン ブラジル | サッカーのコンフェデレーションズカップ決勝が行なわれ、ブラジルが4-1でアルゼンチンに圧勝し、4年ぶり2度目の優勝を果たした。MVPと得点王には5ゴールのブラジルのアドリアーノ(Adriano Leite Ribeiro)選手が輝いた。 |
| 7・2 | アルゼンチン | 20歳以下によるサッカーの世界ユース選手権決勝がオランダで行なわれ、アルゼンチンがナイジェリアに2-1で勝ち、2大会ぶり5度目の優勝を果たした。 |
| 7・3 | コロンビア | 米国で開催されていたゴルフのHSBC女子世界マッチプレー選手権で、マリサ・バエナ(Marisa Baena)が初優勝した。コロンビア人選手としても、初の米女子ツアー制覇。 |
| 7・5 | ブラジル メキシコ | ブラジル国内航空2位のGOL航空は、メキシコで新会社を設立すると発表した。2006年半ばの運航開始を目指す。 |
| 7・7 | ブラジル | リオデジャネイロで、豊胸手術などに使う大量の整形手術用シリコンが、武装した3人組の男に奪われた。女性を中心に美容整形が盛んなブラジルでは、手術用の素材が闇取引されているという。 |
| 7・8 | キューバ | カストロ国家評議会議長は、ロンドンの同時テロ事件に関し「強い衝撃を受けた。英国にお悔やみを申し上げる」「英国国民の痛みを分かちと共に、この正当化できない攻撃を拒絶する」とする書簡をエリザベス女王(Queen Elizabeth II)に送った。 |
| 7・23 | ブラジル | 21日にロンドンで発生した同時爆破事件を捜査しているロンドン警視庁は、捜査に関連し22日に警視庁が射殺した男性が事件と無関係のブラジル人電気技師のジェアン・シャルレス・デメネゼス(Jean Charles de Menezes)氏だったことを発表した。 |
| 7・26 | メキシコ | メキシコ市のロペス・オブラドル市長は、メキシコ市議会へ辞表を提出した。29日に辞任が承認され、後任にエンシナス(Alejandro Encinas Rodriguez)内務長官が任命された(8月2日就任)。 |
| 7・27 | コロンビア | 米州開発銀行は臨時総会を開き、5月末に退任したエンリケ・イグレスィアス(Enrique Iglesias)総裁の後任にルイス・アルベルト・モレノ(Luis Alberto Moreno)駐米コロンビア大使を選出した。10月1日付で就任、任期は5年。 |
| 7・28 | ブラジル | ロンドン警視庁の捜査官に誤って射殺されたジェアン・シャルレス・デメネゼス氏の遺体が、故郷のミナスジェライス州に到着、通夜と葬儀が行なわれた。 |
| 7・29 | メキシコ | 英音楽大EMIが、スペイン語圏最大のメディア企業、グループ・テレビサと提携したと報道された。メキシコで折半出資の合弁会社を設立するほか、米国ではEMIのスペイン語系住民向け事業にテレビサが参加する。テレビサとの提携で、EMIはスペイン語圏でのシェア拡大を図る考え。 |
| 8・2 | ブラジル | ブラジルを訪問しているスノー(John Snow)米財務長官は「欧米や日本の主要経済国が低迷する中、経済成長に対するブラジルの貢献は歓迎すべきだ。他国にとってすばらしい模範になる」と語り、BRICsの一角である同国経済を称賛した。 |
| 8・2 | 中米 | ブッシュ米大統領は中米6カ国との間で関税の相互撤廃などを進める「中米自由貿易協定(CAFTA)」の実施法案に署名し、CAFTAが発効した。米政府は昨年5月の調印以来、1年以上も議会の承認に手間取っていた。 |
| 8・6 | キューバ | バエナ・ビスタ・ソシアル・クラブに参加し脚光を浴びたイブラヒム・フェレール(Ibrahim Ferrer)氏が、多臓器不全のためハバナで死去。78歳。 |

| | | |
|------|-------|--|
| 8・8 | ブラジル | 北東部セアラ州フォルタレザ市にあるブラジル中央銀行支店の金庫室から、現金約1億5600万レアルが盗まれたことが分かった。約200メートル離れた民家から銀行まで地下トンネルが掘られていたことも判明。窃盗団は週末を狙い、トンネルを伝って侵入し、現金を運び出したと見られる。盗難の被害額としては同国で過去最高。 |
| 8・10 | チリ | ピノチェト元大統領の不正蓄財事件に関連し、妻ルシア・イリアルト(Lucia Hiriart)、次男マルコ・アントニオ・ピノチェト(Marco Antonio Pinochet)の両容疑者が脱税罪の共犯として逮捕、起訴された。 |
| 8・11 | ペルー | トレド大統領は内閣総辞職を決め、全閣僚に辞表の提出を求めた。大統領の信頼の厚い連立与党・独立浄化戦線(FIM)のオリベラ(Luis Fernando Olivera Vega)党首が新外相に就任したことに複数の大臣が反発し相次ぎ辞意を表明したため、内閣改造で内部の体制固めを図る。 |
| 8・14 | キューバ | ヘルシンキで行なわれている陸上の第10回世界選手権の女子やり投げで、アテネ五輪金メダルで世界記録保持者のキューバのオスレイディス・メネンデス(Osleidys Menéndez)が、自身の記録を16センチ上回る71メートル70の世界新をマークして優勝した。 |
| 8・15 | グアテマラ | 台湾当局はグアテマラと自由貿易協定(FTA)を締結したと報じられた。台湾側が農産物644種の輸入関税をゼロとする一方、グアテマラは台湾からの輸入額の60%に相当する工業製品3509品目で同様の措置を取る。台湾がFTAを結ぶのはパナマに次ぎ2カ国目で、パラグアイ、ニカラグアとも交渉中。 |
| 8・16 | ベネズエラ | パナマから仏領マルティニクに向かっていた152人乗りのコロンビア民間航空機「ウエスト・カリビアン航空」のジェット旅客機が、西部のスリア州で墜落した。現地当局者は「生存者はいない」と語っており、コロンビア人の乗員8人を含めた160人全員の生存が絶望視されている。 |
| 8・17 | ベネズエラ | 西部スリア州で16日に起きた、コロンビアのウエスト・カリビアン航空機の墜落事故で、ベネズエラのチャコン(Jesse Chacón)内相・法務相は同機の飛行記録などを収めたブラックボックス1個を回収したと発表した。 |
| 8・18 | エクアドル | 米国への不法移民と見られる乗船者100人以上を乗せて太平洋を太平洋沖を航海中だったエクアドルのボートが転覆したと報じられた。漂流中の9人が救助されたが大半が行方不明となり、残りの生存者の可能性は絶望視されている。定員の15人を大きく上回る100人以上がすし詰め状態で乗船していた。 |
| 8・18 | エクアドル | 北東部のアマゾン源流に近い二つの油田地帯で、外国資本の石油会社に対する住民の抗議運動が激化しパラシオ大統領は18日までに、同地域一帯に非常事態宣言を発令、軍隊を派遣した。米国やカナダ、ブラジルなどの石油会社が同地域で操業したり、操業に向けて計画を進めていることに対し、環境破壊を問題視する先住民や環境保護団体が道路封鎖や送電線切断などの抗議活動を展開している。 |
| 8・19 | エクアドル | 治安部隊は、アマゾン源流に近い油田地帯で発生していた抗議活動の首謀者らを逮捕し、デモをほぼ鎮圧した。しかし、住民による道路封鎖や破壊活動により、日産20万バレルに上る原油産出量は日産2万7000バレルに落ち込んだままで、ロドリゲス(Iván Rodríguez) エネルギー鉱山相は「今年10月半ばまでは通常の生産活動はできない」との見通しを示している。 |

| | | |
|------|---------------|---|
| 8・20 | キューバ パナマ | キューバとパナマは、昨年8月以来断絶していた国交を回復した。両国はキューバのカストロ議長暗殺を企てた疑いでパナマで逮捕され、禁固8年の判決を受けた亡命キューバ人テロリスト、ルイス・ボサダ(Luis Posada Carriles)元被告ら4人に対し、親米派のモスコソ(Mireya Elisa Moscoso Rodríguez)前パナマ大統領が恩赦を与えたことから外交関係を断絶していた。 |
| 8・21 | キューバ ベネズエラ | ベネズエラのチャベス大統領は、自ら司会を務めるテレビ・ラジオ番組で「アロー・プレシデンテ」をキューバから生中継し、カストロ国家評議会議長をゲストに5時間40分のトークショーを繰り広げた。 |
| 8・23 | ペルー | リマからイキトスに向かっていた国営タンス航空のボーイング737-200型旅客機(乗客92人、乗員8人)が、中部の経由地プカルパのジャングルに墜落、炎上した。 |
| 8・24 | ベネズエラ | 米国の宗教右派を代表する「テレビ伝道師」パット・ロバートソン(Pat Robertson)師は、チャベス大統領がベネズエラを「共産主義の侵略とイスラム過激主義の発射台にしようとしている」とした上で、「我々には彼を排除する能力がある。秘密工作員に仕事をさせれば簡単だ」と、暗殺を呼びかける発言をテレビで行なった。 |
| 8・25 | エクアドル | 北東部の油田地帯で発令されていた非常事態宣言が解除された。バレイロ(Magdalena Barreiro)経済・財務相は、抗議活動による原油生産量低下による損害額は当初の見積もりより3億ドル少ない2億ドルに収まるとの見通しを示した。 |
| 8・28 | ベネズエラ | チャベス大統領は自ら司会を務めるテレビ・ラジオ番組で、ベネズエラの石油を米国内の貧困層に安価で提供する計画を明らかにした。米国内の貧困層に同大統領への理解を広げることが狙いと見られる。 |
| 9・15 | ブラジル | ブラジル商品先物取引所とリオデジャネイロ証券取引所は、京都議定書で定めた排出権取引制度のひとつであるクリーン開発メカニズム事業の登録を開始する。温暖化ガスの排出権を取引する「ブラジル排出権取引市場」の創設に伴う措置。 |
| 9・20 | 中米 | 米ウォルマート・ストアーズは、グアテマラなど中米5カ国で店舗展開している有力小売業「セントラル・アメリカン・リテール・ホールディング・カンパニー」の株式33%を取得したと発表した。 |
| 9・21 | メキシコ | ウエルタ(Ramón Martín Huerta)治安相らが乗ったヘリがメキシコ市西郊の山中に墜落し、治安相を含め搭乗していた政府関係者ら9人全員が死亡した。 |
| 9・24 | キューバ | ハバナと北京は姉妹都市協定を締結した。北京の張茅副市長がハバナを訪問し、フアン・コンティノーノ(Juan Contino Aslán)市長と協定に調印した。 |
| 10・1 | エルサルバドル | 首都サンサルバドルの西方約60キロにあるサンタアナ火山が噴火し、地元農民2人が火砕流により死亡、2人が行方不明となった。当局は火山から半径4キロ以内に非常事態警報を出し、非難を呼びかけた。 |
| 10・2 | メキシコ | ペルーで行なわれていたU-17世界選手権決勝で、メキシコが前回王者のブラジルを3-0で破って初優勝を飾った。 |
| 10・6 | ブラジル | 政府は中国からの輸入規制などを盛り込んだ緊急輸入制限(セーフガード)発動について、発動にむけた国内での手続き規制を制定した。先週、北京で開いた両国の通商協議が決裂したことを受け、ルラ大統領が規則に署名。これにより、ブラジル政府は業界団体からの要請を受けた場合、発動に向けた具体的な作業が可能になる。 |
| 10・7 | グアテマラ | 熱帯暴風雨により西部のパナバフ村で大規模な土砂崩れが発生した。すでに発見されている64人を含め死者は200人に達する見通し。 |

| | | |
|-------|--------|---|
| 10・7 | ブラジル | ブラジルの繊維業界は、中国からの繊維製品輸入の増加で国内絹製品などが被害を受けているとして、ブラジル政府に対し中国向け緊急輸入制限（セーフガード）の適用を申請した。同国開発・工業・貿易省は調査を開始、4ヵ月以内に発動の可否について結論を出す。 |
| 10・7 | ペルー | フジモリ(Alberto Fujimori)元大統領は、来年4月の大統領選に立候補する意向を正式に表明した。元大統領は、9月にペルー政府発行のパスポートを取得しているが、帰国時期は未定だという。これに対し、マキャベロ駐日ペルー大使は7日、殺人罪などで裁判が進行中の元大統領には立候補資格がないと述べた。 |
| 10・11 | グアテマラ | 最高裁長官にデ・レオン(Beatriz Ofelia de León Reyes)判事が選任された。同国市場初の女性長官。 |
| 10・11 | ブラジル | サッカーのワールドカップ予選ブラジル-ベネズエラ戦を12日に控えたベレンで、代表の姿を見ようと練習会場に詰め掛けたファンが競技場入り口に殺到し、10歳の少女1人が死亡、70人以上が負傷した。 |
| 10・14 | エクアドル | 今年4月に罷免され、国外逃亡していたグティエレス前大統領が帰国した。司法当局は7月に前大統領に対する逮捕状を出しており、前大統領はチャーター機で西部マンタに到着後、警察当局に拘束され、キトの刑務所に移送された。 |
| 10・18 | ペルー | 最高裁特別刑事法廷は、日本滞在中のフジモリ元大統領が在職中に軍用ヘリコプターの部品を不正に購入しようとしたとして職権乱用罪などに問われていた事件について、証拠不十分として無罪判決を言い渡した。計22の罪で起訴されているフジモリ氏に対する、初めての判決。 |
| 10・19 | コロンビア | 憲法裁判所は、これまで禁止されていた大統領の再選を1度だけ認める憲法改正案を承認した。米国の支援を受けて左翼ゲリラ掃討に挑み、国民からの支持率も高いウリベ(Álvaro Uribe Vélez)大統領の再選の道が開かれた。 |
| 10・20 | ベネズエラ | イスラエル・テレビなどは、イスラエル政府からベネズエラに米国製F16戦闘機の改良技術を約1億ドルで提供する計画が、米国の圧力で中止になったと報じた。 |
| 10・23 | アルゼンチン | 総選挙が行なわれ、上下院両院で中道左派の与党・正義党が過半数を確保した。 |
| 10・23 | ブラジル | 銃犯罪による死者多発を受け、銃・弾薬の市販禁止の是非を問う国民投票が行なわれ、即日開票の結果、規制への反対が64%に達し（開票率99%）、否決された。ブラジルでは合法・非合法合わせて約1700万丁の銃が出回っているとされる。 |
| 10・24 | ホンデュラス | アスコナ(José Azcona del Hoyo)元大統領が死亡した。78歳。 |
| 10・25 | ブラジル | 南西部マトグロッソ・ド・スル州で牛の口蹄疫が確認され、25日までに欧州連合(EU)やロシアなど計43ヵ国が輸入制限措置を取った。 |
| 10・28 | チリ | 自由貿易協定締結に向けた交渉を続けている中国とチリは、モノの貿易に関する協定で基本合意した。年内にも正式調印する。 |
| 10・28 | ペルー | フジモリ大統領の支持政党「シ・クンブレ」など3つの政党は、来年の大統領選でフジモリ氏を大統領候補として支持するために政治同盟を結成したことを明らかにした。 |
| 10・28 | ボリビア | 選挙裁判所は12月4日に予定されていた大統領選と上下院選を無期限に延期すると発表した。ロドリゲス暫定大統領は、選挙延期に関わらず来年1月に辞任する意向を表明しており、政治的空白を招く可能性がある。 |

| | | |
|-------|---------------|--|
| 10・28 | 中南米 | ラ米エネルギー機構(OLADE)の閣僚会議がペルーで開催され、新事務局長にリオス・ロカ(Álvaro Ríos Roca)元ボリビア炭化水素相を選出した。 |
| 11・1 | アルゼンチン | ブエノスアイレス郊外のアエド駅で、列車ダイヤの乱れに起こった乗客らの一部が暴徒化し、列車や駅舎に放火した。少なくとも20人が負傷し、113人が逮捕された。 |
| 11・1 | パラグアイ | モラー(Robert S. Mueller)米連邦捜査局(FBI)長官が2007年に在パラグアイ米国大使館内に同局の事務所を設置することでパラグアイ大使館と合意した、と報じられた。米国は同時テロ以降、パラグアイ、ブラジル、アルゼンチン3国の国境地帯での麻薬、武器取引が国際テロ組織の資金源になっているとの見方を強めている。 |
| 11・1 | ボリビア | ロドリゲス大統領は、大統領選を12月18日に実施するとの政令を発表した。上下院両院選も同時に行なわれる。 |
| 11・2 | ベネズエラ | 中国はベネズエラへ通信衛星を売却する契約に調印した。チャベス大統領は調印式で「通信衛星を持つことで西側の独占と封鎖を打破し、自主的に通信、テレビ事業を発展させられる」と述べた。打ち上げは2008年の予定。 |
| 11・5 | 中南米 | アルゼンチンのマルデルプラタで4日から開かれていた米州首脳会議がマルデルプラタ宣言を採択し、閉幕した。積極派の米国と慎重派のブラジルなどが対立し、同宣言では双方の主張が併記され、会議は物別れに終わった。会場付近ではブッシュ大統領の訪問や経済のグローバル化に反対する大規模な集会やデモがあり一部が暴徒化した。数万人規模の集会に出席したチャベス大統領は「ここがFTAAの墓場になる」と演説し、米主導の経済統合に反対した。 |
| 11・6 | ペルー チリ | フジモリ元大統領はチリの首都サンティアゴの空港に、数人の関係者とともに到着した。現地で配布した声明文で、翌年の大統領選に出馬するための入国であることを説明した。 |
| 11・7 | チリ ペルー | ペルーのピサロ(Rómulo Pizarro Tomasio)内相と汚職事件の担当検察官らがチリに入り、同国のビダル(Francisco Vidal Salinas)内相らと大統領府で会談した。フジモリ元大統領の身柄の即時引き渡しを要請したものと見られる。 |
| 11・7 | ブラジル | ルラ大統領は中南米歴訪中のブッシュ大統領とブラジリアで会談し、世界貿易機構の多角的貿易交渉(ドーハ・ラウンド)をはじめ協力関係を強化することを確認した。 |
| 11・7 | ペルー チリ | チリに入国したペルーのフジモリ元大統領は、未明にチリ警察当局によって拘束された。 |
| 11・11 | ペルー | 国会は公職追放決議を受けた者の大統領選出馬を認めない条項を全国選挙評議会に提出させた。フジモリ元大統領は2001年に同決議を受けており、同氏の立候補はさらに困難になった。 |
| 11・13 | チリ ペルー | チリ大統領報道官は、同国入国後に拘束されたペルーのフジモリ元大統領について、「国内の治安や隣国との関係に影響を及ぼす政治活動は許可されない」と語り、元大統領らによるペルー大統領選に向けた選挙活動を禁止する考えを示した。 |
| 11・14 | メキシコ ベネズエラ | メキシコ、ベネズエラ両国政府は、双方の大使を本国に召還することを決めた。ベネズエラのチャベス大統領がメキシコのフォックス大統領のことを「米国の犬」などと発言した問題に絡み、急速に悪化しつつある両国関係を踏まえた措置。 |

| | | |
|-------|--------|---|
| 11・17 | キューバ | 米メディアは米中央情報局(CIA)がキューバのカストロ国家評議会議長がパーキンソン病にかかっているとの結論をまとめたと報じた。CIAは議長が公の場に現れた際の様子や医師の意見などを基に健康状態を分析した。 |
| 11・18 | チリ | アジア太平洋経済協力会議首脳会議出席のため韓国を訪問しているチリのラゴス(Ricardo Lagos Escobar)大統領は、中国の胡錦濤国家主席と会談し、両国間の自由貿易協定(FTA)に調印した。中国にとって2国間のFTA調印は初めて。 |
| 11・23 | チリ | ピノチェト元大統領は、海外の秘密口座に巨額の財産を隠し持っていたとする事件で脱税罪で起訴され、自宅軟禁を命じられた。起訴状によると、元大統領は1980年から2004年にかけて、海外の複数の銀行口座に計約2600万ドルの資産を隠し持ち、総額約13億ペソを脱税した。 |
| 11・23 | ブラジル | 国営石油会社ペトロブラスは、リオデジャネイロ州沖の海底油田からの石油掘削を行なう新プラットフォーム「P-50」を開所した。同プラットフォームは国内最大規模の日産18万バレルが見込まれ、これによりブラジルは2006年に原油の輸入・輸出量が均衡し、輸出国に転換することがほぼ確実になった。 |
| 11・24 | チリ | ピノチェト元大統領は、軍政下で左翼活動家ら119人が誘拐・殺害された「コロンボ作戦」に関与したとして起訴され、自宅軟禁を命じられた。 |
| 11・25 | メキシコ | 経済協力開発機構(OECD)2006年5月末に退任するカナダ元法相のドナルド・ジョンストン(Donald James Johnston)事務総長の後任にメキシコのアンヘル・グリア(José Ángel Gurría)元財務相を内定した。理事会の決定を経て、06年1月付けで第5代事務総長に就任する。 |
| 11・25 | メキシコ | 南部チアパス州の先住民系武装農民組織サパティスタ国民解放軍(EZLN)のマルコス副司令官は、同軍の政治組織「サパティスタ民族解放戦線」(FZLN)を解散すると発表した。 |
| 11・27 | ホンデュラス | 任期満了に伴う大統領選が行なわれた。最高裁判所の中間発表では野党・自由党のホセ・マヌエル・セラヤ(José Manuel Zelaya Rosales)元国会議員が50.79%を得票し、45.22%の与党国民党のポルフィリオ・ロボ(Porfirio Lobo Sosa)国会議長をリードし、セラヤ候補は早々に勝利宣言を行なったが、ロボ候補は敗北を認めていない。 |
| 11・28 | アルゼンチン | フェルナンデス(Alberto Ángel Fernández)首相はラバニャ(Roberto Lavagna)経済生産相ら4閣僚の交代を発表した。ラバニャ氏の後任には、国営ナシオン銀行のミセリ(Felisa Miceli)総裁が就任する。ラバニャ氏は債務削減など同国の経済改革を主導してきたが、キルチネル大統領らとの意見の食い違いが表面化しており、事実上の解任とみられる。 |
| 12・4 | ブラジル | サッカー・スペイン1部リーグのレアル・マドリードは、ブラジル人のルシェンブルゴ(Vanderlei Luxemburgo da Silva)監督の解任を発表した。 |
| 12・4 | ブラジル | サッカーのブラジル全国選手権は全日程を終了し、コリンチャンスが6年ぶり4度目の優勝を果たした。しかし、審判員の不正な試合捜査が発覚し11試合が再試合となっていることから、大会が法的に未決とする地方裁判所の命令が出るなど混乱が続いている。 |
| 12・4 | ベネズエラ | 国会議員選挙(167議席)が行なわれ、チャベス大統領の与党連合が圧倒的勝利を収める見通しとなった。主要野党3党が「公正な選挙が保証されない」として選挙参加をボイコットしたため。 |

| | | |
|-------|--------------------|---|
| 12・6 | ホンデュラス | 11月27日に実施された大統領選について、選挙裁判所が野党・自由党のホセ・マヌエル・セラヤ候補の当選を正式に発表した。就任は1月27日で任期は4年。 |
| 12・7 | セントビンセント・グレナディーン諸島 | 総選挙が実施され、与党統一労働党が15議席中12議席を獲得した。 |
| 12・7 | ペルー | 米通商代表部のポートマン(Rob Portman)代表とペルーのフェレロ(Alfred Ferrero)貿易・観光相がワシントンで会談し、両国政府が自由貿易協定(FTA)を締結することで合意した。ブッシュ米政権にとっては13番目のFTA。 |
| 12・9 | ベネズエラ | メルコスルは首脳会議で、ベネズエラの加盟を認めることで基本合意した。承認手続きには6ヵ月から1年かかる見通し。 |
| 12・9 | ペルー | 全国選挙評議会は、フジモリ元大統領を代表に据えた「シ・クンブレ」など3政党による選挙連合の登録を受理しないことを決定した。元大統領が国会で10年間の公職追放決議を受けている事が決定の理由。 |
| 12・9 | メキシコ | 死刑制度廃止令が官報に掲載され発効した。 |
| 12・11 | チリ | 任期満了に伴う大統領選が行なわれ、即日開票の結果、中道左派・与党連合のミッチェル・パACHEレ(Verónica Michelle Bachelet)前国防相が当選に必要な有効投票数の過半数には至らず、2位の中道右派・国民改進黨のセバスティアン・ピニェラ(Miguel Juan Sebastián Piñera)前党首との間で、1月15日に両候補による決選投票が行なわれることになった。 |
| 12・13 | グアテマラ | 米ニューハンプシャー大の考古学チームと米地理学協会は、マヤ文明のものとしては最古とみられる紀元前100年ごろの壁画を、北部のサンバルトロにあるピラミッドで発見したと発表した。 |
| 12・14 | キューバ | 米財務相外国資産管理局(OFAC)は、来年3月に米国で開催される野球の「ワールド・ベースボール・クラシック」(WBC)でのキューバチームの受け入れを許可しないとWBC組織委員会に伝えた。国交がなく経済制裁を行なっているキューバとの通商関係には米国政府の許可が必要で、チーム受け入れはそれに当たるという。 |
| 12・16 | キューバ | WBCのキューバ代表チームについてOFACが入国を拒否する姿勢を見せている問題で、国際オリンピック委員会のディック・パウンド(Dick Pound)元副会長は「ああいうことをやめないと、今後、彼らは大きな問題を抱えるだろう」と米国の対応を批判した。 |
| 12・18 | ボリビア | 大統領選挙が行なわれ、先住民出身で反米を主張するコカ栽培農家代表のエボ・モラレス(Juan Evo Morales Ayma)社会主義運動党党首が当選した。2位のホルヘ・キログ(Jorge Fernando Quiroga)元大統領は早々と敗北を宣言、日系二世で民族革命党から出馬したミチアキ・ナガタニ(Michiaki Nagatani Morishita)氏は4位と伸び悩んだ。全国選挙裁判所による正式な結果発表は1月12日。 |
| 12・19 | ブラジル | 国際サッカー連盟は、年間世界最優秀選手を発表し、男子はブラジル代表FWロナウジーニョ(Ronaldinho)が2年連続で、女子はドイツ代表FWプリンツ(Birgit Orinz)が男女を通じて史上初となる3年連続で選ばれた。 |
| 12・22 | アルゼンチン ブラジル | サッカー・元アルゼンチン代表のマラドーナ氏が、ブラジル・リオデジャネイロの空港で公務執行妨害などの疑いで警察当局に身柄を拘束された。マラドーナ氏はブエノスアイレスに戻る飛行機に乗り遅れ、航空会社の職員ともめた際に暴れ、物を壊したという。 |

| | | |
|-------|------|--|
| 12・28 | ブラジル | ブラジル中央銀行は、2006年の国内総生産の伸び率が05年見通しの2.6%から4%に急伸するとの予測を発表した。輸出の増加やインフレ抑制に伴う個人消費の回復、サッカーワールドカップによるテレビなど家電需要も後押しするとみている。 |
| 12・29 | ボリビア | 12月18日の大統領選挙で当選したエボ・モラレス氏は、カタールの衛星テレビ「アル・ジャジーラ」との会見で、ブッシュ米大統領を「唯一のテロリスト」と呼ぶなど対米批判を行なった。 |

参考文献

- (1)『朝日新聞縮刷版』『日本経済新聞縮刷版』(2005年各月号)。
- (2)日経テレコン 21。
- (3)イベロアメリカ研究所新聞切抜き(2005年)。
- (4)「ラ米における主なできごと」『ラテン・アメリカ時報』(2005年3月～2006年2月)。

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

| | |
|--------------|---|
| Title | 〈資料〉 ラテンアメリカ日誌—2006年— |
| Author(s) | |
| Journal | イベロアメリカ研究, 29(1) |
| Issue Date | 2007-08-24 |
| Type | 紀要/Departmental Bulletin Paper |
| Text Version | 出版者/Publisher |
| URL | http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9718 |
| Rights | |



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

ラテンアメリカ日誌－2006年－

| 月 日 | 国名 | 記事 |
|------|--------|---|
| 1・3 | ペルー | 政府はチリで拘束されているフジモリ(Alberto Fujimori)元大統領の身柄引き渡しをチリ政府に正式に要請した。 |
| 1・5 | アルゼンチン | 政府は国際通貨基金(IMF)に対する約96億ドルにのぼる債務を前倒しで全額返済した。支払いには外貨準備金の約3分の1が充てられた。 |
| 1・5 | グアテマラ | 米科学誌サイエンス(電子版)は、グアテマラ北部サンバルトロのピラミッドでマヤ文明最古とみられる紀元前300～同200年ごろの象形文字を発見したとする、米ニューハンプシャー大などの考古学チームの論文を掲載した。 |
| 1・5 | ペルー | 政府はベネズエラのチャベス(Hugo Rafael Chávez Frías)大統領がペルーの大統領選に立候補している左派候補を応援する発言をしたことについて「内政干渉である」と受け止め、駐ベネズエラ大使を召還すると発表した。 |
| 1・6 | ペルー | チリで拘束されているフジモリ元大統領は、ペルーの全国選挙評議会に対して支持政党「シ・クンプレ」を通じて大統領選挙の候補者として届け出た。 |
| 1・7 | ハイチ | ハイチに展開する国連平和維持活動(PKO)部隊のブラジル人ウラノ・バセラル(Urano Teixeira da Matta Bacellar)司令官が、首都ポルトープランスの宿舎のホテルで銃弾を頭に受けて死んでいるのが発見された。状況から自殺の可能性が濃厚だが、ブラジル軍は「銃の暴発事故」としている。 |
| 1・9 | ペルー | 4月9日の大統領選で選管にあたる全国選挙評議会で最初に立候補資格を審査する特別選挙評議会は、政党「シ・クンプレ」が提出したフジモリ元大統領の立候補届けを却下した。国会による10年間の公職追放決議を受けている事が却下の理由。 |
| 1・12 | ペルー | フジモリ元大統領の支持政党「シ・クンプレ」は、同党が提出した立候補届が全国選挙評議会の受付機関で却下された事を不服として異議を申し立てた。 |
| 1・13 | パハマ | ピニミ島にある米国のノーベル賞作家ヘミングウェイ(Ernest Hemingway)の博物館とゆかりのバーが入った木造のホテルが全焼し、展示されていたヘミングウェイの写真や遺品が焼失した。 |
| 1・13 | ベネズエラ | スペインがベネズエラに軍用機12機を売却すると昨年契約したところ、部品の供給元である米国がこれを認めない方針を伝えたと報道された。スペイン側は米国のライセンスに縛られた部品を欧州製に交換して輸出する考え。 |
| 1・15 | チリ | 大統領選挙の決選投票が行われ、中道左派与党連合の女性候補、バチェレ(Michelle Bachelet)前国防相(社会党)が当選した。同国で女性大統領の誕生は史上初めて。 |

| | | |
|------|---------|---|
| 1・15 | ペルー | 全国選挙評議会がフジモリ元大統領の大統領選立候補を認めないと最終決定したことを受け、フジモリ氏は拘束先のチリ刑務官学校を訪れた「シ・クンブレ」のウセダ(Diego Uceda)事務局次長に評議会の決定を受け入れる意向を表明した。 |
| 1・16 | ペルー | フジモリ元大統領が大統領選への立候補を却下されたのに対し、同氏政党「シ・クンブレ」は別に立候補を届け出ている側近のマルタ・チャベス(Marta Chávez)議員をフジモリ派の統一候補とすることで一致した。 |
| 1・17 | ドミニカ共和国 | 野球の国別対抗戦「ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)」のドミニカ共和国代表候補60人が発表され、A・ロドリゲス(Alex Rodriguez)内野手(ヤンキース)がメンバーに入った。しかし、代理人のボラス(Scott Boras)氏は同選手が米国代表でプレーする事を決意したと語った。同選手は米国生まれで両親がドミニカ共和国出身のため、どちらを選んでも出場できる。 |
| 1・18 | ボリビア | ロドリゲス(Eduardo Rodríguez Veltzé)大統領は、軍が所有する中国製地对空ミサイルを破棄し、許可無く米国に移送したとされる問題で、アンテサナ(Marcelo Antezana)軍司令官を解任し、メンデス(Gonzalo Méndez)国防省の辞任を認めた。 |
| 1・19 | メキシコ | 北部、サビナス近郊の炭鉱で爆発があり、少なくとも65人の作業員が坑内に閉じ込められた。 |
| 1・20 | キューバ | 3月に開催されるワールド・ベースボール・クラシックについて、米国の経済制裁対象国であるキューバの参加に難色を示していた米財務省は、同チームの参加を認めると発表した。 |
| 1・22 | ボリビア | 昨年12月の大統領選挙で先住民初の大統領に当選したエボ・モラレス(Juan Evo Morales Ayma)新大統領の就任式がラパスで行われた。任期は5年。 |
| 1・24 | キューバ | ハバナにある米利益代表部近くで、カストロ(Fidel Castro Ruz)国家評議会議長が呼びかけた数10万人規模のデモが行われた。米国が代表部ビルに取り付けた電光掲示板で、表現や集会の自由をうたった世界人権宣言の一節やニュースを流すキャンペーンを始めており、これにキューバ政府が反発した形だ。 |
| 1・26 | コロンビア | コロンビアの公文書偽造組織が国際テロ組織アルカイダやイスラム過激派ハマースに協力した疑いがあるとして、検察庁は米国の関係機関と協力して30ヵ所以上を一斉搜索、少なくとも17人を拘束した。組織のメンバーが欧米を行き来しやすいよう、コロンビアや欧州各国の旅券などを偽造したとされる。 |
| 1・29 | ベネズエラ | チャベス大統領は国営テレビの自分の番組に、同日まで首都カラカスで開催された「世界社会フォーラム」の参加者を招待し、「米帝国よくだばれ」と米ブッシュ政権を激しく非難した。 |
| 1・29 | メキシコ | メキシコ市の闘牛場で、「小鳥ちゃん」と名づけられた体重500キロ以上の牛が柵を飛び越えて観客席に飛び込み、7人が重軽傷を追った。メキシコ市の闘牛場で牛が観客席に飛び込んだのは初めてだという。 |

| | | |
|------|---------|---|
| 2・1 | ボリビア | マクラレン(Scott McClellan)米大統領報道官は、ブッシュ大統領がボリビアのモラレス新大統領に電話し、当選と就任を祝福した事を明らかにした。モラレス大統領は反米を公言しているが、電話では「建設的な関係と対話」を目指す事で一致した。 |
| 2・2 | ベネズエラ | チャベス大統領は、在カラカス米大使館の武官の米海軍大佐を「スパイ行為に参画した好ましからざる人物」として即時の国外退去を命じた。米政府はスパイ行為を否定している。 |
| 2・5 | コスタリカ | 大統領選挙が行われ、ノーベル平和賞受賞者で国民解放党のオスカル・アリアス(Oscar Arias Sánchez)元大統領が当選した。就任は5月8日で任期は4年。 |
| 2・16 | ハイチ | 2月7日に行われた大統領選挙で、選管当局はルネ・プレバル(René Préval)元大統領が51.15%の過半数の票を獲得して当選したと発表した。就任は3月29日で、任期5年。 |
| 2・20 | ブラジル | 国営石油会社ペトロブラスは、今年の新規投資を前年比48%増の380億リアル(約180億ドル)とする計画を発表した。6割を国内外の油田開発と生産拡大に向ける。 |
| 2・24 | ブラジル | ブラジル地理統計院(IBGE)は、2005年の国内総生産(GDP)の伸び率が2.3%だったと発表した。原油高によるインフレ懸念から、中央銀行が維持した高金利政策が影響したと見られる。 |
| 2・27 | コロンビア | 米通商代表部(USTR)は、コロンビアとの自由貿易協定(FTA)の締結交渉で最終合意に達したと発表した。米国が南米諸国とFTAの締結で合意するのはチリ、ペルーに次いで3カ国目。 |
| 3・1 | エルサルバドル | 中米など6カ国と米国による中米自由貿易協定(CAFTA)で、米エルサルバドル間の協定が一足早く発効した。残る5カ国は知的財産権の保護に関する国内法の整備などが遅れており、完全発効までには時間がかかる見込み。 |
| 3・8 | チリ | チリ・インド両国政府はニューデリーで将来の自由貿易協定締結を視野にいれ、主力産品の関税を相互に引き下げる特惠貿易協定に調印した。同協定では、チリ産の銅製品、魚肉加工品、インド産の繊維製品や化学品医薬品など、双方の輸出品の90%以上が関税引き下げの対象となる。 |
| 3・11 | チリ | 1月の大統領選挙で当選を果たした中道左派のミachel・バチェレ氏が大統領に就任した。任期は4年。同日発足した内閣の閣僚20人のうち国防相や大統領府長官など半数が女性を占める。 |
| 3・11 | ボリビア | モラレス大統領は、バチェレ・チリ大統領の就任式が行われたバルパライソでライス・米國務長官と会談し、麻薬対策などについて協議を行った。 |
| 3・17 | ウルグアイ | 首都モンテビデオから約290キロ北西にあるヤングの町で、テレビ番組の収録中に事故が起き、参加者が列車の車両にひかれて6人が死亡し、約20人が負傷した。 |

| | | |
|------|----------------|---|
| 3・21 | ボリビア | ラパス中心部で21日夜から22日未明にかけて2つのホテルで大規模な爆発があり、2人が死亡、約10人が負傷した。警察当局は、事件に関連して米国人男性とウルグアイ人女性を拘束した。犯行声明は出されておらず、目的は分かっていない。 |
| 3・25 | アルゼンチン メキシコ | メキシコ市で、サッカーのスペイン1部リーグ、レアルマドリッドでGMを務めたホルヘ・バルダーノ(Jorge Valdano)氏が乗ったヘリコプターが墜落した。同氏は肋骨などを折って入院したが、意識はあり命に別状はないという。 |
| 3・29 | ブラジル | 与党・労働党をめぐる汚職疑惑で、賭博業者との関係が取りざたされているパロシ(Antoni Palossi Filho)財務相がルラ(Luiz Inácio Lula da Silva)大統領に辞表を提出し、受理されたと報道された。大統領は後任としてマンテガ(Guido Mantega)社会経済開発銀行総裁に財務相への就任を要請した。 |
| 3・30 | メキシコ | メキシコ、米国、カナダ3カ国の首脳はカンクンで首脳会議を開いた。国境管理の強化、エネルギー開発、災害対策など5項目における協力強化で合意した。 |
| 4・4 | ベネズエラ | 政府は石油大手の仏トタルとイタリア炭化水素公社がベネズエラで運営する2油田を管理下に置いた。国家による天然資源の管理強化を掲げるチャベス政権が外資運営の油田を管理下に置くのは初めて。 |
| 4・9 | ペルー | 大統領選が実施され、過半数の得票を確保する候補者が無かったため、1位の左派、オジャンタ・ウマラ(Ollanta Moisés Humala Tasso)元陸軍中佐と2位の中道左派アラン・ガルシア(Alan García Pérez)元大統領による決選投票が行われる事となった。 |
| 4・10 | 中南米 | 全米100以上の都市で、米下院を通過した不法移民取り締まり法案に反対し、ビザの無い不法移民の合法化を求める統一デモがあり、ヒスパニックを中心に約350万人が参加した。 |
| 4・12 | ペルー | ペルーと米国は、両国間の関税の撤廃などを柱とする自由貿易協定を結んだ。米通商代表部によると、今回の協定により米国から輸出する工業製品の80%、農産品の67%の関税が即時撤廃となる。 |
| 4・17 | ベネズエラ | 東部マトゥリン郊外の刑務所から地下に掘ったトンネルを使い囚人24人が脱獄したと、警察当局が発表した。トンネルは幅約1.5メートルで、刑務所敷地内から外の道路まで長さ約35メートルにわたって掘られていた。当局は完成に約3ヵ月を要したとみている。 |
| 4・18 | アルゼンチン | ティラノサウルスに匹敵する最大級の新種の肉食恐竜の化石をアルゼンチン中部で発掘したと、同国とカナダの共同研究チームが専門誌に発表した。少なくとも7個体分が固まって見つかったため、集団で生活や狩をしていた可能性を示す発見だという。 |
| 4・18 | ボリビア | 南東部の町プエルトスアレスで、ソサ(Celinda Sosa)経済開発相ら3人の閣僚が、政策に不満を持つ地元住民に一時拘束された。新自由主義経済反対を掲げるモラレス大統領は地下資源の政府管理を進めようとしているが、この方針に地下資源の開発で発展を進めてきた東部地域の住民は反発してきた。 |

| | | |
|------|-----------------------|---|
| 4・19 | グアテマラ | 政府は原油価格の世界的な高騰を受け、4月30日から急遽夏時間を導入する事を決めた。実施期間は9月30日まで。電力消費を抑え、発電用の石油コストを軽減するのが狙い。夏時間導入により5ヵ月間で計1億2500ケツアル(約19億3500万円)が節約できると試算している。 |
| 4・20 | アルゼンチン | アルゼンチンなどの研究チームが、パタゴニア地方の9300万年前の白亜紀後期の地層から、後脚のあるヘビ化石を見つけたと、英科学誌ネイチャーで発表した。 |
| 4・21 | ブラジル | 国営会社ペトロブラスがリオデジャネイロ沖の海底油田からの原油生産を始めたと発表した。これにより、年内に国内での生産が消費量を上回るのが確実に became。 |
| 4・22 | ガイアナ | 政府は、ソー(Satyadeow Sawh)漁業牧畜相兼農相が、首都ジョージタウン近郊の自宅で侵入した武装集団に射殺されたと発表した。 |
| 4・23 | ベネズエラ | チャベス大統領は、アンデス諸国の経済・社会統合を目指すアンデス共同体から脱退すると表明した。加盟国の中で親米政権のペルーとコロンビアが最近、相次いで米国との自由貿易協定締結で合意した事に反発したため。 |
| 4・24 | パナマ | トリホス(Martin Torrijos Espino)大統領は、大西洋と太平洋を結ぶパナマ運河の拡張計画を明らかにした。投資金額は52億5000万ドルで、工期は来年から8年間の予定。 |
| 4・24 | ベネズエラ | ラミレス(Rafael Ramirez)エネルギー・鉱業相は、外国企業による油田の開発・操業に関して「法律を改正し、新しいロイヤリティーや税率を適用する事にした」と言明した。 |
| 4・28 | メキシコ | マリファナやコカインなどの麻薬を個人が少量なら持っても罪に問わないとする法案が、賛成多数で議会を通過した。 |
| 4・29 | ボリビア キューバ ベネズエラ | カストロ・キューバ国家評議会議長とチャベス・ベネズエラ大統領、モラレス・ボリビア大統領が、キューバの首都ハバナで会談し、エネルギー、貿易、社会などの分野で左派政権の3カ国が相互に協力する協定を締結した。米国主導の米州自由貿易地域(FTAA)協議に対抗し、ベネズエラとキューバが提唱する「米国抜き」の南米統合プラン「ポリバル代替統合構想(ALBA)」に、今年発足したモラレス政権のボリビアが合流する。 |
| 5・1 | ボリビア | モラレス大統領は、国内の全天然ガス事業を国有化し、外国企業の生産施設と生産したガスの大半を国有会社の管理下に置く事を決定したと発表した。現地生産を手掛ける外資との間で、直ちに国有化交渉に入る。 |
| 5・4 | 南米 | ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラ、ボリビアの4カ国首脳がアルゼンチンのブエルト・イグアスで首脳会合を開催した。ボリビアが行った天然ガス国有化宣言に対して懸念を示していた3国は、首脳会談でボリビアの方針を容認、ボリビアのモラレス大統領は周辺国への天然ガス供給の保証を明記した書類に署名した。 |

| | | |
|------|-----------|---|
| 5・9 | ブラジル | スイスの銀行最大手USBは、ブラジルの投資銀行バンコ・パクチュアルを買収する事で合意したと発表した。買収額は最大で25億ドル。 |
| 5・10 | ベネズエラ | ベネズエラと中国は共同でタンカー10隻を建造する計画で合意した。計画は、国営ベネズエラ石油(PDVSA)の系列会社と、中国船舶鉦業公司(CSSC)、中国船舶重工集团公司(CSIC)の間で、13億ドルをかけてタンカーを建造する。 |
| 5・12 | 中米 | 欧州連合(EU)とコスタリカやグアテマラなど中米6ヵ国の首脳は、貿易、投資拡大に向けて自由貿易協定(FTA)交渉を開始することで合意した。EUはアンデス共同体とも交渉入りを探ることで一致、FTAを通じて中南米地域の経済ブロックと提携を強め、自由貿易圏の大幅な拡大を狙う。 |
| 5・14 | メキシコ | フォックス大統領はブッシュ米大統領との電話会談で、米政府がメキシコ国境警備に州兵投入を検討している事に懸念を表明した。 |
| 5・15 | グレナダ | パリクラブ(主要債権国会議)はグレナダの公的債務の返済期限を繰り延べる事で同国政府と合意したと発表した。対象となるのは、2008年末までに迎える約1600万ドルの、米国、英国、フランス、ロシア、ベルギーの5ヵ国から借り入れた債務。返済期限を最大12年間延ばし、当初の5年間は元利を返さない据え置き期間に充てる。 |
| 5・15 | ブラジル | 大手鉦山会社のリオドセは、2006年度の鉄鉦石価格をめぐる交渉で、欧州鉄鋼大手のティッセン・クルップ(ドイツ)と前年度比19%の値上げで合意したと発表した。 |
| 5・15 | ベネズエラ | 米政府はベネズエラを「テロ対策に非協力的な国」と認定した。米国からの武器供与を停止すると共に、第3国を経由した米国製軍事関連製品の輸出も禁止する。 |
| 5・15 | 中南米 | ブッシュ米大統領は不法移民対策についてテレビ演説し、メキシコ国境の警備に米軍の一部である州兵6000人を来月上旬から派遣すると表明した。同時に国境警備局の人員を現在の1万2000人から2年かけて6000人増やす。その上で、米墨国境の事態緊張を意図する措置ではないと強調し、メキシコ側に警備強化への理解を求めた。 |
| 5・16 | エクアドル | 米通商代表部は、エクアドル政府が米石油大手オキシデンタル・ペトロリアムによる石油開発契約の破棄を発表した事に強い不満を表明し、2004年5月に開始した同国との自由貿易協定締結交渉を打ち切ると発表した。 |
| 5・16 | ブラジル | サンパウロで12日夜から始まった麻薬組織による警察署襲撃が、沈静化に向かった。市内の公共交通機関や、企業、商店の多くは平常どおりの営業を再開した。警察によると、死者は治安当局者40人や一般市民の4人を含む124人に達している。 |
| 5・18 | チリ ペルー | チリの首都サンティアゴで拘束されていたフジモリ元ペルー大統領が、チリ最高裁の保釈決定により、拘束先の施設から約半年ぶりに釈放された。保釈金は約3000ドル。通常的生活を送れるが、国外渡航や政治的な行動は禁止される。 |

| | | |
|------|-------|---|
| 5・18 | ブラジル | リオデジャネイロのマラカナン競技場で、警備中の警官が観客席に向けて発砲し、少なくとも3人が負傷した。発砲の理由は分かっていない。 |
| 5・21 | ベネズエラ | チャベス大統領は、ロシアからスホイ戦闘機を購入する方針を明らかにした。米政府が15日に発表した対ベネズエラ武器輸出禁止に対する対抗措置。 |
| 5・24 | ニカラグア | 石油価格の高騰によるバス運賃値上げに対する抗議行動が頻発している首都マナグアで、暴徒化した学生21人が逮捕された。 |
| 5・24 | 中南米 | コロンビアの地雷で手足を失った子どもたちを救おうと、中南米を中心に活躍する歌手が米ロサンゼルスに集結、慈善コンサートを行った。コロンビア出身で米国を基盤に人気を伸ばしているロック歌手フアネス(Juanes)が呼びかけた。 |
| 5・28 | コロンビア | 大統領選挙が行われ、右派の現職アルバロ・ウリベ(Álvaro Uribe Vélez)大統領が再選を果たした。就任は8月7日で任期は4年。 |
| 5・30 | チリ | 公共交通機関の無料利用廃止に端を発した高校生のデモが全国で激化し、30、31日の両日で約800人が逮捕された。高校生の投石や警官隊との衝突で負傷者も出ており、首都サンティアゴでは地下鉄が運行中止するなどの影響も出た。 |
| 6・1 | メキシコ | 日米欧など主要30ヵ国が加盟する経済協力開発機構(OECD)の第5代事務総長に、メキシコの元財務相アンヘル・グリア(José Ángel Gurría Treviño)氏が就任した。任期は5年。 |
| 6・4 | ペルー | 大統領選挙の決選投票が行われ、中道左派のアラン・ガルシア元大統領が、左派民族主義のオジャンタ・ウマラ氏を抑えて当選を決めた。 |
| 6・6 | ブラジル | ブラジリアで農地改革を求める「土地なし農民解放運動(MSLT)」の活動家約700人が国会に突入し、棒や石で窓ガラスや机などを破壊した。約40人が負傷し、約500人が逮捕された。 |
| 6・8 | ブラジル | 経営危機に陥っているバリグ航空の国際線と国内線の営業権の競売が行われ、従業員グループが10億1000万リアル(約4億5000万ドル)で入札した。 |
| 6・12 | キューバ | 米務省のマコーマック(Sean McCormack)報道官は記者会見で、キューバのハバナにある米利益代表部の電気が5日から止められている、と明らかにした。停電は一帯で同代表部だけだといい、報道官は「(キューバ政府の)嫌がらせ」と批判した。 |
| 6・12 | ベネズエラ | 大統領府は国内にカラシニコフ自動小銃と弾薬の製造工場を建設するため、近くロシア政府との間で協力文書に調印する事を明らかにした。 |
| 6・13 | ペルー | リマ郊外で銀鉱山の労働者約50人を乗せたバスが深さ300メートルの谷に転落し、35人が死亡した。バスは鉱山での仕事を終えた労働者を乗せ、宿舎のある街に戻る途中だった。 |

| | | |
|------|--------------|--|
| 6・14 | ペルー ブラジル | ガルシア次期大統領は、ブラジルのルラ大統領に天然ガス事業での協力を要請した。次期政権でペルー石油公社とブラジル国営石油会社(ペトロブラス)との業務提携を目指す。 |
| 6・16 | ニカラグア | アルゲジョ(Alejandro Arguello)産業振興・商工相と台湾の黄當杉・経済部長(経済相)は、台北市で自由貿易協定(FTA)に署名した。両国の立法府による批准を経て2007年に発効する見通し。台湾がFTAを結ぶのはパナマ、グアテマラに次ぎ3カ国目。 |
| 6・23 | ブラジル | 司法当局は経営危機に陥っているバリグ航空の従業員グループによる買収計画を無効とした。同日までに必要金額が支払われなかったため。 |
| 6・26 | 中南米 | 米国最大のスペイン語メディア企業のユニビジョン・コミュニケーションズは、取締役会で同社を投資家グループに負債引き受け分を含め137億ドルで売却する事を決め、テキサス・パシフィック・グループなど4つの投資会社で構成するグループが、市場価格に13%上乗せした価格で株を買い取る。 |
| 6・28 | ペルー | 国会は4月に米国政府との間で締結した自由貿易協定を承認した。 |
| 7・2 | メキシコ | 大統領選挙が行われた。選挙管理当局の最終集計では中道右派の与党・国民行動党(PAN)のカルデロン(Felipe Calderón Hinojosa)元エネルギー相が僅差で中道左派・革命民主党(PRD)のロペス・オブラドル(Andrés Manuel López Obrador)前メキシコ市長を下した。これに対し、オブラドル候補は選挙裁判所に不服申し立てを行った。 |
| 7・4 | 南米 | メルコスル(南米南部共同市場)の加盟4カ国の首脳とベネズエラのチャベス大統領が、同国の首都カラカスでベネズエラの加盟を認める協定書に調印した。今後、協定書について各国が批准し、正式に発効する予定。 |
| 7・5 | コロンビア ペルー | ペルー大統領選で当選したガルシア氏は、訪問先のコロンビアでウリベ大統領と会談した。両者は、政治経済両面での連携強化を確認した。ガルシア氏は当選後、米国と協調姿勢を見せるチリ、ブラジルなどを連携相手とみなし、訪問を続けている。 |
| 7・12 | ベネズエラ | ベネズエラ国営石油会社の米子会社シトゴ・ペトロリアムは、米国内に展開する自社ブランドの約1万3100ヵ所の給油所を2007年3月までに14%縮小すると発表した。販売網の再編による経営効率化が狙いと説明しているが、反米を掲げるチャベス大統領の政治的決断との見方も広がっている。 |
| 7・18 | パナマ | ルイス(Samuel Lewis Navarro)パナマ第1副首相兼外相は、今年10月22日にパナマ運河拡張計画の是非を問う国民投票を実施すると述べた。 |
| 7・20 | 南米 | メルコスルの首脳会議がアルゼンチンのコルドバで開催された。加盟国代表として初めて参加したベネズエラのチャベス大統領は、熱望している国連安保理の非常任理事国入りについて、参加各国の支援を取り付けた。 |

| | | |
|------|-------|---|
| 7・24 | ベネズエラ | チャベス大統領はベラルーシを訪問し、米欧から「欧州最大の独裁者」と批判されているルカシェンコ(Alexander Lukashenko)大統領と会談。「(米国の)一極支配」に反対する事で一致し、2国間関係強化を掲げた共同宣言を発表した。 |
| 7・25 | ブラジル | ブラジル・サッカー連盟は、サッカー・ブラジル代表監督に、元代表首相でリーグのジュピロ磐田でもプレーしたダウンガ(Dunga)氏が就任すると発表した。選手時代に「鬼軍曹」と呼ばれたほどの強い統率力が持ち味だが、監督経験は無く、異例の起用だ。 |
| 7・27 | ベネズエラ | チャベス大統領はロシアを訪問し、プーチン(Vladimir Putin)大統領と会談。軍事技術やエネルギー分野で協力を強化することで合意した。両国はこれに先立ち、ロシア製スホイ戦闘機24機など総額30億ドルの武器取引契約を結んだ。 |
| 7・28 | ペルー | 6月の決選投票により選出されたアラン・ガルシア大統領の就任式が行われた。ガルシア政権は1985-90年に続いて2度目。 |
| 7・30 | ベネズエラ | チャベス大統領は、訪問先のイランでアフマディネジャド(Mahmoud Ahmadinejad)大統領と会談。記者会見で両大統領は、イスラエルによるレバノン南部への空爆を「人道にもとる恥ずべき行為だ」と声をそろえて非難した。 |
| 7・31 | キューバ | 政府はフィデル・カストロ国家評議会議長が胃腸の病気で緊急手術を受けたと発表した。これに伴い、同議長の権限が一時的に、弟で国家第1副議長兼国防相のラウル・カストロ(Raúl Castro Ruz)氏に委譲された。議長が暫定的にせよ権限を委譲するのは始めて。 |
| 8・3 | キューバ | ブッシュ(George W. Bush)米大統領は、キューバ国民に「民主化に向けた移行政権が出来れば、米国は人道支援を行う用意がある」と訴える声明を発表した。キューバ民主化へ道が開かれれば、実施中の制裁を緩和する構えも示唆したものとみられる。 |
| 8・5 | メキシコ | 7月2日に行われた大統領選で、選挙裁判所は全投票所の10%未満にあたる投票所の票の数えなおしをすると発表した。選管の発表で次点となった中道左派・革命民主党のロペス・オブラドル前メキシコ市長は全票の数えなおしを要求しており、7月末から市中心部で道路封鎖などの抗議活動を行っている。 |
| 8・7 | チリ | 北部にある世界最大のエスコンディダ銅山で、2000人以上の労働者が賃上げなどを要求してストライキに突入した。銅山会社によると、既に生産量が60%減少したという。 |
| 8・8 | キューバ | 反政府活動家のグスタボ・アルコス(Gustavo Arcos Bergnes)氏がハバナ市内で心臓発作のため死去。79歳。 |
| 8・13 | キューバ | 政府機関紙フレントウ・レベルデ(電子版)は、腹部の手術を受けたカストロ国家評議会議長の80歳の誕生日を迎え、病床の写真と声明を掲載した。手術を公表した7月31日以来、議長の写真が公表されるのは初めて。 |

| | | |
|------|--------------|--|
| 8・16 | エクアドル | 首都キトの南約130キロにあるトゥングラワ火山が16日深夜から17日未明にかけて噴火し、溶岩流に巻き込まれるなどして男性1人が死亡、4人が行方不明となった。逃げ遅れた60人以上の住民と連絡が取れていないとされ、被害が拡大する恐れもある。 |
| 8・17 | チリ | 世界最大の銅鉱山エスコンディダが、労働組合のスト長期化の影響で操業を停止すると発表した。銅価格の高騰を受け大幅な賃上げを求める労組との溝が埋まらず交渉も打ち切った。 |
| 8・27 | エクアドル | ギネスブックで世界最高齢と認定されていたマリア・エステル・デカポビジャ(Maria Esther de Capovilla)さんが、グアヤキルの病院で死亡した。116歳だった。 |
| 8・28 | メキシコ | 米アルコール飲料製造・輸入大手のブラウン・フォーマンは、メキシコのテキーラ製造大手、グルボ・インダストリアル・エラドゥラを8億7600万ドルで買収すると発表した。ヒスパニック系移民の増加などによる米国内の需要増に対応する。 |
| 8・29 | ベネズエラ | チャベス大統領は訪問先のマレーシアで講演し、両国が石油開発などエネルギー分野で協力を進める方針である事を明らかにした。 |
| 8・30 | ブラジル | 航空機大手のエンブラエルは、中国航空大手の海航集団から中小ジェット機100機を受注したと発表した。受注額は27億ドル。 |
| 8・30 | ベネズエラ | チャベス大統領は訪問先のシリアでアサド(Bashar al-Assad)大統領と会談し、石油、運輸分野などでの協力拡大を話し合った。 |
| 8・31 | アルゼンチン | 5月上旬に南部サンタクルス州の海岸で油にまみれた状態で発見され、リハビリ施設に保護されていた224羽のペンギンのうち50羽が、ブエノスアイレス州の海岸で海に帰された。油汚染の原因はいまだ不明。 |
| 8・31 | チリ | エスコンディダ銅山で、賃上げをめぐる労使交渉が決着した。経営側の提案を労組が受け入れ、8月7日から続いていたストライキが終結。経営側によると、労組は5%の賃上げと、組合員1人あたり約1万7000ドルのボーナス受給を受け入れた。 |
| 9・5 | ニカラグア | 選挙裁判所は7月2日に実施した大統領選挙の最終審理を開き、選管集計で首位だった中道右派・国民行動党のカルデロン元エネルギー相の当選を正式発表した。 |
| 9・10 | ブラジル キューバ | 女子バレーボール・ワールドグランプリの決勝ラウンドの決勝戦がイタリアのレッジョカラブリアで行われ、ブラジルがロシアを3-1で下し、大会初の3連覇を達成した。3位決定戦は、イタリアがキューバを3-2で下した。 |
| 9・13 | ブラジル | ルラ大統領とインドのシン(Manmohan Singh)首相、南アフリカのムベキ(Thabo Mvuyelwa Mbeki)大統領はブラジルで会談し、3カ国の経済協力を拡大する事で合意した。各国が関税合意の早期実現を目指し、現在年間80億ドル程度の3カ国間での貿易を、来年に100億ドル程度まで拡大する方針。 |

| | | |
|------|-------|--|
| 9・15 | キューバ | 110ヵ国以上の途上国が一堂に会する非同盟諸国会議がハバナで開催された。主催国の代表で病氣療養中のカストロ国家評議会議長が7月末の手術以降初めて公の場に現れるか注目されたが、会議には参加せず、首脳会議の議長はラウル国家評議会第1副議長兼国防相が代行した。 |
| 9・18 | ベネズエラ | チャベス大統領とイランのアハマディネジャド(Mahmud Ahmadinejad)大統領は、両国供出による20億ドルの基金設立などを含む30項目以上の経済協力協定に調印した。協定では、石油開発や石油化学製品、鉱山などの分野で両国で共同会社を設立、プロジェクト費用の一部を基金から供出する。 |
| 9・20 | ベネズエラ | チャベス大統領は国連総会の一般演説でブッシュ大統領を悪魔にたとえ、イラク戦争などにおける米国の単独行動主義を痛烈に批判した。 |
| 9・23 | ベネズエラ | 国連総会に出席後、帰国の途に就こうとしたマドゥロ(Nicolás Maduro Moros)外相が、ニューヨークのケネディー国際空港で約1時間半、空港当局に拘束された。米務省の報道官は遺憾の意を示すと共に、「米国は外相とベネズエラ政府に謝罪した」と述べた。 |
| 9・27 | エクアドル | 10月の大統領選で支持率トップに立つ左派のコレア(Rafael Correa Delgado)氏は、国連総会でチャベス・ベネズエラ大統領が行ったブッシュ・米大統領への批判に便乗し、「悪魔は凶悪だけど賢い。世界をひどく傷つけた間抜けなブッシュ米大統領と比べるのは、悪魔への侮辱だ」と米大統領を酷評した。 |
| 9・27 | ベネズエラ | 米セブン-イレブンは、ベネズエラ国営石油会社参加のガソリン販売会社との契約を9月で停止すると発表した。チャベス大統領が米国批判を強め、両国の関係が悪化している事が背景にあると見られている。 |
| 9・28 | コロンビア | ウリベ大統領は、南米最大の左翼ゲリラ・コロンビア革命軍(FARC)が拘束している人質62人の解放交渉のために、同国南部の2つの町から軍を撤収すると発表した。現地では、強硬一辺倒だった大統領の方針転換とみられている。 |
| 9・28 | ブラジル | 10月1日投開票の大統領選を直前に控え、ブラジル最大の放送局がテレビ討論会を開いたが、党幹部による選挙戦をめぐる疑惑が取りざたされている中道左派・労働党のルラ大統領は政治集会への参加を理由に欠席した。他の候補は「問題を説明できないから逃げた」と批判した。 |
| 9・29 | ブラジル | 航空当局は、北東部パラ州上空でアマゾナス州マナウスを出発し首都ブラジリアを經由しリオデジャネイロに向かう予定だったGOL航空ボーイング737型機が消息を絶ったと発表した。GOL航空は格安チケットの販売拡大でブラジルで急速にシェアを伸ばした新興航空会社。 |
| 10・1 | ブラジル | 大統領選挙が行われ、中道左派・労働党のルラ大統領が得票1位となったものの過半数に届かなかったため、2位の中道左派・ブラジル社会民主党のアルキミン(Gerardo José Rodrigues Alckmin Filho)前サンパウロ州知事との決選投票が行われる事が決定した。 |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 10・6 | ボリビア | ラパスの南290キロにある世界最大規模のスズ鉱山、ワヌニ鉱山で労働者団体同士が衝突し、6日までに少なくとも16人が死亡、60人以上が負傷した。両者は、採掘に使うダイナマイトなどを使って攻撃しあったという。モラレス大統領は、鉱業相と国営公社総裁を解任した。 |
| 10・9 | ベネズエラ | マドゥロ(Nicolás Maduro Moros)外相は、「我が国は核兵器廃棄に努力しており、いかなる核実験にも反対する」と、北朝鮮が行った核実験を非難した。ベネズエラは、北朝鮮による7月のミサイル発射は擁護していた。 |
| 10・10 | ペルー | ガルシア大統領はブッシュ米大統領とホワイトハウスで会談し、両国間の自由貿易協定の早期実現を目指す方針で一致した。米議会の承認待ちの段階にあり、ブッシュ大統領は「出来るだけ早く通過するよう議会に働きかける」と表明した。 |
| 10・11 | キューバ | キューバの最高齢者で自称126歳のベニト・マルティネス(Benito Martínez Abogán)氏が心不全と気管支肺炎を併発して死亡した。マルティネス氏のキューバ政府発行の身分証明証には「1880年6月19日、ハイチ生まれ」と記載されているが、出生証明書などは持っておらず実際の年齢は確認されていない。 |
| 10・13 | ペルー | 左翼武装ゲリラ「センデロ・ルミノソ」の指導者で殺人罪などに問われていたアビマエル・グスマン(Manuel Rubén Abimael Guzmán)被告に対し、対テロ裁判所は求刑通り終身刑を言い渡した。また、他の被告とあわせて約1334億円の賠償を命じた。 |
| 10・14 | チリ | 軍事独裁政権下の拷問被害者として初めて大統領となったバチェレ氏が、サンティアゴ市内の秘密収容所「ビジャ・グリマルディ」跡を31年ぶりに再訪した。バチェレ氏は医学生だった75年1月、母親と共に秘密警察に拉致され、グリマルディで2ヵ月間、尋問と拷問を受けた。 |
| 10・15 | エクアドル | 大統領選挙が行われ実業家で右派のアルバロ・ノボア(Álvaro Novoa)氏が26.8%を獲得し首位、左派のラファエル・コレア元経済相が22.8%で第2位となった。この結果、11月26日に両者による決選投票が行われる事になった。 |
| 10・16 | 中南米 | 国連総会は安全保障理事会の非常任理事国の改選選挙を実施。中南米枠の1議席をめぐり、反米を掲げるベネズエラと欧米が後押しするグアテマラの票が割れ、10回の投票でも決着がつかなかった。当選には総会の3分の2以上の得票が必要だが、両者とも規定数に届かず、決着は持ち越された。 |
| 10・19 | アルゼンチン ボリビア | 天然ガス資源を国有化したボリビアは、同じ左翼政権として連携するアルゼンチンと、ガス販売と施設整備に関して今後20年間で計500億ドルとなる巨額の契約を結んだ。 |
| 10・20 | エルサルバドル | サカ(Elias Antonio Saca)大統領は訪問先の台湾・陳水扁総統と会談し、自由貿易協定(FTA)の締結で合意した。エルサルバドルが締結の条件としていた砂糖の輸出増について、FTA発効の3年後に年間6万トンの輸入枠を設ける事で一致した。台湾がFTAを結ぶのはパナマ、グアテマラ、ニカラグアに次いで4か国目。 |

| | | |
|-------|-------|--|
| 10・20 | コロンビア | ウリベ大統領はゲリラ組織・コロンビア革命軍(FARC)との和平交渉を中断すると発表した。首都ボゴタ軍の学校で19日、自動車爆弾によって10人が負傷したが、ウリベ大統領はこれらをFARCの犯行と断定。「テロ活動が続く限り交渉は認められない」と述べた。 |
| 10・21 | ボリビア | 中部のコチャバンバ郊外で、長距離バスが深さ約450メートルの谷に転落し、31人が死亡、20人以上が負傷した。 |
| 10・22 | パナマ | パナマ運河の拡張の是非を問う国民投票が実施され、賛成が78%に上った。選挙裁判所は計画の承認をトリホス大統領に伝えた。 |
| 10・23 | パラグアイ | フランスで印刷され、パラグアイへ輸送中だった約2億7000万円相当のパラグアイ紙幣の新札が消え、捜査当局は盗難事件として捜査を始めた。新札は全部で200箱あり、嚴重に封をしたコンテナで仏から送り出されたが、パラグアイの港に着いたときには5箱がなくなっていたという。 |
| 10・23 | ベネズエラ | 首都カラカスの米国大使館近くで、爆発物が入っていると見られる袋2つが見つかった。警察当局は袋を爆破すると共に、不審な男性1人を拘束した。 |
| 10・24 | ブラジル | 資源大手リオドセはカナダのニッケル大手インコの75.66%の株式を約150億カナダドル(約1兆6000億円)で取得し、事実上買収したと発表した。これにより、リオドセは英豪系BHPビリトンに次いで世界第2位の鉱山会社となる。 |
| 10・27 | チリ | 司法当局は、90年まで17年間軍事独裁政権を率いたピノチェト(Augusto José Ramón Pinochet Ugarte)元大統領が秘密収容所「ビジャ・グリマルディ」での拷問や殺人に関与したとして元大統領を起訴する事を決め、改めて自宅軟禁を命じた。 |
| 10・29 | ブラジル | 大統領選の決選投票が行われ、中道左派・労働党のルラ大統領が、中道左派・ブラジル社会民主党のアルキミン前サンパウロ州知事を破り再選された。就任は2007年1月1日、任期は4年。 |
| 11・1 | 中南米 | ベネズエラとグアテマラが譲らず2週間にわたり膠着状態に陥っていた国連安全保障理事会の非常任理事国の中南米枠改選選挙で、両国が共に立候補を辞退し、妥協案として中米のパナマを擁立する事で合意した事が明らかになった。 |
| 11・2 | ベネズエラ | ベネズエラが国連安全保障理事会の非常任理事国改選選挙から出馬を辞退したのを受け、米国のボルトン国連大使は「ベネズエラは自滅した。我々は(引き下ろしの)目的を達成した」と記者団に語った。 |
| 11・5 | ニカラグア | 大統領選挙が行われ、サンディニスタ民族解放戦線(FSLN)のオルテガ(José Daniel Ortega Saavedra)元大統領が当選した。 |
| 11・7 | 中南米 | 国連総会は安全保障理事会の非常任理事国となる国を選ぶ48回目の投票を行い、中南米からアルゼンチンに代わる新理事国としてパナマを選出した。 |

| | | |
|-------|--------|---|
| 11・9 | アルゼンチン | ブエノスアイレスで1994年7月に起きたユダヤ人協会本部ビル爆破事件(85人死亡)をめぐる、連邦裁判事は、検察当局に対し、イランのラフサンジャニ(Akbar Hashemi Rafsanjani)元大統領と当時の政権幹部ら計8人の逮捕状を出し、国際刑事警察機構を通じた国際手配を求めた。 |
| 11・10 | エクアドル | エクアドル国内の中国系企業の油田施設に地元労働者300人が賃上げなどを求めて押しかけ占拠、エクアドル軍が出動する騒ぎに発展した。 |
| 11・16 | ウルグアイ | 司法当局は、約30年前に軍事政権を敷いたボルダベリ(Juan Maria Bordaberry)元大統領とブランコ(Juan Carlos Blando)元外相を反対派殺害などへの関与の容疑で逮捕した。今回の逮捕容疑は、隣国アルゼンチンの首都ブエノスアイレスで76年5月、反対派の元国会議員2人と左翼ゲリラ2人が殺害された事件に関与した疑い。 |
| 11・17 | ブラジル | リオデジャネイロの海岸でサーファー、リコ・デ・ソウザ(Rico de Souza)氏が長さ8メートル5センチのボードでサーフィンに成功させた。「世界最長のボードだ」として、ギネスブックに申請するという。ソウザ氏はこれまでも、サーフィンの様々な世界記録に情熱を傾けてきた。 |
| 11・17 | ブラジル | 鉄鋼大手CSNは英蘭の鉄鋼コーラスに買収を提案すると発表した。金額は80億ドル程度の見通し。コーラス側はまだ態度を明らかにしていない。 |
| 11・19 | アルゼンチン | ブエノスアイレスをお忍び旅行中だったブッシュ米大統領の娘バーバラ(Barbara Pierce Bush)さんが、レストランで食事中に財布と携帯電話を盗まれた。護衛がいたが気がつかなかったという。 |
| 11・20 | メキシコ | 7月の大統領選挙で僅差で落選した中道左派・民主革命党のロペス・オブラドル氏は、メキシコ市の中央広場で数万人の支持者を集めて独自の大統領就任式を敢行し、「自分が正式な大統領だ」と宣言した。 |
| 11・22 | コロンビア | コロンビアと米国は自由貿易協定に署名した。コロンビアにとって米国は輸出入とも最大の相手国。だが、米中間選挙で勝利した民主党は、コロンビアが児童労働などの面で国際的労働基準を順守していないとして批准に反対している。 |
| 11・23 | ペルー | 刑事裁判所は1992年に起きたリマの刑務所の暴動鎮圧の際、極左ゲリラの受刑者を殺害するよう指示したとして、殺人容疑でフジモリ元大統領に対する逮捕状を出し国際手配の手続きをとった。 |
| 11・25 | チリ | ピノチェト元大統領は、91歳の誕生日を迎え国民に向けた書簡を発表し、自らのクーデターと独裁について「国を崩壊させないためだった」と正統性を訴えた。 |
| 11・26 | エクアドル | 大統領選の決選投票が行われ、第1回投票で2位だった反米左派のラファエル・コア元経済・財務相が当選した。就任は2007年1月15日で任期は4年。 |
| 11・26 | メキシコ | フォックス(Vicente Fox Quesada)大統領が中部グアナファト州にある自身の牧場で国会議員を集めて昼食会を開いた際、失神し卒倒した。日射病と見られ救急車で運ばれ医師の診察を受けたが、容体は安定している。 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 11・28 | キューバ | カストロ国家評議会議長の80歳の誕生日を祝う行事の開会式があったが、本人は姿を見せなかった。 |
| 12・2 | キューバ | カストロ国家評議会議長や故チェ・ゲバラ(Ernesto Che Guevara)らキューバ革命同士を乗せたボート「グランマ号」の上陸50周年を祝う軍事パレードが行われた。ほぼ10年ぶりとなる軍事パレードには約30万人の市民が参加し、演壇にはカストロ議長から一時的に権限を委譲されているラウル国防相が立った。 |
| 12・3 | チリ | ピノチェト元大統領が心筋梗塞と肺水腫のため、サンティアゴの陸軍病院に入院し手術を受けた。 |
| 12・3 | ベネズエラ | 大統領選挙が行われ、現職のウゴ・チャベス大統領が3選を果たした。就任は2007年2月2日、任期は6年。 |
| 12・7 | エクアドル | エクアドルのアンデス山脈の森林で、舌の長さが体調の1.5倍もある新種のコウモリが米マイアミ大の研究者により発見された事が発表された。体長に対する舌の長さの割合は哺乳類で最大、脊椎動物の中ではカメレオンに次いで2番目だという。 |
| 12・10 | チリ | ピノチェト元大統領が、急性心不全のためサンティアゴ市内の病院で死去した。91歳。元大統領の死去が公表された後、病院前には支持者が集まり名前を連呼するなどして死を悼んだ。一方で「独裁者」の死を喜ぶ人々もサンティアゴ市内のひろばに集まり、一部が警察当局と衝突した。 |
| 12・12 | チリ | ピノチェト元大統領の葬儀が行われ、元大統領の孫の軍司令官がクーデターを正当化する弔辞を呼んだ。一方、軍政期に暗殺された元司令官の孫は、ひつぎにつばを吐きかけて逮捕された。 |
| 12・16 | ブラジル | 中部ゴイアニア郊外で、深さ6メートルの掘りかけの井戸に落ちた8歳の少年が救出された。少年は9日に誤って井戸に落ちたが、誰にも気づかれなかったため雨水を飲み、雑草を食べ飢えをしのいでいたという。 |
| 12・17 | キューバ | キューバを訪問している米下院議員代表団は、腸内出血で手術を受けて療養しているカストロ国家評議会議長について、キューバ政府幹部から「ガンでもないし死期が近いという事も無い。(公務に)復帰するであろう」との説明を受けた。代表団は1959年のキューバ革命以来最多の10人で構成された超党派の代表団。 |
| 12・20 | メキシコ | 鉄鋼世界最大手のアセロール・ミタル(ルクセンブルグ)は、メキシコ鉄鋼最大手、シカツアの買収で合意したと発表した。メキシコのビラセロ・グループから同社株を100%買い取る。金額は14億3900万ドル。 |
| 12・21 | ペルー | 検察当局は、トレド(Alejandro Celestino Toledo Manrique)前大統領が2000年の大統領選挙に際し、政党登録に必要な署名を大量に偽造させたとして、公文書偽造罪などで同氏を起訴した。当局は同氏の資産約15万ソル(約550万円)を差し押さえたほか、国外に出る事を禁止した。トレド氏は訪米中で当局の手が及びにくい状況にある。 |

| | | |
|-------|--------|---|
| 12・23 | アルゼンチン | ブエノスアイレスの繁華街で、偽のサンタクロースを交えた6人組の窃盗団が深夜に家電量販店に侵入し、プラズマテレビやコンピューターなどを盗んで逃走した。サンタに扮装した男は店頭に立ち、キャンペーンをしているように見せかけ、手に持った鐘を鳴らして通行人などが近づくのを共犯者に知らせていたという。 |
| 12・28 | ブラジル | リオデジャネイロでスラム街を温床とする麻薬密売組織とみられるグループが警察署や長距離バスを一斉に襲撃し、少なくとも市民9人を含む18人が死亡、20人以上が負傷した。 |
| 12・30 | キューバ | 病気療養中のカストロ国家評議会議長は、回復に励んでいるとする国民向けメッセージを公表した。議長は「聞き分けのいい患者として医師団に協力している」と国民に説明した。 |

参考文献

- (1)『朝日新聞縮刷版』『日経新聞縮刷版』(2006年各月号)。
- (2)日経テレコン21。
- (3)イベロアメリカ研究所新聞切り抜き(2006年)。

《資 料》

ラテンアメリカ日誌－２００７年－

| 月 日 | 国名 | 記事 |
|------|--------|--|
| 1・8 | ベネズエラ | 12月の大統領選で3選を果たしたチャベス(Hugo Rafael Chávez Frías)大統領は、新内閣の閣僚宣誓式で「21世紀の社会主義」を唱え、いったん民営化した基幹産業を「再び我々の手に取り戻す」と語り、通信、電力事業などの再国有化を進める方針を打ち出した。 |
| 1・9 | ベネズエラ | カラカス株式市場の平均株価が、18.7%と史上最大の下落を記録した。前日にチャベス大統領が国有化を打ち出した通信会社などの株価が暴落した事が引き金となった。 |
| 1・10 | ニカラグア | 左派・サンディニスタ民族解放戦線のダニエル・オルテガ(José Daniel Ortega Saavedra)氏が大統領に就任した。オルテガ氏は就任演説で、米国が主導してきた新自由主義経済政策を批判し、キューバ、ベネズエラ、ボリビアで構成する「ボリバル代替統合構想」に加盟する意向を表明した。 |
| 1・10 | ベネズエラ | チャベス大統領の3期目の就任式が行われた。任期は6年。 |
| 1・12 | アルゼンチン | 国際手配されていたイサベル・ペロン(Isabel Martínez de Perón)元大統領を、スペインの警察当局はマドリッド近郊の自宅で逮捕した。1974～1976年の政権時代に起きた反体制派市民の行方不明事件に関与した疑い。 |
| 1・15 | エクアドル | 昨年11月の大統領選挙で当選したコレア(Rafael Correa Delgado)氏の就任式が行われ、「ラテンアメリカは真の変革の時にある」と語り、米国主導の新自由主義経済を厳しく批判した。 |
| 1・15 | ベネズエラ | チャベス大統領は国会演説で、ベネズエラでの欧米の国際石油資本などが中心になって進めてきた超重質油開発を含め、国内のすべてのエネルギー産業を国有化すると表明した。 |
| 1・18 | 南米 | ブラジル・リオデジャネイロで18・19日の両日、メルコスル(南米南部共同市場)首脳会議が開催された。ボリビアの正式加盟やウルグアイ、パラグアイ両国の関税優遇措置などをめぐる議論で結論が先送りされるなど、加盟国間の不協和音が目立った。 |
| 1・18 | チリ | 政府と商工団体は、ジャケットとネクタイを着用しないことで省エネに励もうと国民に呼びかけることを決定した。政府は、公的機関でも軽装で働いてよいと通達を出した。日本のクールビズを見習っての決定。 |
| 1・18 | ホンジュラス | セラヤ(Manuel Zelaya Rosales)大統領は、国内で民間企業が保有する石油貯蔵ターミナルを一時的に国の管理下に置いたと宣言した。大統領は「国有化ではなく、石油製品の価格抑制のための一時的使用」としている。 |

| | | |
|------|----------------|--|
| 1・21 | ベネズエラ | チャベス大統領は国民向けテレビ演説で、ベネズエラの急進的な左派政策に懸念を表明する米務省を念頭に、「グリンゴは地獄へ落ちろ」などと米国を厳しく非難した。 |
| 1・24 | プエルトリコ | ギネスブックが世界最高齢者と認定していたエミリアノ・メルカド(Emiliano Mercado)氏が、老衰のため亡くなった。115歳だった。 |
| 1・29 | メキシコ | カンクンで体重6.4キロの男児が生まれた。ルイス(Luis Vasconcelos)さんとテレサ(Alejandra Teresa Cruz Ramirez)さんの間に生まれたアントニオ(Antonio)君で、地元では「スーパー・アントニオ」君として話題になっている。病院側は「血糖値が若干高めだが、問題はない」としている。 |
| 1・30 | ブラジル | サッカーのイタリア1部リーグACミランは、公式ウェブサイト上でブラジル代表ロナウド(Ronaldo Luís Nazário de Lima)をスペイン1部リーグ、レアル・マドリードから獲得したと発表した。契約期間は1年半で、移籍金は750万ユーロといわれている。 |
| 1・30 | キューバ | キューバ国営テレビは、病気療養中のカストロ(Fidel Castro Ruz)国家評議会議長がベネズエラのチャベス大統領と会談する映像を放映した。映像公開は約3か月ぶり。 |
| 1・30 | ベネズエラ | 米務副長官に指名されたネグロポンテ(John D. Negroponte)国家情報長官は「ベネズエラのチャベス大統領は中南米の民主化にとって脅威だ」と述べ、チャベス大統領を批判した。ベネズエラ外務省は「ネグロポンテ氏のやけくその表現を拒絶する」「発言は平和と民主主義にとっての真の脅威」と反論した。 |
| 1・31 | メキシコ | 主食トルティーヤの価格高騰に抗議し、首都メキシコ市で野党や労働組合主催の抗議デモが開催され4万人の市民が参加した。 |
| 1・31 | ベネズエラ | 国会はチャベス大統領に、国会審議を通さずに単独で法律を制定する事が可能な「授権法」を付与することを満場一致で決めた。 |
| 2・1 | ベネズエラ | チャベス大統領は、オリノコ川流域の重質油地帯で欧米国際石油資本が参加している4つの操業プロジェクトについて、「5月1日から国有化する」と宣言した。国営石油会社(PDVSA)の出資比率を少なくとも6割に引き上げる。従わない企業については国外追放も辞さないと述べた。 |
| 2・4 | ボリビア | 最高裁はサンチェス(Gonzalo Sánchez de Lozada)元大統領と同政権の閣僚2人について殺人容疑などで逮捕命令を出した。3人は米国に亡命しており、国際手配の手続きがとられる予定。 |
| 2・5 | メキシコ | メキシコ市で闘牛に反対するデモが行われた。参加者は「闘牛士は殺人者」と書いたポスターなどを掲げながら、闘牛場周辺を行進した。 |
| 2・8 | コロンビア エクアドル | コロンビア軍が左翼ゲリラ鎮圧のために除草剤を空中散布し、隣国エクアドルで農作物や住民の健康に被害が出ている問題で、国境地帯のエクアドル住民が首都キトで抗議のデモをした。参加者60人がコロンビア大使館前で除草剤散布に反対の声を上げた。 |

| | | |
|------|----------------|---|
| 2・9 | ボリビア | モラレス(Juan Evo Morales Ayma)大統領は、スイスの金属関連企業、グレンコアが所有するボリビア中部ビントのスズ精錬工場を国有化すると宣言した。宣言は、軍が工場を占拠した後になされた。 |
| 2・13 | コロンビア エクアドル | コリア大統領はコロンビアとの国境地帯を訪れ、空軍に対して領空侵犯する航空機を全て迎撃するよう命じた。 |
| 2・13 | ベネズエラ | 情報省は、チャベス大統領がDJ役を務めるテレビ・ラジオ番組「こんにちは、大統領」が15日から週5日の帯番組に拡大されることを発表した。従来、番組は日曜日の午後に放送されてきたが、木曜日がテレビ、それ以外の平日はラジオで1時間放送される。 |
| 2・22 | グアテマラ | ノーベル平和賞受賞者のリゴベルタ・メンチュ(Rigoberta Menchú)氏が、9月の大統領選に出馬する意向を表明した。中道左派政党「グアテマラのための出会い」の立候補要請を受け入れ、3月下旬の党大会で正式決定する見通し。 |
| 2・23 | グアテマラ | グアテマラ市の住宅街で地面が陥没し、直径約20メートル、深さ100メートル以上の巨大な穴が出現した。当局は、地下下水管が破裂した事が原因とみている。 |
| 2・28 | ブラジル | ブラジル地理統計院は、2006年の国内総生産(GDP)が前年比で2.9%増えたと発表した。通貨レアル高とインフレの抑制を目的とした高金利政策が影響し、政府の当初見通しの4%前後を大幅に下回った。 |
| 3・2 | キューバ | 昨年末に腸内出血で手術を受けて以来、暫定的に権限を側近に委譲しているカストロ国家評議会議長について、ペレス(Felipe Ramón Pérez Roque)外相は訪問先のパナマで、いずれ議長職に復帰するとの見通しを示した。 |
| 3・3 | コロンビア | 南西部ネイバで下水溝に仕掛けられていた爆弾が爆発し、警官4人と女性1人の計5人が死亡した。コロンビアでは3月のブッシュ(George W. Bush)大統領訪問を控えて、左翼ゲリラ、コロンビア革命軍によると見られる爆破テロなどが相次いでいた。 |
| 3・6 | メキシコ | ノーベル文学賞作家、ガブリエル・ガルシア・マルケス(Gabriel García Márquez)氏が80歳の誕生日を迎えた。現在の居住地であるメキシコで祝福の行事があったが、本人は公の場に一切姿を現さなかった。 |
| 3・9 | ブラジル | ブラジルのルラ(Luiz Inácio Lula da Silva)大統領はブラジル訪問中のブッシュ米大統領と会談し、エタノールを中心としたバイオ燃料の統一基準確立や、第3国向け生産技術移転に関する協力などで合意した。 |
| 3・9 | ベネズエラ | アルゼンチンで開催された反米集会に参加したチャベス大統領は、ブッシュ米大統領の中南米来訪をにらみ「中南米の兄弟国に来たブッシュ大統領は、政治的にはすでに死に体だ」と述べ、反米路線を訴えて氣勢を上げた。 |

| | | |
|------|---------------|---|
| 3・10 | ウルグアイ | バスケス(Tabaré Ramón Vázquez Rosas)大統領は、ウルグアイ訪問中のブッシュ米大統領と会談し、通商問題などについて会談した。ブッシュ大統領は、バスケス政権を経済面で支援する立場を強調し、穏健左派のウルグアイとの関係を強化し、南米に広がる反米機運にくさびを打った。 |
| 3・11 | コロンビア | ウリベ(Álvaro Uribe Vélez)大統領はコロンビア訪問中のブッシュ米大統領と会談した。ブッシュ大統領は「(ウリベ大統領は)米国にとって戦略的な同士だ」と語り、コロンビアとの「同盟関係」を改めて確認した。 |
| 3・12 | キューバ コロンビア | ノーベル賞作家ガルシア・マルケス氏は、キューバのカストロ国家評議会議長を見舞った。両氏は、キューバ革命当時から親交がある旧友。 |
| 3・12 | グアテマラ | ブッシュ米大統領は、訪問先のグアテマラで同国のベルシェ(Oscar José Rafael Berger)大統領と会談し、中米から米国に流入する不法移民の対策で協力することで合意した。また、麻薬取引の取り締まり強化でも一致した。 |
| 3・14 | コロンビア | 世界的なバナナ生産企業、チキータ・ブランズ・インターナショナル社(本社・米オハイオ)は、コロンビアのゲリラ組織の脅しに応じて資金提供していたことを認め、米司法省に罰金2500万ドルを払うと発表した。チキータ社は1997年から2004年にかけて右派民兵組織、コロンビア自警軍連合に約170万ドルを提供した。左翼ゲリラのコロンビア革命軍や民族解放軍にも同様の資金提供をしたとされる。 |
| 3・15 | メキシコ | メキシコ市の高級住宅街にある民家から、約2億6000万ドルの米ドル紙幣と短銃が押収された。覚せい剤密造のための原料輸入資金と見られ、屋根裏や引き出しに隠されていた。 |
| 3・16 | 中南米 | 米州開発銀行(IDB)はボリビア、ホンジュラス、ニカラグアなど中南米5ヵ国に対して合計44億ドルの債務免除に応じると発表した。 |
| 3・16 | メキシコ | 検察当局は、覚せい剤の密造容疑でメキシコ市内の民家を家宅捜索し、関係者7人を逮捕するとともに現金2億5600万ドルを押収したと発表した。薬物犯罪絡みとしては過去最高の押収額とみられる。 |
| 3・18 | ブラジル | 脱獄から26年間逃亡してきたイタリアの極左組織「赤い旅団」の活動家、チェザーレ・バティステイ(Cesare Battisti)容疑者が、ブラジル・リオデジャネイロの海岸で逮捕された。1979年に逮捕され、4件の殺人などの罪で終身刑を言い渡され、81年に脱獄していた。 |
| 3・26 | ベネズエラ | ベネズエラと中国は、石油精製や開発投資などエネルギー分野での協力を拡大する覚書を交わした。米国依存を脱却したいベネズエラと、エネルギーを確保したい中国の利害が一致した形だ。 |
| 3・28 | ブラジル | 格安運賃でブラジル第2位の規模に成長したゴル航空が、80年の歴史を持つバリグ・ブラジル航空を買収した事を発表した。買収額は約2億7500万ドル。今後もバリグの名前は残るが、国際線のファーストクラスをなくすなどゴル流の経営を導入して値下げを実現するという。 |

| | | |
|------|--------|---|
| 3・28 | ブラジル | ブラジル地理統計院は、2006年の国内総生産成長率について、当初発表の2.9%から3.7%に上方修正すると発表した。 |
| 3・29 | キューバ | キューバ共産党機関紙『グランマ』は、バイオ燃料の利用拡大を推進する米政府を批判するカストロ国家評議会議長の論評を掲載した。昨年7月に腸内出血で手術を受けて以降、議長の論評が掲載されるのは初めて。 |
| 3・31 | ブラジル | ブッシュ米大統領は、大統領山荘のキャンプデービッドでブラジルのルラ大統領と会談し世界貿易機関(WTO)の多角的通商交渉(ドーハ・ラウンド)を成功に導く事で一致した。 |
| 4・2 | アルゼンチン | 政府は南米南端の町ウシュアイアでフォークランド(マルビナス)戦争犠牲者の慰霊祭を開き、退役軍人や遺族が出席した。シオリ(Daniel Scioli)副大統領は戦没者を悼むとともに、「戦争も時の経過も、真実を変えることはない。島はアルゼンチンのものだ。政府は主権回復のため、英国に対話再開を求める」と述べた。 |
| 4・10 | アルゼンチン | ブエノスアイレス郊外の動物園で、飼育されていたアリクイが飼育係の女性を襲った。女性は病院に運ばれたが、前足の鋭いかぎづめで腹部を傷つけられており、2日後に死亡した。 |
| 4・10 | メキシコ | オーストラリア建材最大手のリンカーン社は、メキシコのセメント大手セメックス社からの、総額約142億5000万ドルの買収提案を受け入れると発表した。これにより、セメックス社の年間売上高は約230億ドルとなり、セメント世界第2位のスイスのホルシムを抜いて、同最大手の仏ラファージュと並ぶ規模となる。 |
| 4・15 | エクアドル | 憲法改正のための制憲議会設置を問う国民投票が行われ、賛成票が8割を超えコレア大統領が押し進める改憲の主張が大きな支持を得た。 |
| 4・16 | 南米 | 南米主要国の首脳が一堂に会する初の「南米エネルギー会議」がベネズエラで16・17日の両日開催され、エタノールの主要産出国ブラジルと南米最大の石油産出国ベネズエラが、資源分野での主導権をめぐり激しい火花を散らした。 |
| 4・19 | キューバ | 米中央情報局(CIA)元職員で、2005年5月に潜伏先の米マイアミで捕まったキューバ出身の国際テロリスト、ルイス・ボサダ(Luis Posada Carriles)元被告が、保釈金35万ドルで保釈された。キューバのカストロ国家評議会議長を長年付け狙い、73人が死亡した1976年の航空機爆破事件の黒幕とも見られ、身柄引き渡しを求めるベネズエラとキューバ両政府は強く反発している。 |
| 4・20 | エクアドル | ガラパゴス諸島の生態系が外来種や過剰な観光の影響で危機的な状況にあるとの調査結果を、国際自然保護連合とユネスコ(国連教育科学文化機関)の調査団がまとめた。調査結果は6月に開く世界遺産委員会に報告され、委員会はガラパゴス諸島を緊急に保全対策が必要とされる危機遺産リストに掲載する事を検討する。 |
| 4・23 | ブラジル | 流通世界第2位の仏カルフルは、ブラジルのハイパーマーケット(超大型スーパー)アタカダァオンを買収すると発表した。買収金額は8億2500万ユーロ。買収によりカルフルは同国の食品流通市場で首位に立つ。 |

| | | |
|------|-------------------|---|
| 4・28 | キューバ | ブッシュ米大統領はフロリダ州マイアミ大学の卒業式で行った演説で、キューバのカストロ政権を「過酷な独裁」と呼んで非難した。また、「自由の光が輝く日は近い」とも述べ、病気療養中のカストロ国家評議会議長の指導する現体制は長続きしないとの見方を示した。 |
| 4・30 | ベネズエラ | チャベス大統領は国際通貨基金と世界銀行から脱退すると発表した。両国際金融機関から脱退するのは異例。 |
| 5・1 | キューバ | 首都ハバナでメーデーに合わせた大規模なパレードが開催された。9か月ぶりに職務復帰するとの憶測が広がっていたカストロ国家評議会議長は姿を見せなかった。 |
| 5・1 | ベネズエラ | 政府はオリノコ川流域の重質油地帯で欧米国際石油資本が参画している4つの操業プロジェクトの国有化を宣言した。 |
| 5・3 | キューバ | ハバナの国際空港で、武装したキューバ軍の脱走兵3人のうち2人が、米国に逃げるため民間機をハイジャックしようと空港内に侵入したが、警察との銃撃戦のすえ逮捕された。 |
| 5・5 | セントルシア | 中国政府は、台湾と外交関係を樹立したセントルシアとの外交関係を停止した。セントルシア在住の古華明大使がセントルシア政府に通告した。 |
| 5・8 | パナマ | パナマで販売された咳止め薬に中国製の有害な原料が含まれ、服用した少なくとも100人が死亡した事件で、中国当局は「無許可の業者が、医薬品として使えない化学原料を製造した」と中国企業の関与を認めた。 |
| 5・10 | ブラジル | ブラジル訪問中のローマ法王ベネディクト16世(Benedicto XVI)は、ルラ大統領と会談した。法王は大統領の任期満了の2010年まで「学校での宗教教育の実施や、教会区の免税化を実現してほしい」などと要請。大統領は「ブラジルを宗教色の無い、宗教に関連しない国として維持するよう努力する」と述べるにとどめた。 |
| 5・10 | エルサルバドル ホンジュラス | 台湾の經濟部(経済省)は、エルサルバドル、ホンジュラスの2カ国と自由貿易協定(FTA)を締結したと発表した。議会での批准を待ち、2008年1月1日を目標に発効させる予定。台湾がFTAを結ぶのは5カ国となり、いずれも外交関係のある中米諸国。 |
| 5・11 | コスタリカ | 首都サンホセのロシア大使館で、拳銃を持った若い男が人質を取って立てこもった。男は約4時間後に投降し、地元警察に拘束された。大使館員に怪我はなかった。 |
| 5・13 | 中南米 | ブラジル・サンパウロ郊外でラテンアメリカ・カリブ司教協議会が開催された(31日まで)。会議の結論では、グローバル化の中でカトリック教会が難しい局面にあることが認められ、貧困層に対する働きかけを強める必要性が強調された。 |
| 5・13 | コロンビア | のどが青と緑色をした新種のハチドリが発見された。鑑定したドイツの研究所は、「ハチドリの新種としてはこの10年で最も見事な発見」としている。 |

| | | |
|------|-----------|---|
| 5・14 | ブラジル | パソコン大手のデルは、サンパウロ近郊のオルランディアにブラジルで2カ所目の工場が稼動したと発表した。 |
| 5・15 | ブラジル | ブラジル外国為替市場で通貨レアルが対ドルで3営業日続伸した。前日比0.026レアル高の、1ドル=1.983レアルで取引を終了し、6年ぶりの高値となった。 |
| 5・17 | 中南米 | 米国勢調査局は、米国の人口3億人のうち、ヒスパニック系などのマイノリティーの人口が1億人を突破したと発表した。マイノリティーの中で最大のヒスパニック系は4430万人にのぼり、総人口の約15%を占めている。 |
| 5・24 | コスタリカ | ドブレス(Roberto Dobles Mora)環境エネルギー相は、今後20年間で国内の温暖化ガスの排出量を差し引きでゼロにする方針を表明した。火力発電所を全廃する一方、植林を進めるなどして二酸化炭素の排出と吸収を均衡させる。 |
| 5・28 | ベネズエラ | 政府は28日午前零時に期限切れとなる反政府系民放テレビ局 RCTVの放送免許を更新せず、同局は放送終了に伴い、事実上の閉鎖に追い込まれた。 |
| 5・29 | ブラジル | 中南米最大の牛肉加工・輸出会社であるブラジルのJBSは、米食肉大手スウィフトを14億ドルで買収すると発表した。手続きは7月までに終える予定で、同社は今回の買収で世界最大手になるとしている。 |
| 5・29 | ベネズエラ | 政府は米CNNとベネズエラのニュース専門局グロボビジョンについて、「情報操作の疑いがある」として検察当局に捜査を命じた。ララ(William Lara)通信情報相は「CNNは反ベネズエラキャンペーンを展開している」と批判し、政府の判断を「人権に配慮し、法に基づいた正当なものだ」と主張した。 |
| 6・4 | ブラジル | インドを訪れているブラジルのルラ大統領は、インドのシン(Manmohan Singh)首相と会談し、両国間の年間貿易額を2010年までに100億ドルに拡大する事で合意した。両首脳は、「米印原子力協定」の実現をにらみ、民間原子力分野での協力関係を築くことでも一致した。 |
| 6・4 | ブラジル | サンパウロ市内で4・5日の両日、世界初の「エタノールサミット」が開催され、ブラジル政府首脳や米国のトウモロコシ生産業界代表などが出席し、バイオエタノールの普及や環境・食糧問題について討議された。 |
| 6・4 | スリナム | 米国を拠点とする自然保護団体「コンサベーション・インターナショナル」が、スリナムで新種のカエルを発見したと発表した。発見されたカエルは濃い紫色の体に鮮やかな藤色の模様で、生息地は首都パラマリボの南東約130キロの熱帯雨林が生い茂る高地。 |
| 6・7 | コスタリカ | 中国外務省は、コスタリカと国交を樹立したと発表した。コスタリカは台湾と断交し、これにより台湾と外交関係を持つ国は24カ国となった。 |
| 6・8 | チリ ペルー | チリ最高裁判所は、ペルーのフジモリ(Alberto Fujimori)元大統領を自宅軟禁下に置くよう命令した。ペルー政府からの引き渡し請求について、最高裁判所顧問が引き渡すよう勧告する報告書を提出したことを受けた措置。 |

| | | |
|------|--------|---|
| 6・14 | アルゼンチン | キルチネル(Néstor Kirchner)大統領はフォークランド戦争終結25周年にあたり演説を行い、英国の勝利を「植民地支配的勝利であり、受け入れられない」と非難、改めて領有権を主張した。 |
| 6・17 | アルゼンチン | 男子ゴルフのメジャー第2戦、全米オープンはペンシルバニア州で行われ、アルゼンチンのアンヘル・カブレラ(Ángel Cabrera)選手が69で回り、通算5オーバーで優勝した。南米選手の大会制覇は史上初。 |
| 6・21 | キューバ | 米議会で米国と国交のないキューバへの経済制裁を一部緩和し、米国からの農産物輸出などを促進させる法案が提出された。 |
| 6・26 | キューバ | 米中央情報局(CIA)は、1960年にキューバのカストロ国家評議会議長の毒殺を試みた事を示す内部文書を公開した。米司法当局が行方を追っていた重要容疑者に依頼するなど大胆な手口が記されている。 |
| 6・26 | ペルー | 熱帯のペルー沿岸部の別々の地層から、約4200万年前と約3600万年前に生息していたとみられるペンギンの化石が見つかったと、米ノースカロライナ大学などの研究チームが発表した。これまで考えられてきたよりも数千万年古く、温暖地域に生息した事を示す成果で、ペンギンの進化の歴史をたどる手がかりになると期待されている。 |
| 6・28 | コロンビア | 左翼ゲリラ、コロンビア革命軍(FARC)は、人質として拘束していたバジェ・デル・カウカ県の県議会議員12人のうち、11人が戦闘に巻き込まれて死亡したと発表した。ウリベ大統領はFARCを強く非難した。 |
| 6・28 | パナマ | シュワブ(Susan C. Schwab)米通商代表部代表とパナマのフェレル(Alejandro Ferrer)商工相は、両国間の自由貿易協定に署名した。議会の承認を得て発効すれば、消費財や鉱工業品にかかる関税のうち約90%を即時撤廃し、残りの約10%も10年かけて廃止する。 |
| 7・4 | ブラジル | ブラジルと欧州連合(EU)は、ポルトガルのリスボンで首脳会合を開き、環境、エネルギー、教育、人権保護など幅広い分野での連携・協力を深める「戦略的パートナーシップ協定」を結ぶことで合意した。 |
| 7・7 | 中南米 | 人類が作ったユニークな建造物を後世に伝えることを目的とする「新・世界の七不思議」の発表式典がポルトガル・リスボンで行われた。ラテンアメリカからは、マヤ文明の遺跡チチェン・イツァ(メキシコ)、インカ帝国の遺跡マチュピチュ(ペルー)、リオデジャネイロの巨大キリスト像(ブラジル)が選ばれた。 |
| 7・7 | アルゼンチン | キルチネル大統領夫人のクリスティナ(Cristina Fernández de Kirchner)上院議員が、10月に実施される大統領選挙に出馬する見通しとなった。世論調査では、トップの支持率を集めている。 |
| 7・9 | 中南米 | ブッシュ米大統領は、政府間で合意済みのペルー、パナマ、コロンビアとの自由貿易協定について「議会の承認がきわめて重要だ。近隣諸国の繁栄を願うなら、協定を支持しなければならない」と語り、早期承認を促した。 |

| | | |
|------|---------------|--|
| 7・10 | メキシコ | 中部ケレタロ州にあるメキシコ石油公社の天然ガスパイプラインで爆発事故があり、天然ガスと液化石油ガス、原油の計3本のパイプラインが閉鎖された。反政府武装組織の革命人民軍は、ネット上で犯行声明を発表した。 |
| 7・11 | ペルー チリ | ペルー政府によるフジモリ元大統領の身柄引き渡し要請を審理してきたチリ最高裁は、身柄をペルーに引き渡すべきではないとの決定を下した。 |
| 7・12 | チリ ペルー | ペルー政府は、フジモリ元大統領の身柄引渡請求をチリ最高裁が却下したことを不服として、異議申し立てをした。 |
| 7・15 | ブラジル ベネズエラ | サッカーの南米選手権はベネズエラ・マラカイボで決勝戦が行われ、ブラジルがアルゼンチンを3-0の大差で破り、2大会連続8度目の優勝を果たした。 |
| 7・18 | 南米 | 米ゼネラル・モーターズ(GM)は、新興市場向け小型車の開発を進めるため、ブラジルやアルゼンチンの開発拠点、工場に5億ドルの投資をすると発表した。 |
| 7・22 | アルゼンチン | サッカーの20歳以下ワールドカップ決勝戦がカナダ・トロントで行われ、アルゼンチンがチェコを2-1で下し、2大会連続で史上最多を更新する6度目の優勝を果たした。 |
| 7・26 | キューバ | キューバ中部のカマグエイで革命記念式典が行われたが、カストロ国家評議会議長は姿をあらわさなかった。式典では弟のラウル(Raúl Castro Ruz)国防相兼第一副首相が演説を行い、10万人の市民を前に兄の回復を強調した。 |
| 8・8 | ブラジル | 韓国証券最大手の大宇証券は、韓国の金融機関では初めてブラジルの株式と債権投資に特化したファンドを売り出すと発表した。 |
| 8・10 | ベネズエラ | 台湾の野球協会「台湾棒球協会」は、ベネズエラで8月17日から開かれる国際野球連盟主催の少年野球世界大会に、台湾チームがベネズエラ政府から入国ビザ発給を拒否され出場できなくなった、と発表した。ベネズエラは台湾と外交関係を持たないが、国際大会に参加するスポーツ選手の入国拒否は国際的には異例。 |
| 8・15 | ペルー | 中部沿岸部で、マグニチュード8の非常に大きな地震が発生した。当局は16日時点で、死者が少なくとも350人、負傷者は1000人以上に上ることを明らかにした。 |
| 8・20 | ベネズエラ | イギリスのロンドン市は、ベネズエラの支援を受け低所得層のためのバス運賃割引制度を導入すると発表した。市はベネズエラ国営石油会社から年3200万ドルの補助金を得てバス運賃を5割以上引き下げる。その代わりに、交通、観光、都市計画など市政運営でベネズエラに助言する。 |
| 8・21 | ブラジル | ブラジル商品先物取引所は、クリーン開発メカニズム(CDM)に基づく温暖化ガスの排出権取引市場を9月、サンパウロに初めて開設することを明らかにした。これまで相対で行ってきたCDM取引の透明性を高め、取引を活発化する狙い。 |

| | | |
|------|-------|--|
| 8・21 | メキシコ | 大西洋で発生した大型ハリケーン「ディーン」がユカタン半島に上陸した。メキシコ石油公社は進路にあたる油田などの掘削作業を中止して、作業員を陸地に避難させた。 |
| 8・26 | キューバ | キューバ共産主義青年同盟機関紙『フベントウ・レベルデ』は、病気療養中のカストロ国家評議会議長の長文コラムを掲載した。議長について、米マイアミの反カストロ政権の亡命キューバ人らを中心に「死亡した」との噂が流れていたが、コラムは憶測を打ち消す狙いがあるとみられる。 |
| 9・3 | キューバ | 米紙『マイアミ・ヘラルド』は、チェ・ゲバラ(Ernesto Che Guevara)がボリビアで殺害された後に切り取られたとされる髪の毛などを、米中央情報局(CIA)の元工作員の亡命キューバ人が10月に競売に出品する予定だと報じた。 |
| 9・7 | 南米 | ペルー、コロンビアなど4か国で構成する自由貿易圏のアンデス共同体は、ベネズエラの再加盟に向け、近く同国政府と調整を始めることを明らかにした。 |
| 9・9 | グアテマラ | 大統領選挙が行われたが、得票率50%を超える候補がいなかったため、得票数で上位2人に入った国民希望党のアルバロ・コロン(Álvaro Colom)と愛国党のオットー・ペレス・モリナ(Otto Pérez Molina)による決選投票が11月4日に実施されることとなった。 |
| 9・10 | ブラジル | 国営石油会社ペトロブラスは、2010年までにブラジル国外での石油・天然ガスの生産量を2006年比で1.8倍に引き上げる計画を発表した。精製や探査、輸送など各分野に08年からの5年間で総額約150億ドルを投資する。 |
| 9・10 | コロンビア | 政府は麻薬犯罪組織の「ボスの中のボス」と呼ばれるディエゴ・モントジャ(Diego León Montoya Sánchez)容疑者を逮捕した。同容疑者は米国市場向けに大量のコカインを生産、密輸し、米連邦捜査局は最重要指名手配犯のひとりとして懸賞金500万ドルをかけて行方を追っていた。 |
| 9・11 | ジャマイカ | 3日に行われた総選挙で野党・ジャマイカ労働党が勝利したことを受け、ブルース・ゴールドディング(Orette Bruce Golding)党首が新首相に就任した。ジャマイカの政権交代は18年ぶり。 |
| 9・12 | ブラジル | ブラジル地理統計院は、2007年7-12月期の国内総生産は、前年同期比で4.9%増加したと発表した。半期ベースでは04年1-6月期以来2年半ぶりの高い伸びになった。 |
| 9・15 | ペルー | 南部ブノ州で直径約30メートル、深さ約6メートルのクレーターができた。これについて、ロシア紙の『プラウダ』(電子版)が隕石ではなく人工衛星の落下が原因とみられるとの説を伝えた。クレーターから発生し、住民に異変をもたらしたガスは、燃料の放射性物質が残留したためとしている。 |
| 9・18 | 南米 | メルコスルと欧州連合は地球温暖化対策で連携を強化することを決めた。バローゾ(José Manuel Barroso)欧州委員長とメルコスル議長国のバスケス・ウルグアイ大統領がブリュッセルで会談、合意した。 |

| | | |
|-------|---------------|---|
| 9・21 | チリ ペルー | ペルー政府によるフジモリ元大統領の引渡し要請を審理してきたチリ最高裁の刑事法廷は、身柄をペルーに引き渡す最終決定を下した。 |
| 9・22 | キューバ | 国営テレビは病気療養中のカストロ国家評議会議長のインタビューを放送した。同テレビによると、収録は同日に行われ、およそ3か月ぶりの肉声となる。 |
| 9・22 | チリ ペルー | フジモリ元大統領は、チリのサンティアゴの空港でペルー政府に身柄を引き渡され、ペルー警察の航空機で直ちにペルーの首都リマに移送された。 |
| 9・26 | ブラジル | サンパウロ商品先物取引所で、温暖化ガスの排出権取引が始まった。初取引には欧州や米国の金融機関、エネルギー関連企業など9社が参加した。 |
| 10・4 | チリ | 司法当局は、公金横領容疑でピノチエト(Augusto José Ramón Pinochet Ugarte)元大統領の家族や協力者23人の逮捕を命じ、警察が高齢の妻を除き、子ども5人らの身柄を拘束した。 |
| 10・4 | エクアドル | コレア大統領は、外国の石油会社が契約時に取り決めた額を上回る収入を得た場合、超過分の99%を国庫に納めるように命じる大統領令を発した。エネルギー相は、国庫収入が年間8億3000万ドル増えるとの見通しを示した。 |
| 10・6 | キューバ | 南東部グランマ州ヤラの踏切で列車とバスが衝突し、少なくとも28人が死亡、73人が負傷した。 |
| 10・7 | コスタリカ | 米国などが参加する中米自由貿易協定(CAFTA)への参加の是非を問う国民投票が行われ、賛成票がわずかな差で反対票を上回る見通しとなった。CAFTAは米国と中米6カ国で2004年に政府レベルの協定が結ばれたが、コスタリカのみ批准が遅れていた。 |
| 10・7 | メキシコ | 7日まで米カリフォルニア州で行われた米女子プロゴルフツアーのロングズ・ドラッグズ・チャレンジでロレーナ・オチョア(Lorena Ochoa)が2位に入り、史上初めて年間獲得賞金300万ドル突破を果たした。 |
| 10・8 | キューバ | 1967年にボリビアで処刑されたチェ・ゲバラの没後40周年を記念するキューバ政府主催の式典が、中部サンタクララで開かれたが、病気療養中のカストロ国家評議会議長は欠席した。 |
| 10・12 | 中南米 | ブッシュ米大統領は講演で、ペルー、パナマ、コロンビアの3カ国との自由貿易協定(FTA)について、「できるだけ早い可決を議会に促す」と改めて表明した。ベネズエラやボリビアを念頭に置き、「誤ったポピュリズムと対抗し、自由と民主主義を強める」とも述べ、3カ国とのFTAが反米姿勢を示す国への対抗軸になるとの見方も示した。 |
| 10・12 | ペルー | フジモリ元大統領が在任中に側近の妻の住宅を違法に家宅捜索したとされる事件をめぐる、簡易裁判が首都リマ市内にある収監先の警察施設で始まった。 |
| 10・14 | キューバ ベネズエラ | カストロ国家評議会議長はテレビ番組に電話出演した。キューバ中部サンタクララからの生中継で、ベネズエラのチャベス大統領と1時間ほど対談し、「君と僕は悪の枢軸だ」と冗談を飛ばし米ブッシュ大統領を批判した。 |

| | | |
|-------|----------------|---|
| 10・15 | アルゼンチン ブラジル | ブラジル科学アカデミーとアルゼンチンのコマウエ大学の研究チームは、アルゼンチン中西部のネウケン近郊で新種とみられる世界最大級の恐竜の化石を発掘したと発表した。恐竜は草食で、推定体長は32～34メートル、高さは13メートル、体重は70トン前後。約8800万年前の白亜紀の地層から出土した。 |
| 10・16 | コスタリカ | 国連総会は、安全保障理事会の非常任理事国の改選選挙を実施し、コスタリカなど5カ国が当選した。任期は2008年1月から2年間。 |
| 10・17 | 南米 | 英国政府は南極大陸周辺の約100万平方メートルを「自国の大陸棚」として、国連の「大陸棚の限界に関する委員会」に申し出る方針を決めた。この範囲は大半が南米諸国の主張と重なる可能性が高い。 |
| 10・17 | ブラジル | ブラジル、インド、南アフリカ共和国の3カ国は、南アの首都プレトリアで首脳会議を開催した。資源開発や貿易拡大など経済協力のほか、国連改革の要求など外交でも足並みをそろえることを確認した。 |
| 10・17 | メキシコ | 政府が出資するアエロメヒコ航空を米シティグループ系を中心にした企業連合に売却することを決めた。政府所有分の62%のほか、上場分の株式を含めた買収総額は約2億5000万ドル。同社をめぐってはシティグループのほか、地元企業家、競合する航空大手のメヒカーナ航空が買収合戦を展開していた。 |
| 10・23 | ブラジル | 北米最大の先物取引所のCMEグループとブラジル商品先物取引所は、株式持ち合いや取引システムの接続、上場商品の共同開発などで基本合意した。 |
| 10・23 | メキシコ | 南東部カンペチェ州沖合いにあるメキシコ石油公社の油田で火災が発生した。その後、長期間にわたり火災は続き、大量の原油がメキシコ湾に流出した。 |
| 10・24 | キューバ | ブッシュ米大統領は国務省でキューバ政策について講演し、各国がキューバのカストロ政権に対する民主化圧力を強化するよう求めた。「米国は自国民を犠牲にする犯罪政権を生き延びさせる手助けはしない」と語り、対キューバ経済制裁を解除しない考えを改めて示した。 |
| 10・25 | キューバ | チェ・ゲバラの遺髪とされる毛髪の束が、米テキサス州ダラスの競売会社でオークションにかけられ、10万ドルで落札された。 |
| 10・25 | キューバ | キューバ共産党機関紙『グランマ』は、全紙面の半分にあたる4ページをさいてブッシュ米大統領が24日に発表した対キューバ政策の詳細や、ペレス外相による反論を伝えた。米大統領の演説がキューバのメディアで詳細に伝えられるのは異例。 |
| 10・28 | アルゼンチン | 大統領選挙が行われ、キルチネル大統領の妻で、上院議員のクリスティナ・フェルナンデス・デ・キルチネル候補が当選した。 |
| 10・30 | ブラジル | チューリッヒで開かれた国際サッカー連盟理事会で、2014年ワールドカップをブラジルで開催することが決定した。ブラジル開催は1950年以来64年ぶり2度目。 |
| 11・1 | ブラジル | 2005年7月にロンドンで起きた地下鉄バス爆破テロの捜査で警察の捜査員らがブラジル人男性をテロ容疑者と取り違えて射殺した事件で、ロンドン中央刑事裁判所の陪審はロンドン警視庁に有罪の評決を下した。 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 11・2 | ハイチ | 国連事務総長報道官は、性的搾取や虐待を続けていたとして、ハイチに展開する国連ハイチ安定化派遣団のスリランカ兵約950人のうち約110人を本国に送還すると発表した。国連内部監査部の調べで、未成年者相手の買春行為などが発覚しており、本国で裁かれるという。 |
| 11・3 | コロンビア | 首都ボゴタで大量のひょうが降り、市内の公園で約10センチ降り積もったほか、ひょうを含んだ水は低地や地下の駐車場などに流れ込み乗用車約70台が埋まった。 |
| 11・4 | ブラジル | サンパウロで同国の航空会社のビジネスジェット機が住宅密集地に墜落し、操縦士を含む少なくとも8人が死亡、2人が負傷した。 |
| 11・4 | グアテマラ | 大統領選の決選投票が行われ、国民希望党のアルバロ・コロソ候補が愛国党のオットー・ペレス・モリナ候補を破り当選した。 |
| 11・8 | ブラジル | 国営石油会社ペトロブラスは、水深5000～7000メートルの近海に原油と天然ガス合わせて埋蔵量が50億～80億バレルとみられる油田を発見したと発表した。今回の発見は、従来のブラジルの確認埋蔵量140億バレルの半分近くにあたる。同社は早ければ2010年から試掘を開始する方針。 |
| 11・10 | ペルー | 軍特殊部隊による市民殺害事件など人権侵害の罪に問われたフジモリ元大統領に対する最高裁特別法廷の初公判が、首都リマの警察関連施設で開かれた。検察側は禁固30年を求刑し、賠償金支払いを求めたが、元大統領は刑事責任を否定し、起訴事実を全面的に争う姿勢を示した。 |
| 11・10 | ベネズエラ | チリの首都サンティアゴで開催されたイベロアメリカ首脳会議で、ベネズエラのチャベス大統領が親米路線をとったスペインのアスナール(José María Aznar)前首相を「ファシスト」と非難を続けたことに対し、ファン・カルロス(Juan Carlos I)国王が「黙らないか」と一喝した。 |
| 11・11 | ペルー | 元側近の妻の住宅を違法に搜索した職権乱用罪に問われたフジモリ元大統領に対して、簡易裁判所は禁固6年と罰金40万ソル(約1500万円)の支払いを命じる判決を下した。フジモリ被告は判決を不服として控訴する意向を示した。 |
| 11・14 | チリ | 北部アントファガスタ県でマグニチュード7.7の地震が発生し、崩れた民家の下敷きになり2人が死亡、アントファガスタ市内などで少なくとも100人以上が負傷した。また、15日時点で4000棟の家屋が全半壊、約1万5000人が家を失ったことが明らかとなった。 |
| 11・15 | ベネズエラ | チャベス大統領はフランスのテレビ局とのインタビューで「平和利用のために核開発を始めるつもりだ」と述べた。具体的な開発時期などには言及しなかった。 |
| 11・19 | ベネズエラ | チャベス大統領はテヘランを訪問し、イランのアハマディネジャド(Mahmoud Ahmadinejad)大統領と会談した。両大統領は会談を通じ両国の合弁による銀行の設立で合意、石油や石油化学産業をめぐる両国間の関係強化で一致した。 |

| | | |
|-------|---------|--|
| 11・26 | ペルー | 最高裁判所は、1992年にフジモリ政権(当時)が軍部と組んで議会を閉鎖した「自主クーデター」をめぐって、当時の閣僚ら10人に反逆罪などの罪で最長10年の実刑判決を言い渡した。 |
| 11・29 | マルティニーク | 米地質調査所によると、マルティニーク付近でマグニチュード7.4の地震が起きた。島内の複数の建物が崩壊したが、大規模な人的被害は確認されなかった。 |
| 12・2 | ベネズエラ | 大統領の再選制限の撤廃などを柱とする憲法改正案の国民投票が実施された。改正案は大統領任期を6年から7年に延長、2度目までの再選制限を撤廃するものであったが、反対票が賛成票をわずかに上回り、改憲案は否決された。 |
| 12・4 | ペルー | 米上院は米国とペルーの自由貿易協定(FTA)を賛成多数で可決した。パナマ、コロンビアとのFTAについては民主党を中心に異論が多く、採決の目処が立っていない。 |
| 12・5 | エクアドル | 石油輸出国機構(OPEC)は、エクアドルが正式にOPEC加盟国として復帰したと発表した。1963年から1993年まで加盟していたが、拠出金の負担が重いなどの理由で脱退していた。 |
| 12・9 | 南米 | アルゼンチン、ベネズエラなど南米7カ国が域内の経済開発を目的として開設する新銀行「バンコ・デル・スル」の調印式が、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスで開かれた。参加各国が分担して計70億ドルを出資するが、出資比率は未定。本部はベネズエラの首都カラカスに置かれる見込み。 |
| 12・10 | アルゼンチン | クリスティナ・フェルナンデス・デ・キルチネル新大統領が就任した。任期は4年。新大統領は就任式で演説し、フォークランド(マルビナス)諸島の領有権について、英国に協議を呼びかけた。 |
| 12・13 | ドミニカ共和国 | 17世紀後半の海賊ウィリアム・キッドが使っていた船とみられる残骸が、ドミニカ共和国沿岸の海底で見つかったと、米インディアナ大学が発表した。同国南東部のカタリナ島から20メートル、水深3メートルの海底に船の遺物があるのを地元住民が発見して政府に通報。依頼を受けた同大が調査していた。 |
| 12・14 | ペルー | ブッシュ米大統領は、米国とペルーの自由貿易協定に署名した。これで、同協定の批准手続きは完了し、正式に発効する。 |
| 12・15 | 南米 | 国際サッカー連盟(FIFA)は、標高2750メートルを超える土地での国際試合は、事前の高地順応を伴わない限り禁止する事を決定した。 |
| 12・15 | ボリビア | 中央政府が提案した民族主義色が濃い憲法改正案に反発し、国内9県のうち4県の知事が「自治」を宣言した。改憲を進めるモラレス大統領が「大地主たちは国民投票での敗北を恐れている」と非難するなど政治的緊張が高まっている。 |
| 12・16 | 南米 | ブラジル、チリ、ボリビアの南米3カ国の首脳がボリビアの首都ラパスで会談し、2009年前半までに太平洋と大西洋を結ぶ道路整備を進めることで合意した。約4000キロの新規建設や拡幅、補修などの工事をする予定で、海路で45日かかるコンテナ輸送が4日に短縮される見通し。 |

| | | |
|-------|-------|--|
| 12・17 | ブラジル | 国際サッカー連盟(FIFA)は、サッカー界に多大な貢献をしたとして往年のブラジル人名選手ペレ(Pelé)にFIFA賞を授与した。 |
| 12・17 | ウルグアイ | シャルレス(Luis Charles)判事は、軍事独裁期の市民の秘密収容所への連行や行方不明に関与した罪でアルバレス(Gregorio Conrado Álvarez Armelino)元大統領を起訴し、拘置した。 |
| 12・18 | 南米 | メルコスル(南米南部共同市場)はイスラエルと自由貿易協定(FTA)を締結した。メルコスルが中南米域外の国とFTAを結ぶのは初めて。 |
| 12・20 | ブラジル | 中南米有数の美術館として知られるサンパウロ美術館で、ピカソなどの絵画2点(計60億円相当)が強盗された、わずか3分間の犯行だったという。 |
| 12・21 | ペルー | 軍特殊部隊による民間人殺害で殺人の罪に問われたフジモリ元大統領が、最高裁特別法廷の公判で、軍のテロ作戦による犠牲者に謝罪した。ペルーでは、1980～90年代に左翼ゲリラのテロや軍による掃討作戦で約2万5000人が死亡したとされ、そのうち1万人が市民といわれる。 |
| 12・27 | メキシコ | メキシコ市のトラテロコ地区で、アステカ文明のものとしてはこれまで発見された中で最も古いと見られる1100～1200年ごろのピラミッドが発掘された。トラテロコはアステカの首都テノチティランとともに1325年に築かれたとされていたが、今回の発見で更に古い時期から発展していた可能性が出てきた。 |
| 12・28 | キューバ | 人民権力全国会議(国会)がハバナで開かれ、ラウル・カストロ国家評議会第1副議長(暫定議長)が「法規制や禁止が多すぎて利益より損害が生まれている」などと演説、農業生産などの改革に強い意欲をみせた。 |

参考文献

- (1)『朝日新聞縮刷版』『日経新聞縮刷版』(2007年各月号)。
- (2)日経テレコン21。
- (3)イベロアメリカ研究所新聞切り抜き(2007年)。

《資 料》

ラテンアメリカ日誌－2008年－

| 月 日 | 国名 | 記事 |
|------|--------------|---|
| 1・1 | ベネズエラ | 政府は、通貨ボリバルの単位を千分の一に切り下げ、名称も「ボリバル・フェルテ」(強いボリバル)と変更するデノミネーションを実施した。同国は固定相場制を採用しており、デノミ後の相場は1ドル＝2.15ボリバル・フェルテとなる。 |
| 1・4 | ブラジル | 同国西部マットグロッソ州にある動物園で、皮膚の色が白い希少種のワニ8匹のうち、7匹が盗まれたことが分かった。ワニは約10年間の交配研究の末に生まれ、1匹約9700ドルの価値があるといわれている。 |
| 1・8 | ブラジル | 2007年12月に起きたサンパウロ美術館の絵画盗難事件で、サンパウロ州警察は2人の容疑者を逮捕し、盗まれていたピカソの肖像画など絵画2点(計60億円相当)をサンパウロ郊外で無事発見したと発表した。 |
| 1・13 | ペルー | ケイコ・フジモリ(Keiko Sofia Fujimori Higuchi)国会議員がテレビ番組に出演し、新党「フェルサ2011」を結成する意向を示した。2011は次期大統領選の年。 |
| 1・14 | ブラジル | 国際オリンピック委員会(IOC)は、2016年夏季五輪に立候補している7都市すべてが開催計画を書き込んだ「申請ファイル」を同日の期限までに提出した発表した。東京以外の候補都市はシカゴ(米)、プラハ(チェコ)、リオデジャネイロ(ブラジル)、バクー(アゼルバイジャン)、ドーハ(カタール)、マドリード(スペイン)。 |
| 1・16 | ペルー | ペルーは、隣国チリとの領海紛争を国際司法裁判所(オランダ・ハーグ)に提訴した。 |
| 1・16 | ウルグアイ | 同国の研究チームは、げっ歯類としては史上最大の草食動物の頭部化石を発見したと、英王立協会の学会誌電子版に発表した。約200万～400万年前のものと考えられ、推定体重約1トンと雄牛並みの巨大な体格であったという。 |
| 1・17 | キューバ ブラジル | 病気療養中のキューバのフィデル・カストロ(Fidel Alejandro Castro Ruz)国家評議会議長が15日、ブラジルのルラ大統領とハバナで会談した。 |
| 1・18 | ペルー | デルカスティージョ(Jorge Alfonso Alejandro Del Castillo Gálvez)首相は、軍による民間人殺害事件で殺人罪などに問われているフジモリ元大統領の裁判で証言した。首相は、1992年の「自主クーデター」の際にフジモリ被告が、ガルシア現大統領の殺害を謀ったと述べた。 |
| 1・19 | アルゼンチン | 15日夜、同国中部リオクアルトで、多くの住民が空を飛ぶ光る物体を目撃した。報道によると、「飛行機や人工衛星ではない」として同空軍が調査を始めた。 |
| 1・21 | ブラジル | ブラジルの資源大手ヴァーレは、スイスの資源会社エクストラートと買収交渉に入ったと発表した。ヴァーレは鉄鉱石が主体で、銅や亜鉛、石灰など多様な資源を持つエクストラートの買収で収益源の多様化を目指す。 |

| | | |
|------|--------------|--|
| 1・21 | パラグアイ | パラグアイの保守系与党コロラド党が、4に行れる大統領選の候補者として、女性のブランカ・オラベル前教育文化相(50)を選出したと発表したと報道された。 |
| 1・21 | ブラジル | 黄熱病を媒介する蚊を駆除するために軍が投入され、首都ブラジリアを兵士が巡回した。同国では2008年に入ってから、黄熱病により8人の死者が出ている。 |
| 1・30 | コロンビア | 包括的核実験禁止条約(CTBT)の機構準備委員会は、コロンビアが同条約を批准し、批准国数が144に達したと発表した。条約発効には指定された44か国の批准が必要で、コロンビアはその一つ。 |
| 2・6 | ブラジル | 熱帯雨林の違法伐採が進むなか、2007年にブラジルで開発業者などに殺害された先住民が76人にのぼり過去20年で最多となったことが、カトリック系のインディオ保護団体「先住民主義伝道師協議会」(CIMI)の調べでわかった。 |
| 2・7 | ベネズエラ | 同国の油田国有化で被害を被ったとして米エクソンモービルが補償を求めている問題で、米欧の裁判所は、同国が支払いに応じなかった場合に備え、ベネズエラ国営石油会社PDVSAが海外に保有する資産を差し押さえる命令を下した。 |
| 2・8 | ベネズエラ | ベネズエラのラミレス(Rafael Darío Ramírez Carreño)エネルギー・石油相は、米エクソンモービルの訴えを受けた欧米の裁判所によるベネズエラ国営石油会社(PDVSA)の海外資産の差し押さえ命令について「譲歩するつもりはなく、国際調停の場で決着をつける」と述べ、エクソン側に対抗する考えを示した。 |
| 2・8 | ブラジル | リオデジャネイロ連邦大学の研究チームの発表によると、すらりと伸びた脚をもつワニの祖先の化石が、サンパウロ州の8000万～8500万年前(白亜紀後期)の地層から見つかった。 |
| 2・11 | アルゼンチン チリ | 2009年の自動車ダカール・ラリー(通称パリ・ダカ)が、アルゼンチンとチリで開催される方針となった。例年アフリカで開催されてきたが、通過国の治安悪化を理由に全面中止に追い込まれていた。 |
| 2・12 | ベネズエラ | ベネズエラ国営石油会社(PDVSA)は、米石油大手エクソンモービルへの原油や石油製品の供給を停止すると発表した。PDVSAは声明で「エクソンが両社の関係を踏みにじった」と非難。 |
| 2・13 | メキシコ | 訪米中のカルデロン(Felipe de Jesús Calderón Hinojosa)大統領は、カリフォルニア州議会で演説し、メキシコから米国への不法移民問題に関連して「(メキシコからの)移民は米国経済に貢献している。合法的、計画的な移住にしていくことが必要だ」と述べた。 |
| 2・14 | ブラジル | サッカーのイタリア1部リーグ(セリエA)ACミランに所属する元ブラジル代表FWのロナウド(Ronaldo Luís Nazário de Lima)が腱断裂した左ひざの手術を受けるため、イタリアのミラノからパリへ向かった。13日にホームで行われたリボルノ戦に途中出場し、左ひざを負傷した。 |

| | | |
|------|----------------|--|
| 2・15 | パラグアイ | 黄熱病の感染者が国内で6人確認され、政府は全国に非常事態宣言を出した。不足しているワクチンはブラジル、ペルーからの緊急提供を受ける。 |
| 2・17 | ベネズエラ | チャベス(Hugo Rafael Chávez Frías)大統領は、最近の原油価格高騰を受け石油産業への増税を検討していることを、定例のテレビ演説で明らかにした。放送はエクソンモービルが操業していた油田から中継で行われた。 |
| 2・19 | ベネズエラ | ベネズエラ国営石油会社(PDVSA)とイタリア石油大手のENIは、油田国有化を巡る紛争で和解したと発表した。 |
| 2・19 | キューバ | ブッシュ(Gorge W. Bush)米政権は、カストロ国家評議会議長退任後もキューバの民主化移行を促す必要があるとして、経済制裁や民主活動家の支援を継続し圧力を緩めない方針であると報じられた。 |
| 2・19 | キューバ | フィデル・カストロ(Fidel Alejandro Castro Ruz)国家評議会議長は、19日付共産党機関紙グランマに寄せた国民向けメッセージで、国家元首である議長職を退任する意向を明らかにした。 |
| 2・21 | ブラジル | ロシア外務省は、中国、ロシア、インド、ブラジルの4か国で初の外相会議を5月に開くと発表した。定期的に会議を開催する中印ロに初めてブラジルを加え、新興諸国(BRICs)として外交・経済面の協調を強化する狙い。 |
| 2・21 | ベネズエラ | 西部メリダから首都カラカスの国際空港に向かっていた航空機が行方不明となった。乗客・乗員計46人が乗っていたとされ、非常事態を伝えてきた後に管制塔との連絡を絶ったという。 |
| 2・22 | アルゼンチン ブラジル | ブラジルのルラ(Luiz Inácio Lula da Silva)大統領とアルゼンチンのフェルナンデス(Cristina Elisabet Fernández de Kirchner)大統領は、原子炉を共同開発することで合意した。水力発電、再生エネルギーなどの開発でも連携する。 |
| 2・24 | キューバ | 同国の人民権力全国会議は、フィデル・カストロ国家評議会議長の後任に弟のラウル・カストロ(Raúl Modesto Castro Ruz)第一副議長兼国防相を選出し、即日就任した。任期は5年。 |
| 2・26 | キューバ | キューバのラウル・カストロ国家評議会議長は、バチカンで法王に次ぐ高位にあるベネート国務長官(枢機卿)とハバナ市内で会談した。議長就任後、初めての外国要人との会談となった。 |
| 2・28 | ブラジル | サッカーのイタリア一部リーグ(セリエA)のACミランは、ブラジル代表FWカカ(Kaká、本名Ricardo Izecson dos Santos Leite)と2013年6月末まで契約を2年延長したと発表した。カカにはレアル・マドリードが強い獲得の意志を示していた。 |
| 2・28 | キューバ | 政府はニューヨークの国連本部で、1976年の発行以来拒み続けていた2つの国際人権規約に署名した。国連人権理事会による同国内の状況調査も年内に受け入れる姿勢を見せている。 |

| | | |
|------|----------------|--|
| 3・1 | コロンビア | サントス(Juan Manuel Santos Calderón)国防相は、隣国エクアドル領内にあった中南米最大の左翼ゲリラ、コロンビア革命軍(FARC)の拠点を越境爆破したと発表した。この攻撃でFARCの広報担当を務め、ナンバー2とされるラウル・レジェス(Raúl Reyes)幹部ら17人の死亡を確認したという。 |
| 3・2 | コロンビア ベネズエラ | チャベス大統領は、エクアドルを越境攻撃したコロンビアとの国境に戦闘機を出動待機させるとともに、同国首都ボゴタのベネズエラ大使館の閉鎖を命じた。 |
| 3・3 | アルゼンチン | アルゼンチン保健省は、黄熱病の感染者を1人確認したと発表した。 |
| 3・3 | コロンビア エクアドル | エクアドル政府は、隣国コロンビアとの断交を発表した。コロンビア軍が、エクアドル領内にあったコロンビアの左翼ゲリラ、コロンビア革命軍(FARC)の拠点を越境攻撃したことへの報復措置である。 |
| 3・4 | コロンビア ベネズエラ | コロンビアのウリベ大統領は、同国の左翼ゲリラ、コロンビア革命軍(FARC)に資金援助をしていたとして、隣国ベネズエラのチャベス大統領を、国際刑事裁判所に提訴する考えを表明した。コロンビアは、チャベス大統領が最近、FARCに3億ドル(約310億円)の資金を提供したことが判明したと主張している。 |
| 3・4 | 中南米 | コロンビア軍のエクアドル領内への越境攻撃を受け、米国や中南米各国でつくる米州機構(OAS)はワシントンで緊急会合を開いた。5日には同機構常設理事会が、コロンビアによるエクアドルの主権侵害の事実を認める決議を採択した。 |
| 3・4 | コロンビア ベネズエラ | コロンビアのウリベ(Álvaro Uribe Vélez)大統領は、同国の左翼ゲリラ、コロンビア革命軍(FARC)に資金援助をしていたとして、隣国ベネズエラのチャベス大統領を、国際刑事裁判所に提訴する考えを表明した。 |
| 3・6 | ブラジル | ブラジルのペトロブラスが発表した2007年12月期通期決算は原油や派生品の輸入各上昇、年金関係の経費計上が負担になり、純利益は前の期比17%減だった。 |
| 3・6 | ニカラグア コロンビア | ニカラグアのオルテガ(José Daniel Ortega Saavedra)大統領は、コロンビア軍によるエクアドルへの越境攻撃に抗議し、コロンビアと断交すると発表した。 |
| 3・7 | 中南米 | 中南米諸国で構成するリオグループはドミニカ共和国の首都サントドミンゴで首脳会議を開き、コロンビアと周辺国との緊張問題を討議した。コロンビアのウリベ大統領は、エクアドルに謝罪と再発防止を表明し、エクアドルのコレア(Rafael Vicente Correa Delgado)大統領がこれを受け入れた。 |
| 3・9 | ベネズエラ コロンビア | ベネズエラ政府は、隣国コロンビアとの外交関係を早急に正常化すると発表した。近く大使をコロンビアに派遣する。 |
| 3・12 | キューバ | サッカーの北京五輪予選で米フロリダ州を訪れていたキューバ代表の5選手が11日の試合後から消息を絶ったことが明らかになった。主将やGKなどで、亡命の意思などについては不明であるという。 |
| 3・13 | アルゼンチン | 元サッカー監督であるフランシス・コルネホ(Francis Cornejo)氏が、アルゼンチンの病院で死去、76歳。死因は不明。同氏は、同国を代表するサッカー選手だったマラドーナ(Diego Armando Maradona)氏の「育ての親」といわれた。 |

| | | |
|------|---------------|--|
| 3・13 | キューバ エクアドル | 政府がパソコンや電子レンジ、DVDプレーヤーの国内販売を解禁すると報道された。同国は電力不足を理由に一般国民の家電製品保有を制限している。 |
| 3・14 | ブラジル | ブラジル地理統計院 (IBGE) は、2007年の国内総生産 (GDP) 成長率を、実質ベースで5.4%増と発表した。3年ぶりに5%台に乗せた。 |
| 3・17 | 中南米 | 北米と中南米諸国で構成する米州機構 (OAS) は外相会議を開き、コロンビアとエクアドルとの間で続く対立について、和解に向けた合意文書を採択した。 |
| 3・18 | ベネズエラ | 油田国有化の損害賠償として、英裁判所がベネズエラ国営石油会社PDVSAの海外資産凍結を命令していた問題で、同命令が撤回された。PDVSAは英企業ではないうえ、英国内にまとまった資産を保有していないのが理由。 |
| 3・21 | ブラジル | ブラジル国営石油会社のペトロブラスが、バイオエタノール輸出のため専用パイプラインを建設すると報道された。三井物産も参加して同国中部で2009年上期に着工するほか、南部でも事業化の検討に入った。ブラジルは道路網や鉄道網の整備が遅れており、パイプラインを建設することで内陸部の精製施設から効率的に港湾施設に輸送する。 |
| 3・21 | ブラジル | 世界最大の牛肉加工会社であるJBS (サンパウロ州) が、米スミスフィールド・フーズ傘下の牛肉加工会社など2社を米国内で買収する。実現すれば米国内でも最大手となる。 |
| 3・25 | ブラジル | ブラジルの資源大手ヴァーレ (リオドセ) は、スイスの同業エクストラータの買収交渉が決裂したと発表した。エクストラータの大株主で資源商社のグレンコアとの間で条件が折り合わなかった。 |
| 3・27 | ボリビア | ボリビア政府は、英BPなどが出資する4つの石油関連企業を、4月30日までに国有化すると発表した。 |
| 3・27 | ボリビア | モラレス (Juan Evo Morales Ayma) 大統領は同日までに、大統領府のあるラパス (標高3600メートル) のセミプロ・サッカーチーム「リラル」と選手契約を結んだ。 |
| 3・29 | ブラジル | AP通信によると、ブラジル警察当局に28日までに逮捕された無職の少年 (16) が、過去3か月間に同国南部ノバハンブルゴ周辺で計12人を殺害したと自供した。 |
| 3・31 | アルゼンチン | 政府の大豆輸出税引き上げに対して、農産関係者団体が幹線道路を封鎖する抗議活動を続けている影響で、国内の物流機能が麻痺している。政府は中小農家への補助金給付の対策を打ち出し、封鎖解除を呼び掛けた。 |
| 4・1 | キューバ | キューバで一般市民への販売が制限されていたパソコン、DVDプレーヤー、炊飯器など一部家電製品の販売が自由化された。ラウル・カストロ国家評議会議長が就任演説で公約した規制緩和の一環である。 |
| 4・1 | ブラジル | ブラジルの鉱山大手、ヴァーレ (リオドセ) は、ブラジル経済社会開発銀行 (BNDES) と73億リアル (約4200億円) の融資枠契約を結んだと発表した。 |

| | | |
|------|---------------|--|
| 4・1 | エクアドル | 制憲議会は、外国軍の基地設置や駐留を認めないとする改憲案を承認した。同国の太平洋岸マンタ基地には、2009年までの期限で米軍が駐留している。 |
| 4・2 | アルゼンチン | アルゼンチン政府の大豆輸出税引き上げに対する、農産物の生産者団体の抗議活動が長期化していると報じられた。生産者側がトラクターで幹線道路を封鎖したために国内物流機能が麻痺し、首都のスーパーでは店頭から牛肉が消え始めた。 |
| 4・2 | アルゼンチン | 輸出税率の引き上げに抗議してストライキや道路封鎖を続けていた農産関係者を中心とする団体が、抗議活動を30日間停止すると発表した。前月31日に大統領が道路封鎖解除を呼び掛けたが、生産者側は2日まで封鎖を継続していた。 |
| 4・3 | ベネズエラ | チャベス大統領が、セメント産業を国有化するとテレビ演説で宣言した。同国のセメント最大手はメキシコ資本のセメックスである。 |
| 4・4 | ベネズエラ メキシコ | メキシコのカルステンズ(Agustín Carstens Carstens)財務省は記者会見で、ベネズエラのチャベス大統領がメキシコ系企業を含むセメント産業の国有化を宣言したことについて「不適切で所有権や権利が尊重されていない」と非難した。 |
| 4・6 | ブラジル | 自動車F1シリーズ第3戦、バーレーン・グランプリの決勝が行われ、フェラーリのフェリペ・マッサが今季初勝利、通算6勝目を挙げた。 |
| 4・10 | コロンビア | 米下院本会議は、コロンビアとの自由貿易協定(FTA)の審議・採決を無期延期すると決めた。保護主義的な傾向を強める野党・民主党が主導した。 |
| 4・11 | アルゼンチン | 首都ブエノスアイレスで北京五輪の聖火リレーが実施され、大きな混乱は無く終了した。欧米各国では中国政府のチベット政策に対する抗議行動が相次いだが、同市では人権団体による小規模なデモ行進が行われるにとどまった。 |
| 4・12 | ブラジル | イタリアのスポーツ紙は、サッカーのスペイン1部リーグ、バルセロナに所属するブラジル代表FWロナウジーニョ(Ronaldinho Gaúcho)が、イタリア1部リーグ(セリエA)ACミランへの移籍に基本合意したと報じた。 |
| 4・12 | ハイチ | 首都ポルトープランスで、食糧価格の急騰を引き金とする商店略奪が1週間以上続き、同日までに平和維持活動要員を含む6人が死亡した。事態を収拾できなかったとして、国会はアレクシ(Jacques-Édouard Alexis)首相を解任した。 |
| 4・13 | メキシコ | 米女子ツアーのコロナ選手権は、メキシコのモレリアにあるトレスマリアス・レシデンティアルGCで最終ラウンドを行い、3日間首位のロレーナ・オチョア(メキシコ)が優勝した。オチョアはツアー3週連続優勝、通産21勝目を挙げ、ツアー殿堂入りに必要な得点を獲得したが、参戦10年という条件を満たしておらず、12年まで待つことになる。 |
| 4・13 | コロンビア | 2006年11月に米国とコロンビア間で署名された自由貿易協定を採決する手続きが米議会で難航している。米大統領が、同協定を90日以内に採決することを議会に要求したことで、議会の多数派を占める民主党の反発が強まっている。 |

| | | |
|------|--------|--|
| 4・14 | ブラジル | ブラジル石油監督庁(ANP)長官は、同国近海で探査中の海底油田の埋蔵量が330億バレルに上る可能性があると言った。確認されれば同国の原油・天然ガス埋蔵量(144億バレル)を大幅に上回る。 |
| 4・15 | ペルー | ペルー最高裁は、フジモリ元大統領が命じたとされる側近関係先の違法捜索事件について、職権乱用などの罪で有罪を確定した。禁固6年、公職停止2年、罰金40万ソルの判決を言い渡した一審判決を支持し、元大統領側の控訴を棄却した。 |
| 4・15 | ペルー | 最高裁は、フジモリ元大統領が命じたとされる側近関係先の違法捜索事件について、職権乱用などの罪で禁固6年、公職停止2年、罰金40万ソル(約1300万円)判決を言い渡した一審判決を支持し、元大統領の控訴を棄却した。 |
| 4・17 | ブラジル | ブラジル中央銀行は、基準金利を現行の11.25%から11.75%に引き上げることを決めた。基準金利の引き上げは2005年5月以来、およそ3年ぶりである。 |
| 4・19 | コロンビア | ローマ法王庁家庭評議会議長のアルフォンソ・ロペストルヒッリョ枢機卿(72)が、ローマ市内で死去した。1935年コロンビアに生まれ、83年に枢機卿に任命された。教鞭な中絶反対活動で知られた。 |
| 4・20 | パラグアイ | 現職の任期満了に伴う大統領選の投開票が行われ、野党連合の中道左派ルゴ(Fernando Armino Lugo Méndez)元司教が当選を確実にした。与党コロラド党や中道右派の候補を抑えての当選で、61年ぶりの政権交代となる。 |
| 4・21 | ブラジル | 国際協力銀行は、ブラジルのサンパウロ州政府と温暖化ガスの排出量取得事業で業務協力協定を結んだ。途上国での温暖化ガス削減分を排出量として取得できる「クリーン開発メカニズム(CDM)の」一環で、個別プロジェクトに対する投融资で資金面から支援する。 |
| 4・22 | ブラジル | 英石油メジャーのBPが、ブラジルでサトウキビを原料とするエタノール生産に参入すると報じられた。現地企業に50%資本参加し、2カ所の精製工場を建設する。 |
| 4・22 | メキシコ | ブッシュ(George W. Bush)米大統領、カナダのハーパー(Stephen Harper)首相、メキシコのカルデロン大統領が会談し、北米自由貿易協定(NAFTA)の有効性を確認した。米国内では、一部の議員が同協定の再検討を求めている。 |
| 4・24 | ブラジル | ブラジルのエタノール・砂糖製造最大手コザンは、米エクソンモービルのブラジル流通事業を買収すると発表した。 |
| 4・25 | アルゼンチン | ロウスタウ(Martin Lousteau)経済生産相が、3月に生じた農業関係者による抗議活動や物価上昇の責任を取り、24日夜に辞任した。後任には連邦歳入庁長官カルロス・フェルナンデス(Carlos Rafael Fernández)氏が就任した。 |
| 4・26 | ブラジル | ブラジル農牧省は国内のコメ価格上昇を抑制する目的で、コメの輸出を停止した。対象は公的部門が持つ在庫の約160万トンで、アフリカや中南米の数カ国から輸入の申し入れがあったが、国内への供給を優先するために断った。 |

| | | |
|------|---------|--|
| 4・29 | ブラジル | 東南部に広がる草原地帯「セラード」で、脚のないトカゲの仲間やカエル的一种など新種とみられる生物14種類を一度に発見したと、米国の環境保護団体やブラジル・サンパウロ大学などのグループが発表した。 |
| 5・1 | ボリビア | モラレス大統領は、同国最大手の電話会社ENTELと、石油関連会社4社のうち4月末日が交渉期限となっていた株式譲渡に合意しなかった3社の国有化を命じた。メーデーの集会で発表され、いずれの会社も直後に警察に占拠された。 |
| 5・1 | キューバ | 首都ハバナで開かれたメーデーの記念式典に、ラウル・カストロ国家評議会議長が出席した。病気療養中のフィデル・カストロ前議長は姿を見せなかった。 |
| 5・3 | ジャマイカ | 陸上のジャマイカ国際招待がキングストンで行われ、男子100メートルでジャマイカのウサイン・ボルト(Usain Bolt)が世界歴代2位の9秒76で優勝した。 |
| 5・4 | ボリビア | 東部サンタクルス県で行われた住民投票の結果、独自の徴税権や警察設置を盛り込んだ自治憲章が承認される見通しとなった。富の再分配を目指すモラレス大統領に対して、白人や混血の富裕層が多い同県が反発した格好である。 |
| 5・6 | ブラジル | 米国の新興航空会社ジェットブルー社の創業者ニールマン氏がブラジルにつくる航空会社の名前が、ポルトガル語で「青」を意味する「アズール」に決まったと、同社が発表した。 |
| 5・6 | ブラジル | サンパウロ証券取引所の株式指標であるボベスパ指数は、4営業日連続で史上最高値を更新した。4月30日に、米格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)が、同国の外貨建て長期国債の格付けを投資適格にあたる「BBBマイナス」に引き上げたことを受け、海外からの資金流入が続いている。 |
| 5・6 | チリ | 首都から約1300キロメートル南にあるチャイテン山の噴火活動が6日から激しくなった。政府は火口から約30キロメートルにある町の住民約4000人を、海軍の艦船などで近くの町に避難させた。 |
| 5・8 | アルゼンチン | 政府は、温暖化対策の一環として新設する超高速列車に、仏企業連合のTGV(仏新幹線)を採用した。南米で初めて超高速列車が開通されることで、現在14時間かかる首都とコルドバ間の走行時間を、3時間に短縮できるという。 |
| 5・12 | ブラジル | マンテガ(Guido Mantega)財務相は、ブラジル企業による海外企業の買収などを支援する目的で、政府系ファンド(SWF)を設立する意向を明らかにした。現地メディアは、200億ドル(約2兆900億円)規模と報じている。 |
| 5・13 | ブラジル | シルバ(Marina Silva)環境相が辞任した。地元メディアによると、ルラ大統領にあてた辞表で、政権内で環境政策が軽視されていることに抗議したという。 |
| 5・16 | ブラジル | ロシア中部のエカテリンブルクで、ブラジル、ロシア、インド、中国の4か国からなる初のBRICs外相会合が開かれた。 |
| 5・16 | ドミニカ共和国 | 大統領選があり、現職のレオネル・フェルナンデス(Leonel Antonio Fernández Reyna)氏が再選された。インフレ抑制など経済改革に取り組み、年率10%の経済成長を達成した実績が評価された。1996年から2000年までにも大統領を務め、今回が3期目になる。就任は8月。 |

| | | |
|------|--------|--|
| 5・17 | 南米 | 中南米・カリブ諸国と欧州連合(EU)加盟各国の首脳会議が17日まで、ペルーのリマで開かれた。地域共同体の個別協議では、アンデス共同体とEUが自由貿易協定(FTA)を推進することで合意した。 |
| 5・18 | メキシコ | 世界ボクシング評議会(WBC)と世界ボクシング協会(WBA)のスーパーフライ級王座統一戦が、メキシコのゴメスパラシオで行われ、WBC世界チャンピオンのクリスチャン・ミハレスがWBA世界王者のアレクサンデル・ムニョス(ベネズエラ)に2-1で勝った。 |
| 5・19 | キューバ | キューバ外務省は、在ハバナ米利益代表部のパームリー代表が、米国の反キューバ団体の資金をキューバ国内の反政府活動家に供給する役目を果たしていたと批判し、活動家の電話やメールを傍受した記録を「証拠」として公表した。ただし、パームリー氏が直接、介在したことを示す内容は含まれていない。 |
| 5・21 | 中南米 | 米海軍は、カリブ海と中南米海域を管轄する「第4艦隊」を58年ぶりに復活させることを決めた。反米左翼派勢力の封じ込めや、カストロ議長引退後のキューバ情勢への対応能力の向上が狙いと見られる。 |
| 5・21 | キューバ | ブッシュ米大統領は、キューバに住む家族に米国人が携帯電話を贈ることを認める方針を発表した。長年キューバとの通商を禁止してきたが、キューバ国民が国外と連絡をとり、自由な世界を知るのに役立つとして政策の転換を決めた。 |
| 5・23 | ブラジル | サッカー・ブラジル代表でイタリア1部リーグ(セリエA)のACミランに所属するカカが、左膝の内視鏡手術を受けた。関係者によると、予定通りに運び、24日に退院する見通しであるという。 |
| 5・23 | 南米 | 南米大陸の12ヵ国は、地域統合を推進する新機構「南米諸国連合(UNASUR)」を設立し、25日には各国首脳がブラジリアで基本条約に署名した。将来の経済統合や政治統合を目指し、外相や首相レベルの交流を活発化する。 |
| 5・24 | コロンビア | コロンビア中部でマグニチュード5.6の地震があったと報じられた。道路上に崩壊した岩の下敷きになるなどして6人が死亡した。 |
| 5・24 | コロンビア | 国防省は、同国の左翼ゲリラ、コロンビア革命軍(FARC)のマヌエル・マルランダ(Manuel Marulanda Vélez＝通称)最高司令官が「3月末に死亡していた」と発表した。死因や死亡場所は不明で、アルフォンソ・カノ(Alfonso Cano＝通称)幹部が後を継いだという。 |
| 5・30 | ホンジュラス | 首都テグシガルパの国際空港で、着陸しようとしたエルサルバドルのタカ航空機(乗客乗員約135人)が滑走路をオーバーランし、空港敷地を越えて一般道に突っ込んだ。現地からの報道によると、4人が死亡し、約60人がけがをした。 |
| 6・2 | ペルー | ペルーからの報道によると、軍による民間人殺害への関与など7事件で公判中のフジモリ元大統領が、舌にできた腫瘍の除去手術を3日に受ける見通しになった。 |

| | | |
|------|----------------|--|
| 6・4 | ブラジル | ブラジル中央銀行は、通貨政策委員会を開き、基準金利を0.5%引き上げて年率12.5%とすると発表した。ブラジル中央銀行は消費拡大に伴うインフレ懸念から、4月に基準金利を約3年ぶりに引き上げたばかり。 |
| 6・5 | ボリビア | 東部ベニ県とパンド県で1日に行われた自治憲章制定の是非を問う住民投票の結果、両県とも約8割の賛成で承認された。同様の憲章を承認したのは東部サントクルス県を含め、3県となった。 |
| 6・6 | コロンビア エクアドル | コロンビアとエクアドルは、カーター (James Earl “Jimmy” Carter, Jr.) 元大統領の仲介を受け、無条件で国交を即時回復することで合意した。 |
| 6・8 | ドミニカ国 | ドミニカのスカールリット首相は、今月末にチリで開かれる国際捕鯨委員会 (IWC) 年次総会に代表団を送らないことを決めたと発表した。IWCで同国は一貫して日本の立場を支持してきたことから、捕鯨支持の政策を転換したと受け止められている。 |
| 6・8 | エクアドル | ガラパゴス諸島にあるセロアスル山の火山活動が10年ぶりに活発化している。4日夜には溶岩が流出し火山灰も降った。 |
| 6・10 | ブラジル | ブラジル地理統計院 (IBGE) によると、2008年1～3月期の実質国内総生産 (GDP) は前年同期比5.8%増となった。 |
| 6・14 | アルゼンチン | エルネスト・チェ・ゲバラ (Ernesto “Che” Guevara) の生誕80周年にあたり、故郷アルゼンチン北部ロサリオで銅像が初めて作られ、除幕式が行われた。 |
| 6・15 | ブラジル パラグアイ | サッカーW杯南米予選で首位のパラグアイは、第5戦でブラジルに快勝し勝ち点を13に伸ばした。一方ブラジルは初の黒星を喫し、4位となった。 |
| 6・15 | メキシコ | ビール世界最大手のインベブ (ベルギー) は、「バドワイザー」の銘柄で知られる米アンハイザー・ブッシュへの買収提案を巡り、防衛策を講じないよう求める書簡をアンハイザー側に送ったと発表した。攻防の焦点は、アンハイザー社が、「コロナ」で有名なメキシコのグルポ・モデロの株式を追加取得する方針を表明したことである。アンハイザー社が自社の資産規模を拡大し、インベブが提示した買収額が低すぎると主張する狙いとみられる。 |
| 6・16 | ボリビア | 米務省は、駐ボリビア大使を召還すると発表した。ボリビアでは、米国に亡命した元大統領らの送還を求める市民数千人が9日に米大使館前に集結するなど反米デモが激化しており、これに対する抗議とみられる。 |
| 6・17 | アルゼンチン | フェルナンデス大統領は、世界的な食料価格高騰の一因とされる大豆など農産物の輸出増税案を、近く国会に法案として提出する意向を表明した。国内の農家や輸送業者の撤回要求を拒否した形となった。 |
| 6・19 | キューバ | 欧州連合 (EU) は、キューバに対する制裁措置を全面的に解除することを決めた。EUは2003年6月に制裁を導入したが、2005年には「制裁の形をとらない方がキューバ国内の人権問題の改善につながる」として制裁を中断していた。米務省はこの決定に反発している。 |

| | | |
|------|----------------|---|
| 6・19 | ベネズエラ パラグアイ | 欧州議会が、不法滞在の外国人に対する強制収容や強制送還などの厳しい規則を承認した。こうした動きに対して、ベネズエラ、パラグアイ、ボリビア、ブラジルなど多くの移民を送り出す南米各国は強い反発を表明している。 |
| 6・23 | パラグアイ | ドゥアルテ大統領は23日、議会に辞表を提出した。4月に行われた大統領選で野党連合が推すルゴ候補が勝利し、同大統領は8月15日の任期前に辞任する意向を示していた。翌日、上下両院の合同会議が招集されたが、定足数に至らず流会し、辞任は認められなかった。 |
| 6・25 | メキシコ | 米ビール最大手アンハイザー社が、世界最大手インベブ(ベルギー)による買収提案を拒否する見通しだと報じられた。買収提案を巡っては、グルボ・モデロ最高経営責任者(CEO)兼アンハイザー社取締役が辞任するなど、アンハイザー取締役会の足並みが乱れていた。 |
| 6・27 | グアテマラ | 大統領府スポークスマンによると、同国のゴメス(Vinicio Gómez)内相や内務副大臣ら4人が乗ったヘリコプターが中部ブルラで墜落し、全員が死亡した。 |
| 7・2 | コロンビア | 政府軍は、左翼ゲリラ、コロンビア革命軍(FARC)に約6年間拘束されていた元大統領候補のイングリッド・ベタンクール(Íngrid Betancourt Pulecio)を含む15人の人質を、全員無事に救出した。FARCに潜入した政府軍兵士が、偽の人質移送計画を幹部に信じ込ませ、民間機に偽装した軍のヘリに人質を乗せた。 |
| 7・7 | ボリビア | 教育・文化省は、1967年に同国で処刑されたチェ・ゲバラが書いた日記の原本が見つかったと発表した。政府はこの日記を複製し、10月ごろに出版する。日記はノート2冊で、ボリビア中央銀行の金庫の中から見つかった。 |
| 7・9 | アルゼンチン | 同国南部パタゴニア地方、ロス・グラシアレス国立公園内にあるペリト・モレノ氷河の先端が崩落した。同国は真冬を迎えたばかりで、同氷河が冬季に崩落するのは57年ぶりである。 |
| 7・13 | ペルー | 同国中部にある古代アンデス文明のセチン・バホ遺跡で、約5500年前の紀元前3500年ごろに造られた円形の中庭跡が見つかった。 |
| 7・14 | ベネズエラ | 2008年ミスユニバース世界大会がベトナムで開かれ、ベネズエラ代表のダイアン・メンドーサ(Dayana Mendoza)さんが優勝した。同国代表の栄冠は5人目。 |
| 7・17 | アルゼンチン | 政府が提案していた大豆への輸出税率の引き上げ法案が、上院で否決された。賛否が同数となり、上院議長を兼ねるコボス(Julio César Cleto Cobos)副大統領の裁定で否決が決まった。 |
| 7・17 | ペルー | ペルーのアンデス山脈にある氷河の消失が進み、70年代に比べて面積が約26%減ったことが、同国の国立天然資源研究所の調査で分かった。 |
| 7・18 | アルゼンチン | アルゼンチン政府とスペインの旅行会社マルサンスが、アルゼンチン航空の再国有化で原則合意した。同航空は燃油価格高騰などを背景に経営難に陥っており、政府は95%を出資するマルサンス社の株を買い取る。 |

| | | |
|------|--------|--|
| 7・18 | ブラジル | リオデジャネイロ東郊の海岸に、2ヵ月間で400羽以上のペンギンの死体が打ち上げられていることが分かった。現場から南西に約5000キロメートル離れたアルゼンチン南西部パタゴニア地方に生息するペンギンで、大半が巣立ちしたばかりの若いペンギン。毎年数千羽が泳ぎつくがこのような事態は初めてだという。 |
| 7・19 | メキシコ | 当局が18日までにメキシコ南部沖で拿捕した小型潜水艦から、コカイン約5.8トンが押収された。薬物密輸に悩む米国が摘発に協力した。 |
| 7・22 | ベネズエラ | ロシアを訪問したチャベス大統領は、メドベージェフ(Dmitry Anatolyevich Medvedev)大統領と会談した。チャベス大統領の訪口は6回目で、双方は軍事、エネルギー面で協力に合意、米国の一極主義に反対する立場でも一致した。 |
| 7・23 | アルゼンチン | 農産物の輸出税増税問題で揺れるアルゼンチンで、アルベルト・フェルナンデス(Alberto Ángel Fernández)首相が辞任した。同氏は、増税に反発する農業団体との交渉の矢面に立たされていた。 |
| 7・23 | エクアドル | ガラパゴス諸島のピンタ島でただ一匹生き残った希少種の雄ゾウガメ「孤独なジョージ」の血をひくとみられる卵9個が見つかった。93年から交配が試みられてきたが、ジョージが関心を示さなかったため繁殖は絶望視されていた。 |
| 7・25 | ベネズエラ | スペインを訪れたチャベス大統領は、昨年11月の国際会議で舌戦を演じたスペイン国王と、同国領マジョルカ島にある王室の別荘で会談した。国王は「黙らないか」と書かれたTシャツをプレゼントし、大統領は「私も印税をいくらかいただかない」とジョークで切り返し、友好ムードの会談となった。 |
| 7・30 | ブラジル | ジルベルト・ジル(Gilberto Passos Gil Moreira)文化相が辞任した。同氏はブラジルを代表するポピュラー音楽のシンガーソングライターで、2003年の就任以降も音楽活動を続けていたが、辞任後はその活動に専念するという。 |
| 8・10 | ボリビア | 大統領の信任を問う国民投票が行われ、即日開票された。3つの民間機関の出口調査によると、信任票が60.1～56.7%に達し、信任がほぼ確実となった。とはいえ、9県のうち5県では不信任票が過半数に達したもよう。 |
| 8・15 | パラグアイ | 4月の大統領選で当選した中道左派を率いるルゴ元大司教が新大統領に就任した。同氏は、トレードマークのノーネクタイ、サンダル姿をこの日も貫いた。 |
| 8・20 | ジャマイカ | 北京五輪で男子200メートル決勝が行われ、ジャマイカのウサイン・ボルトが19秒30の世界新記録で優勝した。同選手は100メートルでも、自身が持つ世界記録を更新し、この種目でジャマイカ勢初となる金メダルを獲得した。また、18日の女子100メートル決勝では、ジャマイカ勢が表彰台を独占した。 |
| 8・20 | ジャマイカ | ウサイン・ボルトが男子100メートル、200メートルともに世界新記録で制する快挙を成し遂げたことについて、同国首相は、選手団の功績をたたえる休日を設定することを検討すると述べた。 |
| 8・24 | アルゼンチン | 北京五輪のサッカー決勝が行われ、アルゼンチンが1-0でナイジェリアを下し、1964年東京大会、68年メキシコ大会のハンガリー以来の2連覇を達成した。 |

| | | |
|-------|-----------------|---|
| 8・25 | ホンジュラス ベネズエラ | ベネズエラのチャベス大統領がホンジュラスを訪問し、同国のセラヤ(José Manuel Zelaya Rosales)大統領と会談した。セラヤ氏は「反米」を唱えるチャベス氏が米国に対抗して設立した経済同盟「ALBA」への加盟を発表した。ホンジュラスは伝統的には親米で、米国が最大の貿易相手国である。 |
| 8・27 | ボリビア | モラレス大統領が地方訪問の帰路、反大統領派の抗議活動を逃れるため隣国ブラジルに脱出し、同国の空港から大統領官邸があるラパスに戻った。 |
| 9・5 | ニカラグア | 政府は、南オセチア自治州とアブハジラ自治共和国のグルジアからの独立を承認した。独立承認はロシアに続いて2カ国目となった。 |
| 9・6 | ハイチ | 熱帯低気圧「ハンナ」の通過に伴う暴風雨により、ハイチでは洪水や地滑りが発生し、5日までに少なくとも529人が遺体で見つかったと報道された。 |
| 9・8 | ブラジル アルゼンチン | ブラジルのルラ大統領とアルゼンチンのフェルナンデス大統領がブラジリアで会談し、二国間の貿易決済に米ドルを介さず自国通貨を用いることで合意した。10月6日からの試行で、中小企業による輸出促進に加え、「将来的な通貨統合への一歩」(ルラ大統領)として周辺国にも参加を呼びかける。 |
| 9・8 | キューバ | 大型ハリケーン「アイク」が、5段階で3番目に強い「カテゴリー3」の勢力で南東部に上陸、9日には西部に再上陸した。同国は8月末のグスタフに続き、10日間に2度のハリケーン上陸に見舞われる事態となった。 |
| 9・12 | ベネズエラ | ベネズエラとロシアの空軍が合同軍事演習を実施することが発表された。米国がグルジアへの人道支援を理由に黒海に艦船を派遣したことへの対抗措置で、ロシア側はすでに戦略爆撃機2機をベネズエラに派遣済みであるという。7日には、11月に海軍の合同軍事演習が行われることも発表されている。 |
| 9・15 | ボリビア 南米 | 大統領に対する抗議運動で死者が出たボリビアの情勢をめぐり、南米諸国連合(UNASUR)がサンティアゴで緊急首脳会議を開いた。会議ではモラレス大統領への全面支持が表明された。 |
| 9・15 | メキシコ | 大統領の出身地である中部ミチョアカン州モレリアで、独立記念日前夜祭に集まった数千人の群衆に手投げ弾が2発投げ込まれ、7人が死亡、100人以上が負傷したと報道された。警察は、大統領と対決姿勢を強める麻薬組織による犯行の可能性が高いとみている。 |
| 9・28 | エクアドル | コレア大統領が求めた憲法改正の是非を問う国民投票があり、賛成が多数を占める見通しとなった。新憲法は、再選を2度まで認めるなど大統領の力を強める一方、議会や軍の権限を制限し、また医療や教育への支出を増やすなど社会主義改革を目指す内容である。 |
| 10・10 | ペルー | 軍当局は、南西部の山岳地帯で陸軍の車列が襲撃を受け、兵士10数名と市民2人が死亡したと発表した。同国の左翼ゲリラ「センデロ・ルミノソ」による犯行だとしている。 |

| | | |
|-------|--------------|---|
| 10・11 | アルゼンチン | 政府が、主要債権国会議(パリクラブ)向け債務の一括返済を当面見合わせる方針を固めたと報道された。大統領は9月に、2001年に返済を停止した公的債務について外貨準備を取り崩して返済する方針を示したが、世界的な金融危機を受けて外貨準備を温存する。 |
| 10・15 | ブラジル | サンパウロ証券取引所で、ボベスパ指数が前日比11.9%低い3万6833で取引を終えた。下落幅が10%を超えたため、午後30分間取引を停止した。 |
| 10・16 | ブラジル | サンパウロで、賃上げを求めて州政府庁舎になだれ込もうとした文民警察と、制止しようとした軍警察が衝突し、少なくとも24人がけがをした。 |
| 10・19 | アルゼンチン | 夏時間に移行したアルゼンチンで、西部の州知事が導入に反対し、東半分だけで時計を1時間進めることになった。日の出・日の入が遅い西部で前年、「夜眠れない」といった苦情が相次ぎ論争が続いていた。 |
| 10・20 | メキシコ キューバ | メキシコ政府は、自国経由で不法に米国入りを図るキューバ人を強制退去処分することでキューバ政府と合意した。2008年にメキシコで拘束されたキューバ人は約2000人で、前年から3倍以上に増えた。 |
| 10・21 | アルゼンチン | フェルナンデス大統領は、銀行や保険会社が手掛ける民間の年金・退職金基金を国有化する計画を発表した。近く議会で関連法案の審議を始める。 |
| 10・23 | キューバ | ペレス(Felipe Ramón Pérez Roque)外相は、欧州連合(EU)欧州委員会のルイ・ミシェル(Louis Michel)委員長と首都ハバナで会談し、協力再開に関する協定に調印した。制裁から約5年ぶりの関係正常化となり、病院や学校の修復費用の支援、ハリケーン被害の復興への資金拠出が盛り込まれた。 |
| 10・29 | ベネズエラ | 同国初の人工衛星となる通信衛星「シモン・ボリバル」の打ち上げが成功した。中国との共同開発で、打ち上げも中国四川省で中国製のロケットを使って行われた。総開発費は、約4億ドル(約390億円)。 |
| 10・30 | アルゼンチン | サッカー・アルゼンチン代表の名選手だったマラドーナ(Diego Armando Maradona)氏が同国の代表監督に就任することが濃厚になったと報道された。 |
| 11・4 | メキシコ | メキシコ市街に政府の小型ジェット機が墜落し、少なくとも8人が死亡した。地元報道などによると、搭乗していたモウリニョ(Juan Camilo Mouriño)内相も死亡した。大統領側近で麻薬組織の摘発を担当していた治安幹部も死亡したため、組織の関与を疑う噂も広がっているが、運輸相はそれを否定した。 |
| 11・5 | メキシコ | 米国との国境で続く連続殺人事件を題材にしたグレゴリー・ナヴァ(Gregory Nava)監督作品「ボーダータウン 報道されない殺人者」が公開された。メキシコ女性労働者の現状を告発する内容であり、監督は脅迫も受けたという。 |
| 11・7 | ハイチ | 首都ポルトープランス近郊で、3階建ての校舎が授業中に崩落し、米CNNテレビなどによると、児童や生徒50人以上が建物の下敷きとなって死亡した。8年前に一部が倒壊したため改築され、当時も校舎の3階で工事が行われていた。 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 11・8 | ブラジル | 10月の新車販売台数(登録ベース)が前年同月比2.1%減となり、2年4ヵ月ぶりに前年を割り込んだ。金融機関の自動車ローン絞り込みや、工場の人員削減など金融危機の影響が出てきたという。 |
| 11・14 | エクアドル | 政府は、15日に支払い期限を迎える国債の利払いを延期すると発表した。監査の結果、取引に「違法な可能性がでてきた」として支払い猶予期間の30日間で調査するという。 |
| 11・16 | ペルー | アジア太平洋経済協力会議(APEC)の閣僚・首脳会議を控えたリマで、手りゅう弾36個を所持していたタクシー運転手が逮捕された。 |
| 11・21 | ペルー | APECの首脳会議を控えたペルーのリマ市内で、ブッシュ米大統領のペルー入りを反対する抗議集会が開かれた。 |
| 11・23 | ベネズエラ | 統一地方選の投票が行われ、即日開票された。地元紙によると、全国22州知事選のうち与党勢力は17州にとどまった。前回は2州でしか勝利できなかった野党勢力は、5州の知事選とカラカス首都区長官選で勝利を収め躍進した。 |
| 11・29 | ペルー | ガルシア(Alan García Pérez)大統領は、中国の胡錦濤国家主席と自由貿易協定(FTA)の締結に合意した。すでにシンガポールとFTAを結んでおり、20日には、オーストラリアとともに環太平洋4ヵ国が共同で進めているFTAに参加することも発表した。 |
| 12・5 | パナマ | カリブ海でベネズエラとの合同軍事演習を終えたロシア海軍の大型対潜艦が、5日夜から6日朝にかけてパナマ運河を通過した。ロシアの軍艦が同運河を通過したのは第2次大戦後初めてであるという。 |
| 12・15 | キューバ | ロシア海軍は、中南米訪問中の大型対潜艦3隻が、19日から23日にかけてハバナに寄港すると発表した。ロシアの軍艦は、ソ連崩壊後初めてのキューバ訪問となる。 |
| 12・16 | 中南米 | 中南米・カリブ海地域33ヵ国による初めての首脳会議が、ブラジル北東部サルバドールで開幕した。ルラ大統領が提唱し、米州機構(OAS)から米国とカナダを除き、キューバが参加するこれまでにない枠組みで、金融危機対応や食糧危機問題などを協議する。親米のコロンビア、ペルー両国首脳は欠席した。 |
| 12・18 | キューバ | 就任後、初の外遊をしているラウル・カストロ国家評議会議長が、キューバ国内の政治犯を米国に送る代わりに、米国に収監中のキューバ人を釈放するよう米国に求めた。訪問先のブラジルで記者団に語ったが、米国は拒否したという。 |
| 12・22 | ブラジル | フランスはブラジルに対して、攻撃型原子力潜水艦の建造支援を含む本格的な軍事支援に乗り出す。ルラ大統領と、同国を訪問中のサルコジ大統領との間で合意文書に調印される見込みで、南米地域で初めて攻撃原潜が配備されることになる。 |
| 12・23 | メキシコ | 警察当局は、2009年ミス・インターナショナルのメキシコ代表、ラウラ・スニガ(Laura Elena Zúñiga Huizar)容疑者を一緒にいた男7人とともに銃の不法所持の疑いで逮捕したと発表した。 |

首都ハバナで開かれた人民権力全国議会(国会)でラウル・カストロ国家評議会議長が演説し、自然災害などによる国家財政への打撃が深刻なことから、社会主義体制下の国民生活を支えてきた補助金の削減など、思い切った税制再建に取り組む考えを示した。

参考資料

- (1)聞蔵IIビジュアル。
- (2)日経テレコン21。
- (3)イベロアメリカ研究所新聞切り抜き(2008年)。

《資 料》

ラテンアメリカ日誌－２００９年－

| 月 日 | 国名 | 記事 |
|------|----------------|---|
| 1・1 | キューバ | ラウル・カストロ(Raúl Modesto Castro Ruz)国家評議会議長は、革命50周年にあたり、革命発祥地・サンティアゴデクーバ市で演説をした。米国批判を展開し、オバマ(Barack Hussein Obama, Jr.)米次期政権に過度の期待を寄せないように戒めた。 |
| 1・2 | ブラジル | 開発工業貿易省は、2008年の貿易額の速報値を発表した。輸出が前の年と比べ23%増の1979億ドル(約18兆2000億円)、輸入が44%増の1732億ドルで、いずれも過去最高を記録した。 |
| 1・6 | ブラジル | シカゴ商品取引所(CBOT)の大豆先物相場が時間外取引で3か月ぶりに1ブッシュェル10ドル台に乗せた。有力産地の南米で気候が乾燥気味になり、大豆の生育悪化につながるとの見方が広まった。ブラジルでは通貨レアル安から生産に必要な肥料などを十分に海外から調達できない農家が出てきており、供給減少観測を一段と強めている。 |
| 1・6 | ベネズエラ | 外務省は、イスラエル軍によるパレスチナ自治区ガザへの侵攻に抗議し、ベネズエラ駐在のイスラエル大使の国外退去命令を決定したと発表した。 |
| 1・12 | メキシコ | オバマ米次期大統領は、メキシコのカルデロン(Felipe de Jesús Calderón Hinojosa)大統領とワシントンで会談した。昨年11月の当選以来、外国首脳との会談を避けてきたオバマ氏だが、就任前の儀式的な首脳外交のデビュー相手として隣国メキシコを選ぶ最近の伝統に従った。 |
| 1・13 | キューバ | 米国防総省のモレル(Geoff Morrell)報道官は記者会見で、キューバのグアンタナモ米海軍基地にあるテロ容疑者収容所から出身国などに移送された約520人のテロ容疑者のうち、昨年末の時点で1割強の61人がテロ活動に復帰した可能性が高いことを明らかにした。 |
| 1・14 | キューバ ボリビア | モラレス(Juan Evo Morales Ayma)大統領は、イスラエルのガザ攻撃に抗議して、同国の外交関係を断絶すると発表した。同大統領は、イスラエルが「生命と人道に対する重大な罪」を犯していると述べた。南米では、これまでにベネズエラのチャベス(Hugo Rafael Chávez Frías)大統領がイスラエルに抗議して、同国の大使を国外退去させている。 |
| 1・23 | キューバ アルゼンチン | 大統領府は、フィデル・カストロ(Fidel Alejandro Castro Ruz)前国家評議会議長とフェルナンデス(Cristina Elisabet Fernández de Kirchner)大統領が21日に会談した際の写真を公開した。カストロの写真が出るのは、昨年11月の胡錦濤・中国国家主席との会談以来。 |

| | | |
|------|------------------------|--|
| 1・23 | ボリビア | モラレス大統領が、石油の生産会社チャコの国有化を宣言した。天然資源の国家管理の強化を盛り込んだ新憲法制定の是非を問う国民投票を25日に控えた決定に、選挙向けの動きとの見方も強い。 |
| 1・23 | キューバ | 病気療養中のフィデル・カストロ前国家評議会議長が、テレビでオバマ米大統領の就任式を見て、「とても誠実で、信念を持っている」とオバマ氏に好意的な感想を述べたと報じられた。 |
| 1・24 | エクアドル | ガラパゴス諸島のピンタ島で、唯一生き残った雄のゾウガメ「ロンサム・ジョージ」(ひとりぼっちのジョージ)の絶滅を防ごうとしていたガラパゴス国立公園局が、繁殖に失敗したと報じられた。 |
| 1・25 | ボリビア | 先住民の権利拡大や大土地所有の禁止などを柱とした南米ボリビアの新憲法の是非を問う国民投票が投開票され、地元メディアの集計によると、60%以上の賛成で承認される見通しになった。 |
| 1・29 | ブラジル パラグアイ ベネズエラ | ブラジル北部のベレンで開催中の「世界社会フォーラム」で、ベネズエラのチャベス大統領などから、深刻な経済危機を招いたとして、米国などへの批判が相次いだ。会議にはブラジルのルラ(Luiz Inácio Lula da Silva)大統領、パラグアイのルゴ(Fernando Armindo Lugo Méndez)大統領も参加した。 |
| 1・30 | キューバ | ラウル・カストロ国家評議会議長がロシアを訪問し、メドベージェフ(Dmitrii Anatolievich Medvedev)大統領とモスクワのクレムリンで公式会談に臨んだ。両首脳は、2国間関係を戦略的パートナーシップに引き上げる覚書に署名した。ロシアが2000万ドル(約18億円)規模の借款を供与し、キューバがロシア産物資の購入に使うとの政府間協定も締結する。 |
| 2・3 | ブラジル | 世論調査で、ルラ大統領の支持率が84.0%と過去最高を記録した。2003年の同大統領の就任直後につけた83.6%を上回った。世界的に景気が低迷する中、ブラジルでは生活実感が極端に悪化していないことが高支持率の背景とみられる。 |
| 2・10 | ブラジル | サトウキビを原料とするバイオエタノールを自動車用の燃料に利用するブラジルで、エタノール消費量が2008年に初めてガソリンを上回った。ガソリンとエタノールを両方を使える「フレックス車」の普及や、原油価格の高騰が背景にある。 |
| 2・17 | ベネズエラ | チャベス大統領が憲法改正の国民投票に勝利し、悲願だった連続3選以上の再選の道が開かれた。2013年までの任期が終わり、次期大統領選で再選されれば19年までの長期政権への展望が開ける。 |
| 2・20 | ブラジル | リオデジャネイロのカーニバルが、5日間の日程で始まった。金融危機の余波で行政の助成金がカットされ、企業の後援も低迷する中での開催となるが、各サンバチームは、昨年の衣装や山車を再利用するなど、工夫を凝らしてパレードに臨む。 |

| | | |
|------|--------------------------|--|
| 2・23 | ブラジル | 航空機メーカーのエンブラエルは全世界の従業員の約20%に当たる4000人を削減すると発表した。同社は2008年に過去最高の204機を納入。今年も引き続き拡大を見込むが、世界的な金融危機で航空機需要に陰りが見えていることから人員削減に取り組むことにした。 |
| 3・2 | キューバ | 政府は、閣僚評議会(内閣)のメンバー約10人を交代させる大がかりな内閣構造を発表した。ラウル・カストロ国家評議会議長が、自らの出身母体である軍から人材を登用するなど「ラウル色」を強めた初の人事で、兄のフィデル・カストロ前議長が育てた若手有力幹部は一掃された。 |
| 3・4 | コロンビア パナマ | コロンビアとパナマの国境付近の山中で、両生類の新種10種が見つかったと環境保護団体のコンサベーション・インターナショナル(CI、本部・米国)が発表した。発見されたのは、体の器官が透けて見えるカエルやオレンジ色の脚を持つアマガエル、サンショウウオなど。 |
| 3・4 | ベネズエラ | チャベス大統領は、米国の穀物メジャー「カーギル」の精米所の接收を命じた。AP通信などによると、ベネズエラ政府が定めた統制価格での白米生産を同社が行っていない疑いがあることが理由だという。 |
| 3・11 | ブラジル アルゼンチン メキシコ | 日米欧の主要7ヵ国(G7)に新興国を加えた世界20ヵ国・地域(G20)の財務相・中央銀行総裁会議が13～14日、ロンドン近郊で開かれる。世界的な金融危機の処方箋を協議する4月の第2回金融サミットに向け、世界経済の動向、金融規制、保護主義などが焦点となる。 |
| 3・14 | ブラジル | ルラ大統領は、ホワイトハウスで行われたオバマ大統領との会談後、米国と中南米諸国の関係を改善していくことで両首脳が一致したと記者団に明らかにした。ルラ氏はオバマ氏との初の直接会談で、「中南米と米国は新たな関係を築く時だ」と述べ、オバマ氏も同意した。 |
| 3・14 | ベネズエラ | インターファックス通信によると、ロシア空軍幹部は、チャベス大統領から、同国領内の軍施設をロシアの戦略爆撃機の補給基地として使用するよう提案を受けたと明らかにした。ベネズエラに補給施設を設置すれば、ロシアは米国が「裏庭」と見なす中南米での存在感を高めることになる。 |
| 3・15 | ブラジル | 世界最大のカトリック人口を抱える北東部ペルナンブコ州で、義父に強姦され妊娠した少女が今月初旬、中絶手術を受けたところ、カトリックの大司教が、中絶に同意した少女の母親と担当医らを教会から破門した。医師側は「少女の命を守るため」と反論、大統領も巻き込んだ大論争となっている。 |
| 3・15 | エルサルバドル | サカ(Elias Antonio Saca González)大統領の任期満了に伴う大統領選が実施された。開票率約91%時点の中間集計で、旧ゲリラの左派政党ファラブンド・マルティ民族解放戦線(FMLN)のフネス(Carlos Mauricio Funes Cartagena)が51.3%を獲得しリード。 |
| 3・18 | キューバ エルサルバドル コスタリカ | エルサルバドルの大統領選挙で勝利した左派のマウリシオ・フネス氏は、6月の大統領就任後、キューバとの外交関係を再開する方針を明らかにした。これに先立ち、コスタリカ政府も、キューバとの外交関係を再開したと発表した。 |

| | | |
|------|--------|--|
| 3・19 | ベネズエラ | 検察当局は、マラカイボ市長のロサレス(Manuel Antonio Rosales Guerrero)氏を汚職の疑いで逮捕すると発表した。ロサレス氏は、2006年の大統領選に野党統一候補として出馬した反チャベス派の中心的な人物で、チャベス氏が政敵の排除に出たとの見方が強い。 |
| 3・24 | メキシコ | 米国土安全保障省のナポリターノ(Janet Napolitano)長官は、メキシコとの国境地帯の警備を増強する方針を発表した。メキシコ北部で麻薬組織の活動が活発となり、米国への麻薬流入が深刻化しているほか、組織間抗争が米国内にも波及しているため。 |
| 3・25 | ブラジル | 政府は、340億レアル(約14800億円)を投じて中低所得者向けに住宅100万戸を建設する計画を発表した。雇用の確保と景気テコ入れを狙う一方、低所得者の劣悪な住環境の改善をめざす。 |
| 3・28 | キューバ | 政府は、100億バレル近い原油が眠るとされるメキシコ湾の海底油田を今年から本格的に掘削する。 |
| 3・31 | アルゼンチン | ナシオン紙によると、アルフォンシン(Raúl Ricardo Alfonsín)元アルゼンチン大統領が肺がんで死去した。82歳。学生時代に急進党に入党し、軍事政権による拷問や殺害を告発。民政移管後初の大統領選に勝利し、1983年に就任、民主化の基礎を築いた。任期後半には経済失政から暴動が発生、89年に引責辞任した。 |
| 4・1 | ペルー | 軍特殊部隊による市民殺害事件など3つの事件を巡って続いているフジモリ(Alberto Ken'ya Fujimori)元大統領に対する裁判で、被告であるフジモリ元大統領の最終弁論が開かれた。裁判はペルー裁判特別法廷で争われ、元大統領が、在任中に発生した人権侵害事件に関与していたか否かが争点。 |
| 4・2 | ベネズエラ | 検察当局は、チャベス大統領の元側近で政敵に転じたラウル・バドゥエル(Raúl Isaías Baduel)元国防相を、在任中の汚職の疑いで逮捕したと発表した。地元メディアでは、チャベス氏が検察に逮捕させている、との批判が強まっている。 |
| 4・7 | ペルー | ペルー最高裁判所法廷は、フジモリ元大統領に対し、在職中に発生した軍特殊部隊による市民殺害事件などの責任を認定し、殺人や誘拐などの罪で禁固25年と遺族への賠償金支払いを命じる判決を言い渡した。 |
| 4・9 | キューバ | 米下院の議員団が7日までキューバを訪問し、フィデル・カストロ前国家評議会議長とラウル・カストロ現議長と会談した。カストロ前議長が米国の要人に会うのは、2006年7月に腸の手術を受け、公の場を退いて以来初めて。 |
| 4・12 | アルゼンチン | 男子ゴルフのメジャー初戦マスターズ・トーナメントは、オーガスタ・ナショナルGCで最終ラウンドが行われ、アルゼンチン人のカブレラ(Ángel Cabrera)が、南米出身の選手として初優勝した。 |
| 4・13 | キューバ | オバマ米政権は対キューバ制裁の一部緩和を発表した。キューバに親族がいる米国人の渡航と送金の制限を大幅に緩め、米企業がキューバでの通信事業に参入することも免許制で認めている。両国間で人と情報の行き来を増やすことで、キューバの民主化を促す狙い。 |

| | | |
|------|---------------------|--|
| 4・16 | メキシコ | オバマ米大統領は、メキシコ市でカルデロン大統領と会談し、両国間の気候変動問題とクリーンエネルギー開発のために協力関係を築くことで合意した。 |
| 4・17 | トリニダード・トバゴ キューバ | キューバを除く米州34カ国が参加する米州機構(OAS)の首脳会談が、カリブ海のトリニダード・トバゴの首都ポートオブスペインで開幕した。オバマ米大統領は開幕式典で演説し、キューバとの関係について、「米国は新たな始まりを目指す」と述べ、孤立化を柱としてきた対キューバ政策の転換に踏み切る姿勢を表明した。 |
| 4・18 | ベネズエラ トリニダード・トバゴ | チャベス大統領は、昨年9月に召還したままだった駐米大使の後任にチャデルトン(Roy Chaderton Matos)元外相を任命すると述べた。米州サミット開催中のトリニダード・トバゴで記者団に語ったもので、オバマ米政権との関係改善を図る一環とみられる。 |
| 4・21 | ベネズエラ ペルー | チャベス大統領の政敵で、検察当局から収賄の疑いで逮捕すると発表されたマラカイボ市長のロサレス氏が、ペルーに政治亡命を申請した。ロイター通信などによると、ロサレス氏は収賄の事実を否定しており、「チャベス氏による政治的な迫害だ」と訴えている。 |
| 4・25 | パラグアイ | 3年前までカトリック司教として貧困救済に尽力し、2008年4月に清廉なイメージで初当選したルゴ大統領に隠し子疑惑が相次いで浮上し、大騒ぎになっている。 |
| 4・26 | エクアドル | 大統領の権限強化を図った憲法改正に伴う、大統領選の繰り上げ投票が行われ、左派のコレア(Rafael Vicente Correa Delgado)大統領が50%以上の票を獲得。2位の左派、グティエレス(Lucio Edwin Gutiérrez Borbúa)元大統領に20ポイント以上の差を付け、再選を確実とした。 |
| 4・26 | メキシコ | 豚インフルエンザの感染拡大を受け、米政府は、「公衆衛生に関する緊急事態」を宣言し、入国管理の厳格化など関係する省庁や州が連携して予防措置をとることを決めた。 |
| 4・28 | ペルー | フジモリ元大統領の長女で、国会議員のケイコ(Keiko Sofia Fujimori Higuchi)氏の人気は急上昇している。元大統領は今月上旬に人権侵害の公判で長期刑を受け、政治生命を絶たれたが、ケイコ氏は「反フジモリ派による政治的報復だ」と判決を批判し、国民の同情を集めている。 |
| 5・8 | ベネズエラ | チャベス大統領は、国営石油会社(PDVSA)と取引関係にある石油や天然ガスの関連企業60社を国有化すると発表した。PDVSAはこれらの企業に多額の未支払い債務を抱えており、外資系にはベネズエラから撤退する動きも出ていた。 |
| 5・9 | コスタリカ | 保健省は、首都サンホセで、新型インフルエンザに感染した男性が死亡したと発表した。感染者の間に死亡が出たのは、世界で4カ国目。 |

| | | |
|------|-------------|---|
| 5・11 | ブラジル | 北朝鮮の朴義春外相は、ブラジルを訪問しアモリン(Celso Luiz Nunes Amorim)外相と会談、日本海にある北朝鮮領域内での深海油田探査をめぐり、国営石油会社ペトロbrasによる事業協力への期待を表明した。ブラジルは平壤に大使館を拓く方針。 |
| 5・11 | キューバ | 保健省は、メキシコ人留学生1人が新型インフルエンザに感染したことを確認したと発表した。ロイター通信によると、学生はメキシコに一時帰国後、キューバに戻ったという。 |
| 5・17 | チリ | エラソ(Álvaro Erazo Latorre)保健相は、32歳の女性が、新型インフルエンザに感染したことを確認したと発表した。同国での感染例は初めて。 |
| 5・17 | ジャマイカ | 北京五輪で陸上男子短距離3冠に輝いたジャマイカ代表ボルト(Usain St. Leo Bolt)が、英マンチェスターで行われた路上での150メートルレースで、参考記録ながら世界最高を大幅に上回る14秒35をマークした。 |
| 5・19 | ハイチ | 国連は、潘基文事務総長が、新たに設けるハイチ特使にクリントン(William Jefferson "Bill" Clinton)元大統領を任命したと発表した。大統領としてハイチの安定化に取り組んだ経験や、自らの財団を通じた援助活動で培ったネットワークを生かし、貧困にあえぐハイチの社会・経済の復興を支援するという。 |
| 5・22 | ブラジル | 同国の食品企業が再編や買収で規模を拡大し、世界市場での存在感を増している。最近も食肉加工大手のサジアとペルジゴンが経営統合で合意、売上高220億レアル(約1兆円)の新会社「ブラジル・フーズ(BRF)」が誕生する。強力な生産能力を背景に、米国などの既存勢力に対抗する構えだ。 |
| 5・28 | ホンジュラス | 米地質調査所(USGS)などによると、ホンジュラス沖で午前2時25分ごろ、マグニチュード(M)7.1と推定される地震があった。 |
| 6・2 | ブラジル | ジョビン(Nelson Azevedo Jobim)国防相は、未明(日本時間2日午後)にブラジル空軍が大西洋上で発見した航空機とみられる残骸について、「行方不明になっているエールフランス447便のもので間違いない」として、同機がこの付近で墜落したとの認識を示した。 |
| 6・2 | キューバ 中南米 | ホンジュラスのサンペドロスラで、南北アメリカ34カ国が集まる米州機構(OAS)総会が開幕した。1962年以降OASから排除されているキューバの復帰を協議したが、キューバの民主化の進展を復帰の条件とする米国と他国の溝が埋まらず、初日は結論が出なかった。 |
| 6・3 | ブラジル | 国連環境計画(UNEP)は、風力や太陽光、バイオ燃料といった再生可能エネルギーへの世界の投資状況をまとめた報告書を発表した。欧米は景気後退の影響で低調だったが、中国、ブラジルなど新興国が引っ張り、2008年の総投資額(大型水力を除く)は前年比5%増の1550億ドル(約149000億円)を記録した。 |
| 6・10 | ペルー | 政府が、アマゾンなど熱帯雨林での木材伐採や石油開発の権利を民間企業に認める政令を制定したところ、北部アマソナス州の先住民ら約5000人が「生存権を侵される」と反発、約2か月にわたって高速道路を封鎖。6月に入ると、強制排除しようとした警察隊と衝突、死者30人以上を出す事件に発展した模様だ。 |

| | | |
|------|-----------------|---|
| 6・16 | ブラジル | エカテリンブルグで開かれたブラジル、ロシア、インド、中国の新興4カ国「BRICs」の初めての首脳会談は、国際金融システムなどの重要課題に4カ国が積極的にかかわっていく姿勢を強く打ち出した。共同声明では、国際金融機関で発展途上国がより大きな発言力と代表権を持つべきだと主張。 |
| 6・19 | コロンビア | パディージャ(Freddy Padilla de León)国防相代行は、国内最大の左翼ゲリラ「コロンビア革命軍」(FARC)の現状について、「最後の最後を迎えている」と述べ、内戦終息は間近との見解を示した。 |
| 6・28 | ブラジル | ヨハネスブルクのエリスパーク競技場でサッカー・コンフェデ杯決勝があり、南米王者のブラジルが3-2で北中米カリブ海王者の米国に逆転勝ちし、2大会連続で大会単独最多となる3度目の優勝を果たした。 |
| 6・28 | ホンジュラス コスタリカ | ホンジュラスで、軍がセラヤ(José Manuel Zelaya)大統領を追放するクーデターが発生した。セラヤ大統領はコスタリカに到着し、同地で声明を発表。中南米諸国や米国に自らへの支持を呼びかけた。軍は政府施設などを占拠。一方、大統領支持派は大統領官邸前に集まりクーデターを非難している。 |
| 7・1 | パナマ | 5月の選挙で選出されたリカルド・マルティネリ(Ricardo Alberto Martinelli Berrocal)大統領が就任した。任期は5年。マルティネリ氏は同国最大のスーパーチェーンを経営。約10年前に中道の新政党を自ら結成して政治活動を続けていた。 |
| 7・2 | コロンビア | 同国で、麻薬密売組織が密輸に使う「半潜水艇」の摘発例が相次いでいる。米大陸をまたにかけた麻薬取引を、文字通り水面下で担ってきた秘密兵器だが、レーダー技術の進歩などでようやく実態がつかめるようになった。 |
| 7・2 | キューバ | 今年のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)でキューバ代表だったチャップマン(Alberto Aroldis Chapman de la Cruz)投手がオランダで亡命し、大リーグ入りを目指すことになった。 |
| 7・5 | メキシコ | 下院選挙(定数500)で、カルデロン大統領の与党で中道右派の国民行動党(PAN)が大敗、2000年まで約70年にわたって大統領を出した中道左派の制度的革命党(PRI)が第1党になった。PANは麻薬組織の討伐作戦の成果を強調したが、経済危機が政権への不信感を深めた。 |
| 7・7 | ブラジル | 米国の野生生物保護協会(WCS)は、ブラジル・アマゾン川流域の奥地で、新しい種類(亜種)のサルが見つかったと発表した。アマゾンでは森林破壊が深刻で、今回見つかったサルの生息地も脅かされている。 |
| 7・8 | ブラジル | サンパウロの地下鉄で条例で義務づけられた「肥満者優先席」の設置が進んでいる。米国では極端に太った人に2人分の料金を求める航空会社が現れるなか、ブラジルでは保護の対象と考える流れが生まれている。特大棺おけの常備を葬儀店に義務づける都市もある。 |
| 7・31 | キューバ | 共産党の機関紙グランマは、今年後半に予定されていた第6回党大会を延期すると報じた。経済危機の影響が深刻で、党大会の議題になる将来の経済計画を立てられないことが大きな理由とみられる。 |

| | | |
|------|----------------|---|
| 8・7 | ブラジル | サンパウロは、レストランなど屋内の公共の場所での喫煙を全面的に禁止した。ルラ大統領は全土での禁煙制度導入に後ろ向きとされるが、規制強化が周辺都市に波及する可能性が高い。 |
| 8・17 | ブラジル メキシコ | ブラジルを訪問中のメキシコのカルデロン大統領は、ルラ大統領と会談し、国営石油会社間の交流促進や通商関係の強化で合意した。メキシコは世界7位の主要産油国だが、原油生産量の減少が続いており、石油公社であるペメックスの経営改革が課題になっている。 |
| 8・19 | ブラジル | 外務省は、米国によるブラジル産オレンジジュースに対する反ダンピング(不当廉売)関税の調査方法が不当だとして、世界貿易機関(WTO)に提訴すると発表した。ブラジル側は米国が「ゼロイング」と呼ばれる調査方法をもとに、安値の輸出だけを作為的に抽出してダンピング認定したと指摘している。 |
| 8・20 | メキシコ | マリファナなら5グラム未満、コカインは0.5グラム未満、覚せい剤は0.04グラム未満ならば薬物を持っていても罰せられない新法が施行された。警察の汚職防止が狙いで少量の所持を合法化してしまえば、それを見逃す見返りに警察が賄賂を要求するというメキシコの悪習もなくなる、との読みからの立法措置だ。 |
| 8・23 | キューバ ベネズエラ | キューバ国営テレビは、フィデル・カストロ前国家評議会議長が、ベネズエラの若者の表敬訪問に応じた様子を放映した。地球温暖化防止のための世界的な取り組みの重要性を訴え、「温暖化は、米国の安全保障も脅かす」と、米国に対して対応を促した。 |
| 8・23 | コロンビア エクアドル | 南米諸国の中で親米路線を走るコロンビアが、麻薬対策の一環として国内の基地を米軍に使用させる方針を発表したところ、隣国ベネズエラやエクアドルなど左派政権が強く反発、対立を深めている。ロイター通信などによると、コロンビアが7基地を米軍に使用させると発表。 |
| 8・26 | ブラジル | 保健省は、新型インフルエンザの死者が557人に上がったと発表した。AFP通信によると、1国の死者数としては、522人の米国を抜いて世界最多となった。死者の1割を超える58名が妊婦だったという。 |
| 8・28 | アルゼンチン | 南米諸国連合(UNASUR)の首脳会談が保養地バリローチェで開かれた。コロンビアが国内基地を米軍に使用させる計画を示したことについて協議し、南米に駐留する外国軍は南米諸国の主権に脅威を与えるものであってはならない、とする決議を採択した。 |
| 8・30 | コロンビア | 政府は、同国のウリベ(Álvaro Uribe Vélez)大統領が新型インフルエンザを発症したと発表した。同大統領は、アルゼンチン南部で開かれた南米諸国連合(UNASUR)からの帰国後に症状を訴えた。コロンビアは各国首脳ら会議参加者に注意を呼び掛けている。 |
| 9・2 | ブラジル | 政府は大規模な埋蔵が期待されている新海底油田「プレサル」の開発方法を決定し、関連法案を議会に送付した。開発に参加する国内外企業に対して生産分与方式を導入し、産出する原油の一部を国の保有とする。法案の成立は2010年になる見通しで、政府はそれ以後に実施する鉱区の入札から新ルールを適用する。 |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 9・7 | ブラジル | ルラ大統領は、同国を訪問したフランスのサルコジ(Nicolas Paul Stéphane Sarközy de Nagy-Bocsa)大統領と会談し、軍用機分野の協力強化などで合意した。サルコジ大統領はブラジルのエンブラエルの輸送機を10機購入することを表明、一方、ルラ大統領は選定作業を進めている戦闘機で技術移転を含むフランス側の提案を高く評価した。 |
| 9・9 | メキシコ | 同国南東部カンクンからメキシコ市に向けて飛行中のアエロメヒコ航空機(ボーイング737型機、乗員・乗客112人)が男にハイジャックされた。男は同機がメキシコ市空港に到着後まもなく治安当局に逮捕され、乗員・乗客は無事だった。 |
| 9・10 | ベネズエラ ニカラグア | チャベス大統領は、モスクワ郊外でロシアのメドヴェージェフ大統領と会談し、グルジアからの独立をロシアが昨年承認した南オセチアとアブハジア自治共和国について、「ベネズエラも本日から独立を承認する」と表明した。両地域の独立を認めるのはロシアと中米ニカラグアに次いで3カ国目。 |
| 9・15 | ベネズエラ | 反米左派のチャベス大統領が信奉する独立の英雄ボリバル(Simón José Antonio de la Santísima Trinidad Bolívar y Palacios)の思想学習を、すべての学校に義務付ける改正教育法案が国会で可決された。南米で広く敬愛されるボリバルだが、チャベス大統領が思想を都合よく押し付けるのではとの警戒感が広まっている。 |
| 9・17 | ブラジル | 政府は、同国北部のアマゾン地域や南西部のパンタナル湿原などで新たなサトウキビ栽培を禁止する法案を議会に提出した。全国土の92.5%が対象になる。ブラジルでは石油代替燃料としてサトウキビを原料とするバイオエタノールの生産が拡大しているが、森林破壊につながるとの批判も根強い。 |
| 9・18 | ブラジル | ジュネーブで開かれていた世界貿易機関(WTO)多角的貿易交渉(ドーハ・ラウンド)の高級事務レベル会合は、10月から12月まで毎月会合を開いて交渉を加速させていくことを確認した。中国・ブラジルなどの新興国と米国との間で交渉の進め方に意見の隔たりが残っているため、金融サミット(G20)やWTO定例閣僚会議などで調整を図っていくという。 |
| 9・23 | ボリビア | 南米ボリビアで、インカ帝国の時代から500年以上にわたり継承され、国連教育・科学・文化機関(UNESCO)の無形文化遺産に登録されている先住民カジャワヤの伝統医術が、若手の後継者が不足し、存続の危機に立たされていると報じられた。 |
| 10・4 | ブラジル | 2016年夏季五輪の開催国がブラジルのリオデジャネイロに決まった。金融危機の傷が比較的浅い同国は五輪開催を機に一段の成長加速を目指す。 |
| 10・9 | ハイチ ウルグアイ | ハイチ南東部で、国連の平和維持活動(PKO)任務に就いていた輸送機が墜落、搭乗の11人全員が死亡したと国連ハイチ安定化派遣団が発表した。乗っていたのはPKOに参加しているウルグアイ軍とヨルダン軍の兵士だという。 |
| 10・10 | ブラジル | 凶悪犯罪の現場にいち早く駆けつけて報道するのが売り物だったテレビ番組の元司会者が、視聴率を上げるために自ら殺人を依頼していた疑いで地元の警察に逮捕された。AP通信などによると、逮捕されたのはソウザ(Wallace Souza)容疑者で、同日未明に地元の警察に出頭したという。 |

| | | |
|-------|--------------------------------|---|
| 10・10 | メキシコ チリ | サッカーワールドカップ北中米カリブ海地区予選は、米国が6大会連続9度目、メキシコが5大会連続14度目の本大会進出を決めた。また、チリがアウェーでコロンビアに4-2で勝ち、3位を確定させて、3大会ぶり8度目の本大会出場を決めた。 |
| 10・15 | ブラジル | 国連総会は、安全保障理事会の非常任理事国10カ国のうち、今年で2年の任期が終了する5カ国の改選を行い、ブラジル、ナイジェリア、ガボン、レバノン、ボスニア・ヘルツェゴビナを新理事国に選んだ。 |
| 10・20 | 中南米 カリブ地域 | ベネズエラやキューバなど中南米・カリブの反米左派政権の国々が、2010年から相互の貿易決済に仮想通貨「スクレ」を導入することを決めた。ドル基軸体制に揺さぶりをかけるとともに、域内貿易を活発化させて米国への経済依存度を抑える狙いがある。 |
| 10・22 | アルゼンチン | ブドウ(Adamo Boudou)経済相は、2001年に債務不履行(デフォルト)に陥った対外債務について、元本の大幅削減を条件に、新たな国債との交換を実施すると発表した。 |
| 11・2 | コロンビア ブラジル エルサルバドル チリ | コロンビアの航空大手アビアンカ航空と、エルサルバドルのタカ航空は新たな持ち株会社を設立して、経営統合することで合意した。中南米ではチリのLAN航空が複数国を拠点とする路線網で先行している。今後、ブラジルを含めた域内航空会社間の競合や連携が強まりそうだ。 |
| 11・3 | ブラジル | 20世紀を代表とする思想家で「構造主義の父」とされるフランスの文化人類学者、レヴィ=ストロース(Claude Lévi-Strauss)が死去したと仏メディアが伝えた。100歳。55年のブラジルでの調査をもとに、未開社会の構造を説き起こした「悲しき熱帯」は人文社会科学全般に大きな影響を与えた。 |
| 11・10 | ブラジル パラグアイ | サンパウロをはじめとする主要都市で午後10時すぎ、大規模な停電が起きた。リオデジャネイロや首都ブラジリアなどにも被害が広がり、数千万人規模に影響を与えたとみられる。パラグアイとの国境付近にある水力発電用の世界最大級のイタイプー・ダムにトラブルが起きたためとみられる。 |
| 11・13 | ブラジル | ルセフ(Dilma Vana Rousseff)官房長官は、2020年の温暖化ガスの排出量を、全く対策をとらなかった場合と比べ、最大38.9%削減する目標を発表した。来月、コペンハーゲンで開催される第15回国際気候変動枠組み条約締約国会議(COP15)で提示する。 |
| 11・17 | ブラジル | サンパウロ証券取引所の代表的な株価指数、ボブスパ指数が、年初来高値となる67,405をつけた。 |
| 11・18 | キューバ | アジア歴訪中のオバマ米大統領は、米FOXテレビとのインタビューで、キューバのグアンタナモ米海軍基地内にあるテロ容疑者の収容所について来月1月下旬の閉鎖を断念したと明らかにした。大統領は1月の就任直後に署名した大統領令で「1年以内」の閉鎖を命じていた。 |

| | | |
|-------|----------------|---|
| 11・19 | コロンビア ベネズエラ | コロンビアのシルバ(Gabriel Silva Luján)国防相は、「ベネズエラ軍とみられる部隊が、コロンビアとベネズエラ国境の川にかかる2つの橋を爆破した」と発表、国連などに調査を求める方針を示した。ベネズエラ側は、爆破を認めただけで「右派民兵の往来などに使われる違法な橋だった」と主張した。 |
| 11・26 | ペルー ブラジル | ブラジルやペルーなどアマゾン熱帯雨林を抱える南米の8カ国とフランスは、ブラジル北部のマナウスで気候変動に関する首脳級会談を開いた。12月にコペンハーゲンで開く第15回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP15)で、先進国による途上国への資金支援を明確にすることなどを求めた「マナウス宣言」を採択した。 |
| 11・29 | ホンジュラス | 大統領選について選挙最高裁判は同日深夜、野党・国民党のロボ(Porfirio Lobo Sosa)元国会議長が56%を獲得し、与党・自由党のサントス(Elvin Ernesto Santos Ordóñez)元副大統領の38%を引き離しているとの中間集計を発表。ロボ氏は勝利宣言した。 |
| 11・29 | ウルグアイ | バスケス(Tabaré Ramón Vázquez Rosas)大統領の任期満了に伴う大統領選挙の決選投票が行われ、出口調査の結果、中道左派の与党・拡大戦線(FA)の上院議員ムヒカ(José Alberto Mujica Cordano)候補の当選が確実になった。振り返り目を狙った中道右派・国民党のラカジェ(Luis Alberto Lacalle)元大統領を下した。 |
| 12・2 | ブラジル | インドやブラジルなど新興国・途上国22カ国は、グループ内で取引される貿易品への関税を最低20%削減することで合意した。対象品目は全貿易品目の少なくとも7割を占める。 |
| 12・6 | ボリビア | 大統領選があり、複数の出口調査によると、60%以上の得票を得た左派の現職モラレス大統領が、再選を決めた。モラレス氏は今回の選挙戦で、先住民の利益代表から、より幅広い基盤に支えられた「国民全体の大統領」への脱皮を目指し、中間層や裕福層の票の取り込みをはかった。 |
| 12・7 | チリ | 同国の司法当局は、1982年にfrey(Eduardo Frei Montalva)元大統領が71歳で死亡したのは、当時のピノチェト軍政関係者による暗殺によるものだったと断定し、元運転手ら3人に対して殺人容疑で逮捕状を取った。 |
| 12・8 | キューバ | ロドリゲス(Bruno Rodríguez Parrilla)外相は、オバマ米政権に対し、「同等な立場での対話」を呼びかけていると述べた。外相はこの数ヶ月に、米側と数度の協議を行い、移住や郵便などの問題を話し合ったと語った。 |
| 12・11 | メキシコ | コペンハーゲンで開催中の第15回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP15)は来年の会議(COP16)を11月にメキシコで開くことを内定した。2013年以降の地球温暖化対策の国際枠組み(ポスト京都議定書)について法的拘束力を伴う文書の採択をめざす。 |
| 12・13 | チリ | バチェレ(Verónica Michelle Bachelet Jeria)大統領の任期満了にともなう大統領選挙が投開票された。野党同盟のピニェラ(Miguel Juan Sebastián Piñera Echenique)候補、与党連合のfrey元大統領の上位2候補が来年1月17日の決選投票に進む見通し。 |

| | | |
|-------|------------------------|--|
| 12・15 | ブラジル | 経済成長に伴って温室効果ガスの排出が急増しているブラジル、南アフリカ、インド、中国の代表が、国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP15)の会場でそろって記者会見し、4か国の頭文字(南アフリカは「SとA」)を並べた「BASIC」という新しいグループの発足を発表した。 |
| 12・15 | ブラジル ベネズエラ パラグアイ | ブラジル議会上院は本会議で、ベネズエラのメルコスル(南米南部共同市場)への加盟を承認した。ベネズエラの加盟は2005年に首脳間で合意したものの、各国議会による承認が遅れている。ブラジル上院の可決で現加盟国4か国のうち3か国で手続きが終了したが、パラグアイの上下両院の承認が残っている。 |
| 12・15 | チリ メキシコ | 経済協力開発機構(OECD)は、チリを31番目の加盟国として受け入れることを決めた。来月、チリの首都サンティアゴで正式に加盟文書に署名する。OECDへの新規加盟は2000年のスロバキア以来。中南米ではメキシコに次いで2番目の加盟国になる。 |
| 12・17 | ブラジル | 2010年の経済成長率が5%台を確保するとの見通しが広がってきた。ブラジル中央銀行のメイレス(Henrique de Campos Meirelles)総裁がテレビのインタビューで「5%かもう少し上」と発言。ブラジル工業連盟(CNI)は、5.5%成長を見込む報告書を発表した。 |
| 12・21 | アルゼンチン | 国際サッカー連盟(FIFA)は、2009年の年間最優秀選手を発表し、アルゼンチン代表FWメッシ(Lionel Andrés Messi)が初受賞した。1991年創設の同賞でアルゼンチン人の受賞は初めて。フランス・フットボール誌選出のバロンドール(世界最優秀選手)にも輝いており、史上11人目のダブル受賞。 |
| 12・22 | コロンビア | 南部のカケタ州で、クエジャル(Luis Francisco Cuellar)知事が遺体で見つかった。左翼ゲリラのコロンビア革命軍(FARC)が21日に自宅から知事を拉致していた。カケタ州はFARCの活動地域として知られ、クエジャル知事も過去に数回、誘拐された経験があった。ウリベ大統領は、軍に救出を指示していた。 |

参考資料

- (1)聞蔵IIビジュアル。
- (2)日経テレコン21。
- (3)イベロアメリカ研究所新聞切り抜き(2009年)。

南東部のタバスコ州で、麻薬密輸組織による報復とみられる襲撃で、海軍兵士の母親や兄弟ら親族4人が死亡する事件が明らかになった。16日、海軍が麻薬密輸組織の首領を銃撃戦の末に殺害した。家族が襲撃された海軍兵士は、この作戦時に銃撃を受けて死亡。母親らも参加した葬儀が開かれたばかりだった。

参考資料

- (1)聞蔵IIビジュアル。
- (2)日経テレコン21。
- (3)イベロアメリカ研究所新聞切り抜き(2009年)。